

安全衛生委員会

産業医 北村 龍彦、健康管理センター

安全衛生委員会は、現在 27 名（メンバー：12 名、オブザーバー：15 名）で活動している。
〈表 1〉

今年度の活動内容につき〈表 2〉に沿って振り返る。

A. 衛生管理活動

定期健康診断について

定期健康診断の受診率は 99.9%となっている。〈図 1～2、表 3・4-1～2〉

当グループの BMI を除いた有所見率の年次推移について、総合の有所見率は低下傾向であり、項目別では、昨年度より肝機能・血中脂質の値が低くなっている。全国や高知県と比較すると、例年同様に当グループの特性（受診者における男女比＝約 3：7、39 歳以下と 40 歳以上の年齢比＝約 5：5、平均年齢＝39.2 歳）が影響していると考えられる結果（全国や高知県より血圧・肝機能・血中脂質・血糖などは低く、貧血は高い）となっている。〈図 3〉

BMI を含めた有所見率の年次推移については、総合の有所見率が増加傾向から低下に転じている。項目別の傾向は例年同様（BMI・血中脂質・肝機能・貧血・血糖の有所見率が高い）である。〈図 4〉性別でみると、男性の総合の有所見率が改善傾向で過去 5 年のうち一番低い値となっており、BMI・肝機能・血中脂質の値も低下している。一方、女性の総合の有所見率は増加傾向にあり、BMI の増加傾向と貧血、血中脂質の高止まりが課題である。年代別の傾向（39 歳以下に比べて 40 歳以上の有所見率が高い）〈図 5-1～4〉、40 歳以上のメタボリックシンドロームの有病者及び予備軍に該当する者の傾向（女性に比べて男性に多い）〈図 6-1～3、表 5-1～3〉は例年同様である。

有所見率の低減対策として、女性の貧血対策の継続や年齢を問わず早期からの生活習慣病対策が重要であるが、健康管理センターでは、健康診断後に独自の基準に応じた状況確認・産業医面談・保健指導などのフォローを実施しているほか、近森会健康保険組合から委託を受け、メタボリックシンドロームの有病者および予備軍に該当する者に対しての特定保健指導も実施している。今年度は産業医面談を 52 件、保健指導を 34 件、特定保健指導を 44 件実施した。〈図 7-1～6、表 6-1～6〉

特定業務従事者健診について

電離放射線、特定化学物質・有機溶剤、深夜勤に従事する職員を対象に年 2 回の特定業務従事者健診を実施している。

電離健康診断の実施者数は 320 名であり、そのうち前年度 1 年間の被ばく線量の報告において、眼の水晶体の等価線量が 20mSv を超えた者はいなかった。〈図 8-1～3、表 7-1～3〉また、被ばく線量の低減対策について、現場では画像診断部より未装着や装着不備に対する声掛けや、線量監視による早期からのガラスバッジの保有個数の見直し、防護眼鏡・ドジリスの導入などが実施されており、事業主側では、基準線量を超えた者に対して、本人および所属長への注意喚起・意識づけを促す目的で「ケア線量報告書（実効線量 1.6mSv 超/月、等価線量 水晶体 1.6mSv 超/月）」・「年度線量報告書（実効線量 20mSv 超/年、眼の水晶体の等価線量 20mSv 超/年 皮膚 150mSv 超/月）」を通知、報告内容を基に担当者による現場確認や改善策の提案をしている。引き続き状況を確認しながら、適切な被ばく線量の低減対策に取り組んでいきたい。

特定化学物質健康診断の実施者は 7 名、有機溶剤対健康診断の実施者は 5 名であり特に問題なしである。管理体制等についても、作業主任者（化学物質管理者）である病理検査室副部長と問題がない事を確認済みであり、安全衛生委員会にて現場での管理状況について報告を行っている。

感染症予防・ワクチン接種について

職業感染症予防対策の一環として感染対策委員会と連携し、日本環境感染学会の指針に基づいた感染症検診の実施および予防可能なウイルス疾患に対するワクチン接種の勧奨を行っている。

麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎（2024.9～）については、各自で入職までに抗体獲得をする運用となっており、近森病院職員の抗体保有率は麻疹 91.9%、風疹 89.8%、水痘 98.7%、ムンプス 94.8%、B型肝炎 94.3%となっている。〈図 9-1～20、表 8-1～20〉

結核については、新入職員と感染リスクが高い部署および検査に従事する在職者に対してインターフェロニーγ（IGRA）を用いた T-SPOT.TB 検査を実施し、検査結果が陽性・判定不能・判定保留となった職員には、産業医面談を実施し適切な対応を行なっている。〈図 10、表 9〉

また、上記 6 つの感染症について、職場における感染症・感染事故発生時には、速やかに該当者の抗体保有状況の把握が可能となるよう、職員へ「免疫記録」を定期的に新規作成・更新し配布している。

その他の感染症予防としては、当グループ職員と外部委託業者を対象としたインフルエンザワクチン接種、当グループ職員のみを対象とした新型コロナワクチン接種を実施している。今年度の当グループの各ワクチンの接種者数・接種率はインフルエンザワクチンが 1655 名：85.5%〈図 11-1～5、表 10-1～5〉、新型コロナワクチンが 379 名：19.5%であった。

B. 健康づくり活動・産業保健活動

健康づくり活動について

有志主催にてソフトボール大会とソフトバレーボール大会を開催しており、次年度以降も継続予定である。

産業保健活動について

口腔衛生活動では、6 月の「歯と口の衛生週間」・11 月の「いい歯の日」に、歯みがきに関する衛生行動を促進するため、歯周病等に関するパンフレットをサイボウズに掲示することで、全職員への啓蒙を実施した。

過重労働対策では、総務課協力のもと時間外労働時間の把握（厚労省のガイドラインに基づき、副業・兼業先を含めた院外での勤務時間も含む）を継続している。長時間労働者への対応として、近森会独自の対応マニュアルを作成し、マニュアルに沿った対応を行っている。面談勧奨基準は法令通りの月 80 時間超えの者であり、年間で月 45 時間超えが 5 回以上、総残業時間が 600 時間以上の医師以外の者も含め、9 名の職員に介入している。また、医師は月 70 時間超え 80 時間以下の者、医師以外では年間で月 45 時間超えが 4 回の者や総残業時間が 540 時間以上の者に対しても状況確認を行い、早期介入に努めている。〈図 12〉引き続き、健康管理・安全配慮義務の観点から対策を進める。

喫煙対策では、当院敷地内および周辺道路等での全面禁煙、職員の就業時間中の禁煙が定められているほか、健康管理センターでは禁煙通信を利用したポピュレーションアプローチおよび個別の禁煙チャレンジ呼びかけ等のハイリスクアプローチを実施し積極的に取り組んでいる。しかし、当グループの喫煙者数・平均喫煙率は 195 名：10.5% とやや増加している。40 代以上の根強い喫煙者に加えて、20～30 代女性の喫煙者数・喫煙率の増加が目立っており、年代による特徴やニーズに応じた喫煙対策が必要と考える。〈図 13-1～6、表 11-1～6〉

女性の健康管理では、情報提供（YouTube サイトにて動画教材を限定公開）および理学療法士によるオンライン講座（産前産後カラダケア：1 回/月）、対面講座（骨盤底筋体操教室：1 回/月）を実施している。

メンタルヘルス対策では、復職支援、休職者数の推移確認や随時のこころの健康相談、ストレスチェックを実施している。

復職支援については、本人・所属長・産業保健スタッフがそれぞれの役割をもって連携することで円滑な職場復帰を目指す「復職支援制度実施要綱」の運用を継続している。

休職者数については、全体的な休職者数は概ね横ばいで推移しているが、心療内科・精神科への通院者数は 24 名（うち新規報告者 18 名）と減少傾向である。こころの健康相談の利用者は、

実人数・延べ件数ともに前年度と同程度である。〈図 14、表 12〉今後もセルフケア、ラインケアを含めた職員への啓蒙・啓発活動などの予防活動に力を入れるとともに、メンタルヘルス対策を継続していく必要があると考える。

ストレスチェックについては、2025 年度より外部業者へ委託し、メンタル不調者への早期対応による年度内の離職者の減少を期待して 6 月に実施した。ストレスチェック終了後には部門長以上の管理職および各所属長に対して集団分析の結果返却を実施している。今年度の当グループの受検者数・受検率は 1674 名：90.6%、高ストレス該当者・高ストレス者率は 169 名：10.0%、医師面接申出者数・申出率は 7 名：0.4%であった。〈図 15-1～5、表 13-1～5〉面接申出者のうち、1 名は申出後にキャンセルがあり面接の実施はなかったが、残り 6 名は全員が医師面接を受けている（外部医師：2 名、当院精神科医：2 名、産業医：2 名）。例年、医師面接の申出者が少ない傾向にあるが、面接申出のない者へは申出勧奨および産業保健スタッフによる「こころの健康相談」の案内を実施し傾聴の機会を設けている。

腰痛予防対策では、安全衛生委員会の下部組織としてノーリフティングケア推進 WG を設置し、腰痛発生予防を目的として、通信を使用した広報活動や労災対応、技術指導、新人研修（画像診断部・臨床検査部のトランスファー・ノーリフト研修）、その他、担当理学療法士による腰痛予防体操、足と靴の悩み個別相談などを実施している。

職場巡視では、労災発生時の現場確認を行っている。加えて 2025 年 5 月から 8 月に、看護部と協働して月 2 回のラウンドを実施した。熱中症指標計で環境測定を行い、温度は適正に保たれていた反面、湿度は 60%を超える場所もみられた。職員は適宜ネッククーラーやサーキュレーターを使用し、体調管理に努めていた。今後も職場巡視を通して、安全衛生の啓発や、健康管理センターの利用促進を目指す。

労働災害防止策では、労災発生時の調査・介入を随時行っている。今年度の発生件数・発生率は 26 件：1.4%と増加傾向、職種内訳では母数の多さも影響してか看護部が約半数を占めている。事故の型は例年同様に動作の反動・無理な動作が 8 件（うち 7 件が腰痛関連、原因は患者移乗等によるものが半数を占める）と最多であり、次いで第三者行為（咬まれた等）が 7 件と増加している。また、転倒・転落を合わせると 7 件（うち 4 件が 50 代以上）と増加していた。

〈図 16-1～7、表 14-1～7〉労災発生件数の低減に向けた取り組みとして、前述の腰痛対策のほか、転倒については健康管理の視点から、職員が自身の筋肉量や転倒リスクを認識できるように、定期健康診断で健康測定（握力測定：全職員対象、閉眼片足立ち：50 歳以上の職員対象）を実施し、測定結果に応じた注意喚起やアドバイスを行っている。

ハラスメント対策では、近森会全職員（パート・休職者含む）に対して、Safe-Master を使用し、動画視聴による研修を実施した。積極的な視聴の呼びかけ、未受講者への声掛けを行うことで、多くの職員にハラスメントに関する知識を得てもらえるよう努めた。

最後に

2025 年 10 月にリハ病院 8 階に移転し、新しい環境での活動開始となった。今後も、健康管理センターを基点とし、健康の確保、維持・増進に対する職員の関心がさらに向上することにより、事業所における安全衛生水準を自律的に高めて、職員・家族の健康寿命の延伸、健康経営に寄与できるような活動を充実させていきたいと考える。

表1

メンバー	
管理部	寺田 文彦
医師（産業医）	北村 龍彦
医師（産業医）	中岡 洋子
医師	浅羽 宏一
看護部	中島 久美
画像診断部	谷脇 貴博
臨床栄養部	内山 里美
臨床検査部	水田 綾香
総務課	林 夕起
健康管理センター	村上 麻世
健康管理センター	山中 真理菜
健康管理センター	藤野 朋子

オブザーバー	
看護部	西村 剛
理学療法科	前田 秀博
薬剤部	丸岡 由貴
医事課	渡瀬 舜也
健康管理センター	坂本 悠
健康管理センター	山中 胡桃
健康管理センター	楠瀬 美帆
看護部（リハ）	岡本 真由美
理学療法科（リハ）	高芝 潤
理学療法科（リハ）	岩佐 恵子
看護部（リハ）	植田 彩子
看護部（オルソ）	中谷 明未
理学療法科（オルソ）	塩田 直隆
理学療法科（オルソ）	小松 弘典
健康保健組合	小松 左和

*2026年3月時点

2025年度安全衛生委員会活動一覧

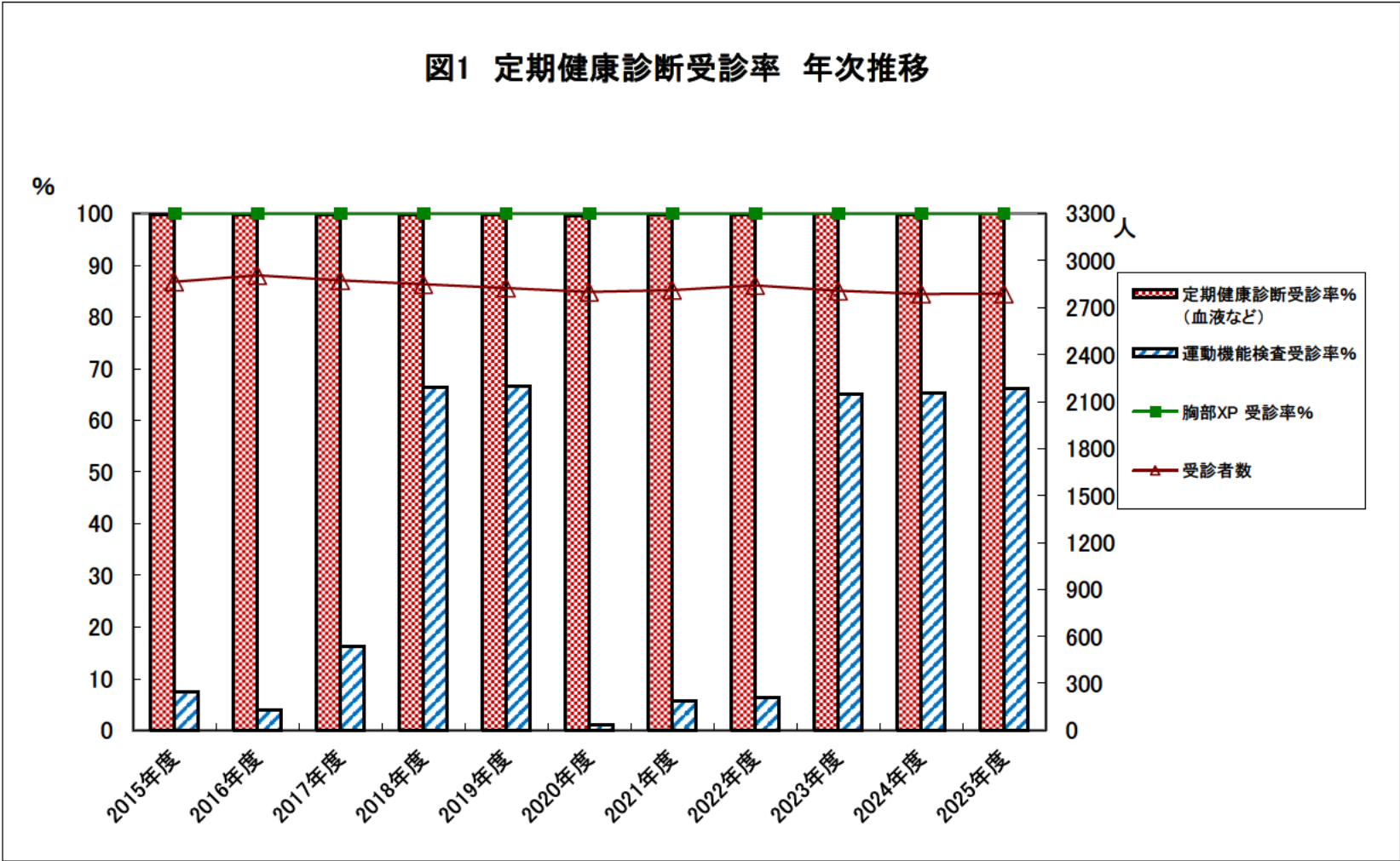
表 2

A 衛生管理活動		
1	定期健康診断（感染症検診含む）	受診者数・受診率→延べ 2788名（99.9％） * 図1～5-4、表3・4-1～2
2	雇入時健康診断（感染症・T-SPOT検査含む）	メタボリックシンドローム調査 * 図6-1～6-3、表5-1～5-3
3	健診結果の有所見者対応	状況確認、産業医面談、保健指導など * 図7-1～6 表6-1～6
4	特定業務従事者健診（電離放射線、深夜勤、特定化学物質・有機溶剤）	上期→電離放射線（320名）深夜勤（790名）特定化学物質（7名）有機溶剤（5名） 下期→電離放射線（311名）深夜勤（735名）特定化学物質（7名）有機溶剤（5名） 眼の水晶体の被ばく線量低減対策を継続中 2021.12～ * 図8-1～3、表7-1～3
5	健康測定（THP事業）	握力測定（1回/年：全職員）・閉眼片足立ち（1回/年：50歳以上の職員）
6	給食業務従事者健診	毎月実施（赤痢、サルモネラ、O157・26・111） ※12月、1月はノロ検査を追加実施
7	麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体保有確認	2015年9月1日新入職員より入職日までに免疫獲得を行うよう運用変更 感染症情報の個人カード作成・配付 2019.8～（2025.5～新規様式へ変更） * 図9-1～16 表8-1～16
8	B型肝炎抗体保有確認	できる限り入職日までに各自で免疫獲得を行うよう運用変更 2024.9～ * 図9-17～20 表8-17～20
9	結核	T-SPOT.TB検査 * 図10、表9
10	インフルエンザワクチン接種	接種費用：無料（健保組合の被保険者の職員に限り健保組合が全額補助を実施） * 図11-1～5、表10-1～5
11	新型コロナワクチン接種	2024年度より近森会グループ職員を対象に運用開始 接種者数・接種率→379名（19.5％） 接種費用：無料（健保組合の被保険者の職員に限り健保組合が全額補助を実施）
12	安全衛生委員会（健康増進委員会）	12回/年：毎月第4木曜日
B 健康づくり活動・産業保健活動		
1	球技大会	・ソフトボール大会（1回/年：有志主催にて開催） ・ソフトバレーボール大会（1回/年：有志主催にて開催）
2	口腔衛生活動	歯の衛生週間に合わせてサイボウズにてポスター掲示（6月・11月）
3	過重労働対策	時間外労働時間調査中、長時間労働者への面談勧奨継続 2019.4～ 副業・兼業先を含めた労働時間管理 2023.7～ * 図12
4	喫煙対策	・職員の就業中禁煙（休憩時間含む）実施 2017.7～ ・喫煙率調査、禁煙通信発行（隔月）、禁煙補助剤購入費補助 2023.4.1～ * 図13-1～6、表11-1～6
5	女性の健康管理	動画教材(YouTube動画)を使用した情報提供 2023.9～ オンライン講座の実施（産前産後カラダケア） 2024.4～ 対面講座の実施（骨盤底筋体操）2024.11～
6	メンタルヘルス対策	広報活動の強化、相談への対応、復職支援制度実施要綱作成・運用開始 2021.10～
7	こころの健康相談（疾病含む）	随時 * 図14、表12
8	ストレスチェック	・1回/年 2025.6～ ・高ストレス該当者への対応（医師面接申出勧奨） ・部門長以上の管理職への集団分析の結果返却 2023.2～ ・部署への集団分析結果返却 2024.11～ ・外部事業者（株式会社ウェルブラ）への事業一部委託 2025.6～ * 図15-1～5、表13-1～5
9	腰痛予防対策	・担当PTによる腰痛指導やフットケア ・ノーリフティングケア推進WG設置 2021.12～ 通信による各施設の取組紹介、腰痛ラウンドや労災対応実施 ・画像診断部・臨床検査部の新人研修（トランスファー・ノーリフト研修）2023～
10	職場巡視	労災での現場確認 2017.4～
11	労働災害防止対策	労災発生の報告に対して調査・介入（随時） 2017.4～ * 図16-1～7、表14-1～7
12	ハラスメント対策	ハラスメント研修（動画）実施 2024.12～
13	保健指導（特定保健指導含む）	対象者への指導勧奨継続、健保組合との連携強化、特保システム導入 2021.10～
14	広報活動	安全衛生通信発行（隔月）、各種イベント・勉強会案内（随時）
C その他		
1	エイズキャンペーン	ポスター掲示など啓蒙活動実施
2	全国安全週間	7月1日～7月7日 （6月1日～6月30日は準備期間）
3	全国労働衛生週間	10月1日～10月7日 （9月1日～9月30日は準備期間）
4	年末年始無災害運動	12月1日～1月15日

表3 定期健康診断受診率の年次推移(オルソ・ファミーユ高知含む)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定期健康診断対象者数	2867	2907	2877	2856	2832	2810	2820	2843	2807	2788	2790
受診者数	2864	2906	2874	2849	2825	2800	2811	2842	2807	2787	2788
定期健康診断受診率%(血液など)	99.9	99.9	99.9	99.8	99.8	99.6	99.7	99.9	100	99.9	99.9
運動機能検査受診率%	7.4	3.9	16.2	66.4	66.6	1.1	5.8	6.4	65.1	65.3	66.2
胸部XP 対象者数	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862	1884	1889
胸部XP 受診者数	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862	1884	1889
胸部XP 受診率%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100.0

図1 定期健康診断受診率 年次推移



※2015年度より健診運用見直し→上期:全職員、下期:特定業務従事者のみとした。
健康診断受診率は100%となった。2023年度～運動機能検査推進(握力:全職員、閉眼片足立ち:50代以上の職員)とした。

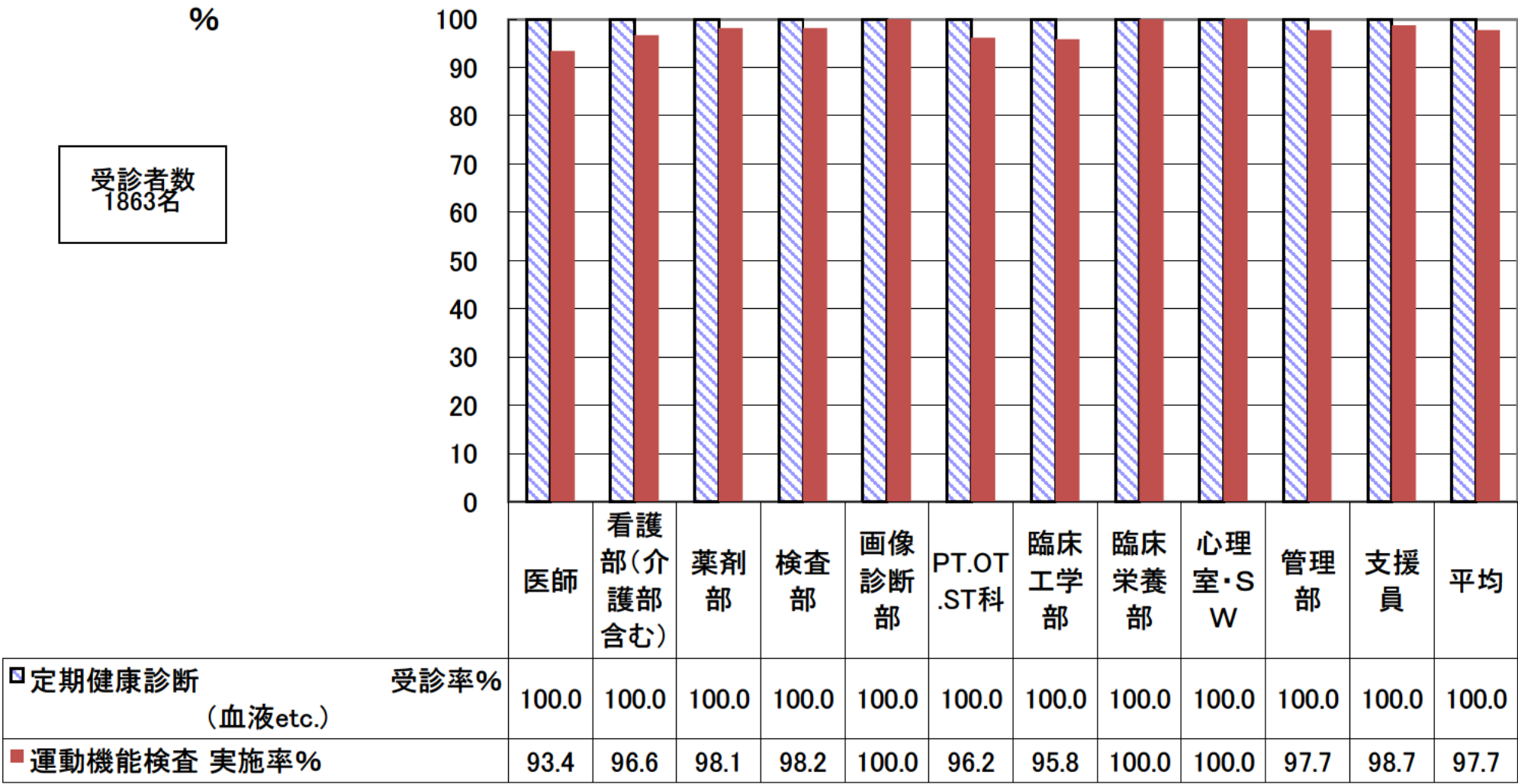
表4－1
定期健康診断所属別実施率(2025年上期)

所属	対象者数	受診者数	運動機能検査 実施者
医師	167	167	156
看護部(介護部含む)	835	835	807
薬剤部	54	54	53
検査部	55	55	54
画像診断部	37	37	37
PT.OT.ST科	261	261	251
臨床工学部	48	48	46
臨床栄養部	34	34	34
心理室・SW	30	30	30
管理部	263	263	257
支援員	79	79	78
合計	1863	1863	1803

表4－2

所属	定期健康診断 受診率%(血液etc.)	運動機能検査 実施率%
医師	100.0	93.4
看護部(介護部含む)	100.0	96.6
薬剤部	100.0	98.1
検査部	100.0	98.2
画像診断部	100.0	100.0
PT.OT.ST科	100.0	96.2
臨床工学部	100.0	95.8
臨床栄養部	100.0	100.0
心理室・SW	100.0	100.0
管理部	100.0	97.7
支援員	100.0	98.7
平均	100.0	97.7

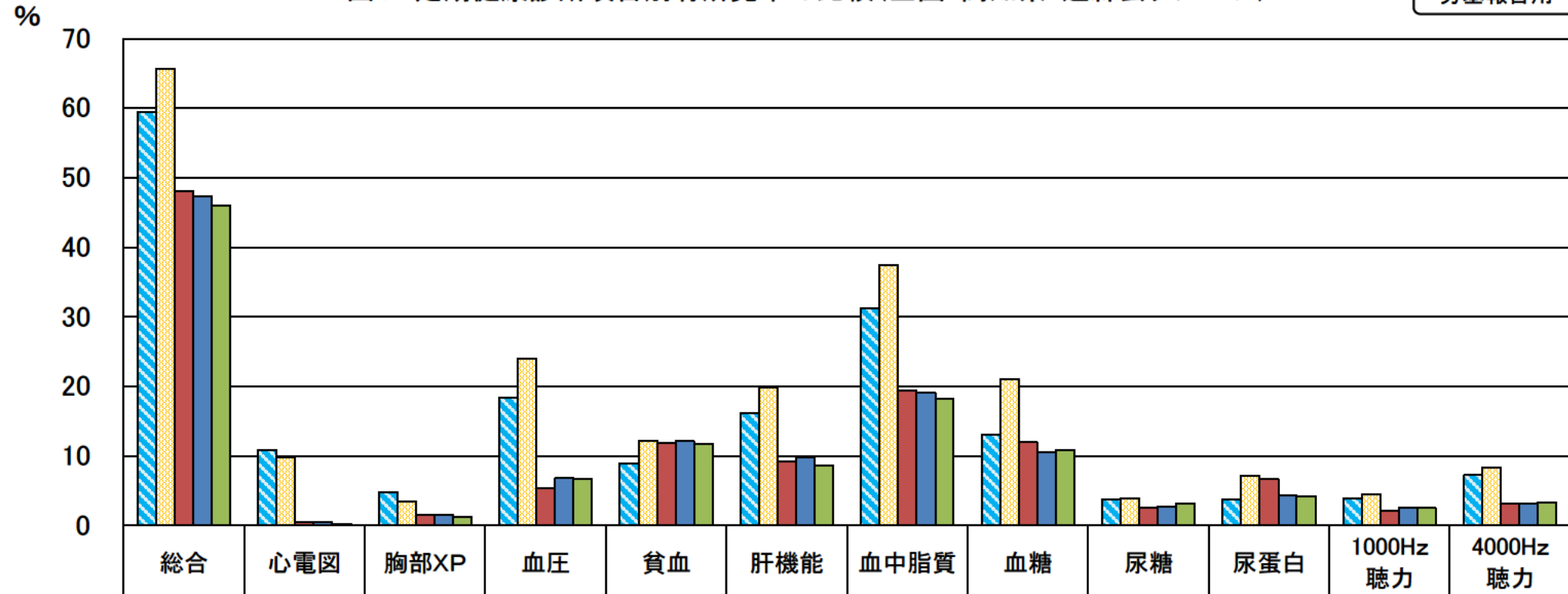
図2 近森会グループ 定期健康診断所属別実施率 (2025年上期)



定期健康診断受診率:一部項目未完了者0名ですべての部署で100%の実施率となった。
運動機能検査実施率:握力検査は全職員対象、閉眼片足立ちは50代以上の職員対象に実施

図3 定期健康診断項目別有所見率の比較(全国・高知県・近森会グループ)

労基報告用



●総合での有所見率

全国・高知県に比べて低い値で推移しており、経年でみると低下傾向である。

●項目別での有所見率

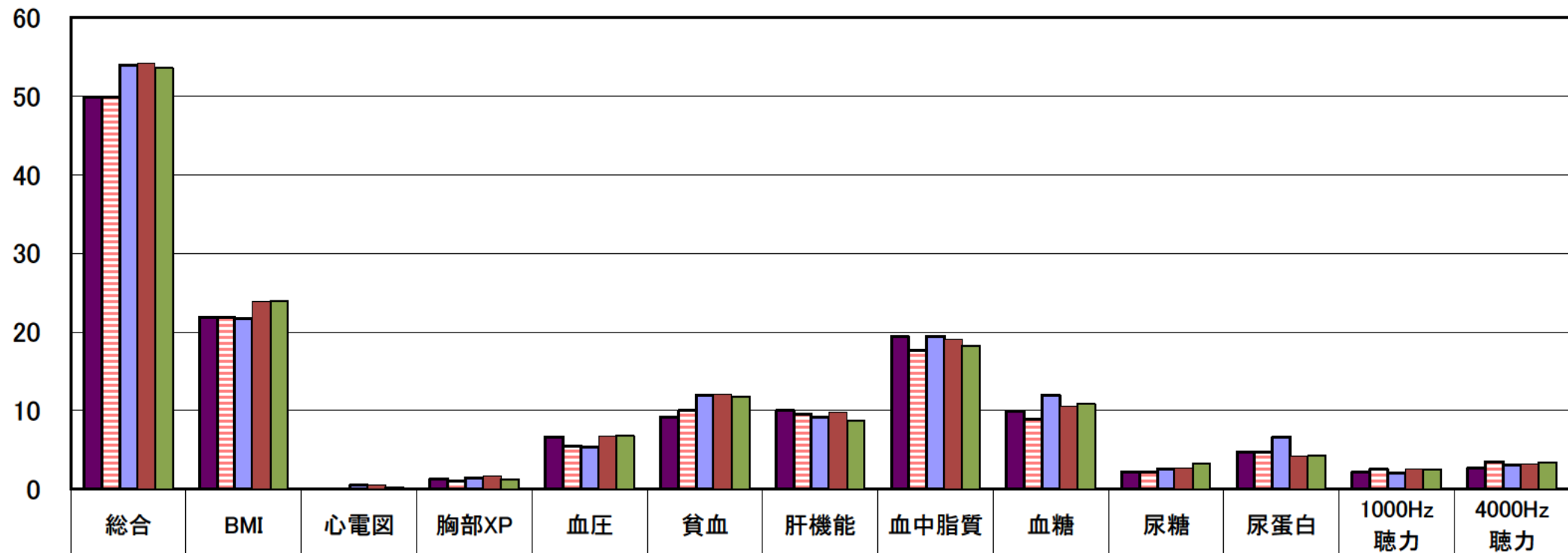
・全国と比較して低い項目(血圧・肝機能・血中脂質・血糖など)、高い項目(貧血)は例年同様の傾向である。

※考えられる理由・・・近森会グループは、女性が多く、職員の半数が39歳以下である。(男女比＝約3:7、年齢比(39歳以下:40歳以上)＝約5:5、平均年齢＝39.2歳)

・昨年度に比較して肝機能、血中脂質の有所見率が低くなっている。

図4 定期健康診断 項目別有所見率の年次推移(近森会グループ)

%



	総合	BMI	心電図	胸部XP	血圧	貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿蛋白	1000Hz 聴力	4000Hz 聴力
2021年度(上期)	49.9	21.8	0.1	1.3	6.7	9.2	10.0	19.4	9.9	2.2	4.8	2.2	2.7
2022年度(上期)	49.9	21.9	0	1.0	5.5	10.0	9.6	17.7	8.9	2.2	4.8	2.5	3.5
2023年度(上期)	53.9	21.7	0.5	1.5	5.4	11.9	9.2	19.5	12.0	2.6	6.6	2.1	3.2
2024年度(上期)	54.3	23.8	0.6	1.6	6.8	12.1	9.8	19.1	10.5	2.7	4.3	2.6	3.2
2025年度(上期)	53.6	24.0	0.3	1.2	6.8	11.8	8.7	18.3	10.8	3.2	4.2	2.5	3.4

●総合での有所見率

・2023年より増加傾向にあったが、2025年度は低下し2023年度の有所見率よりも低い値となっている。

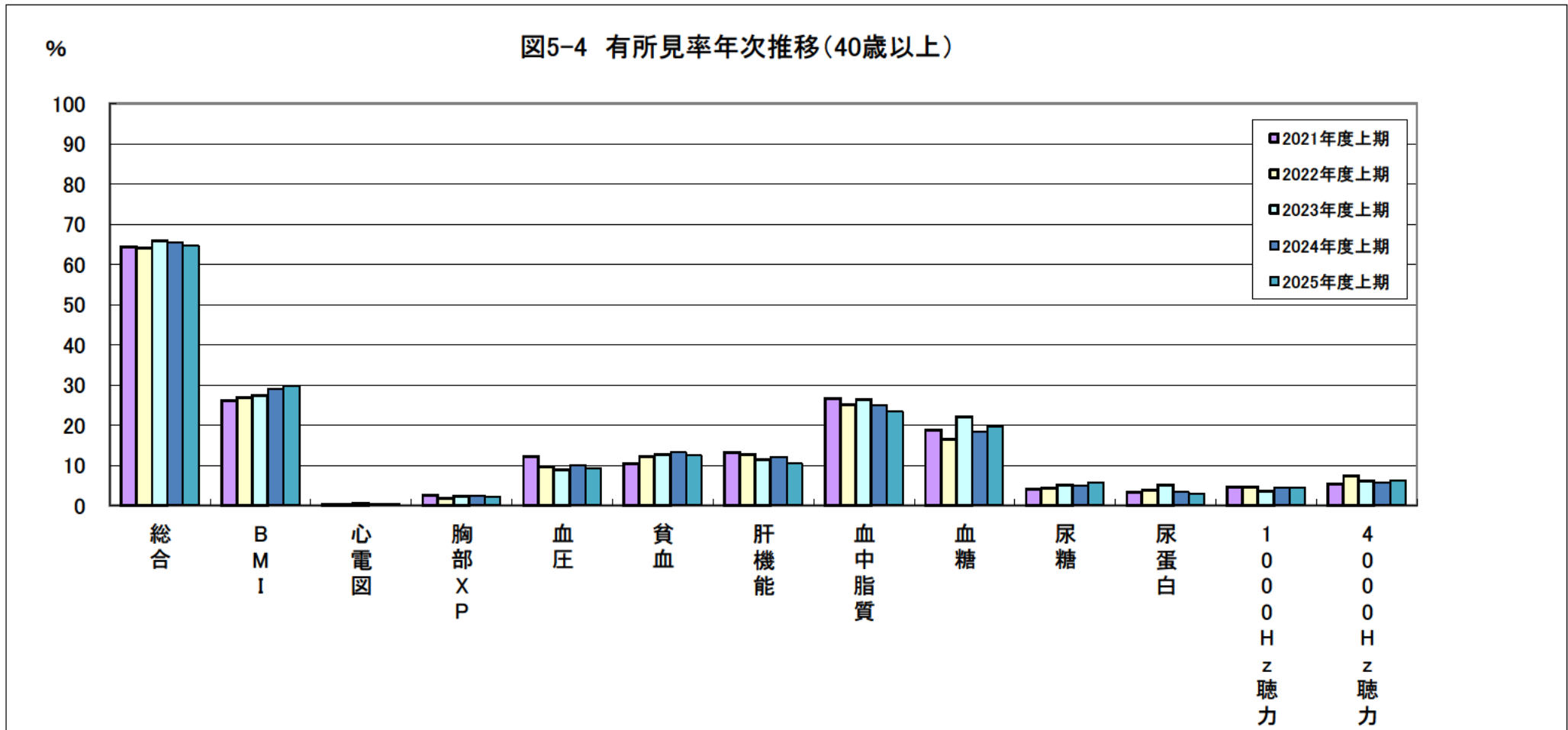
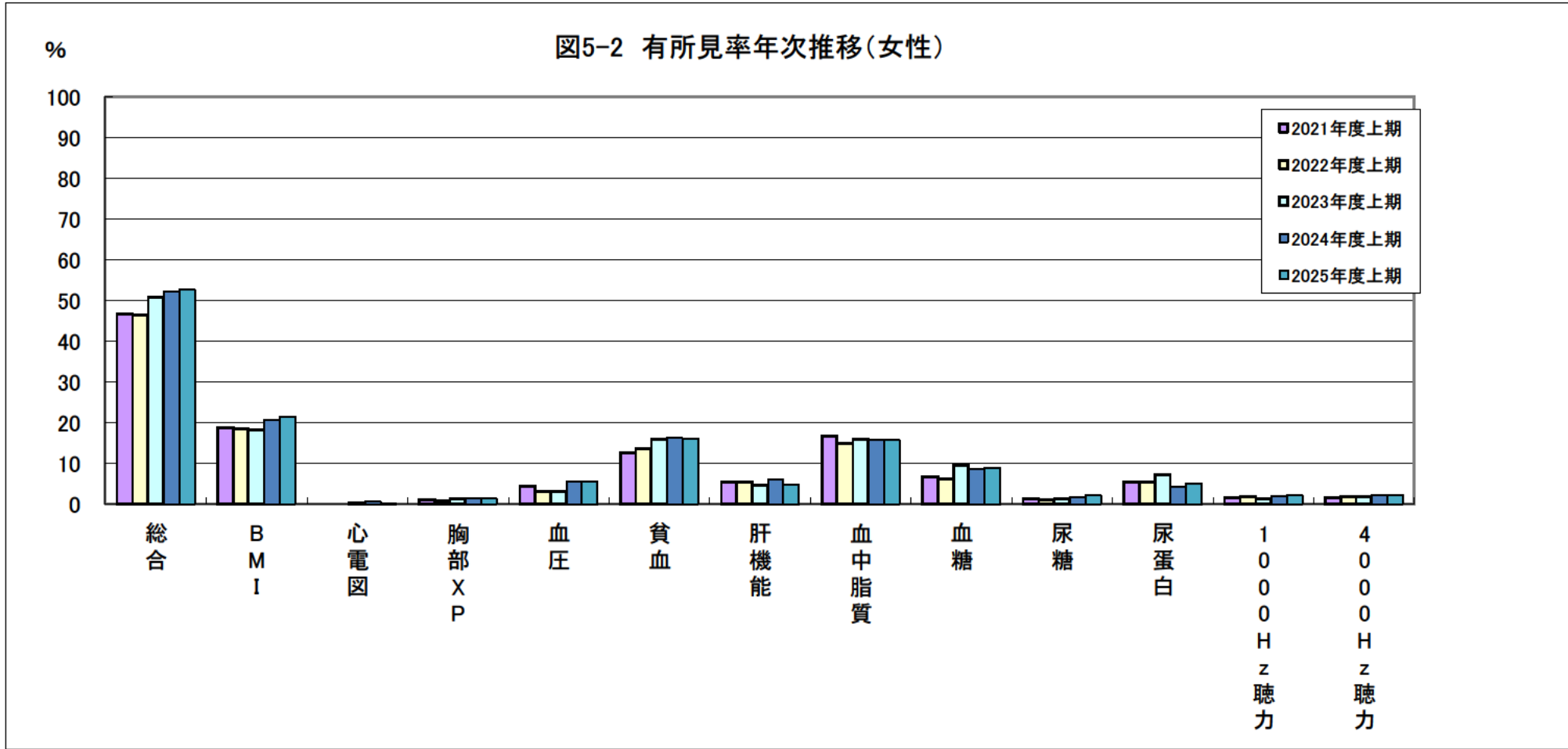
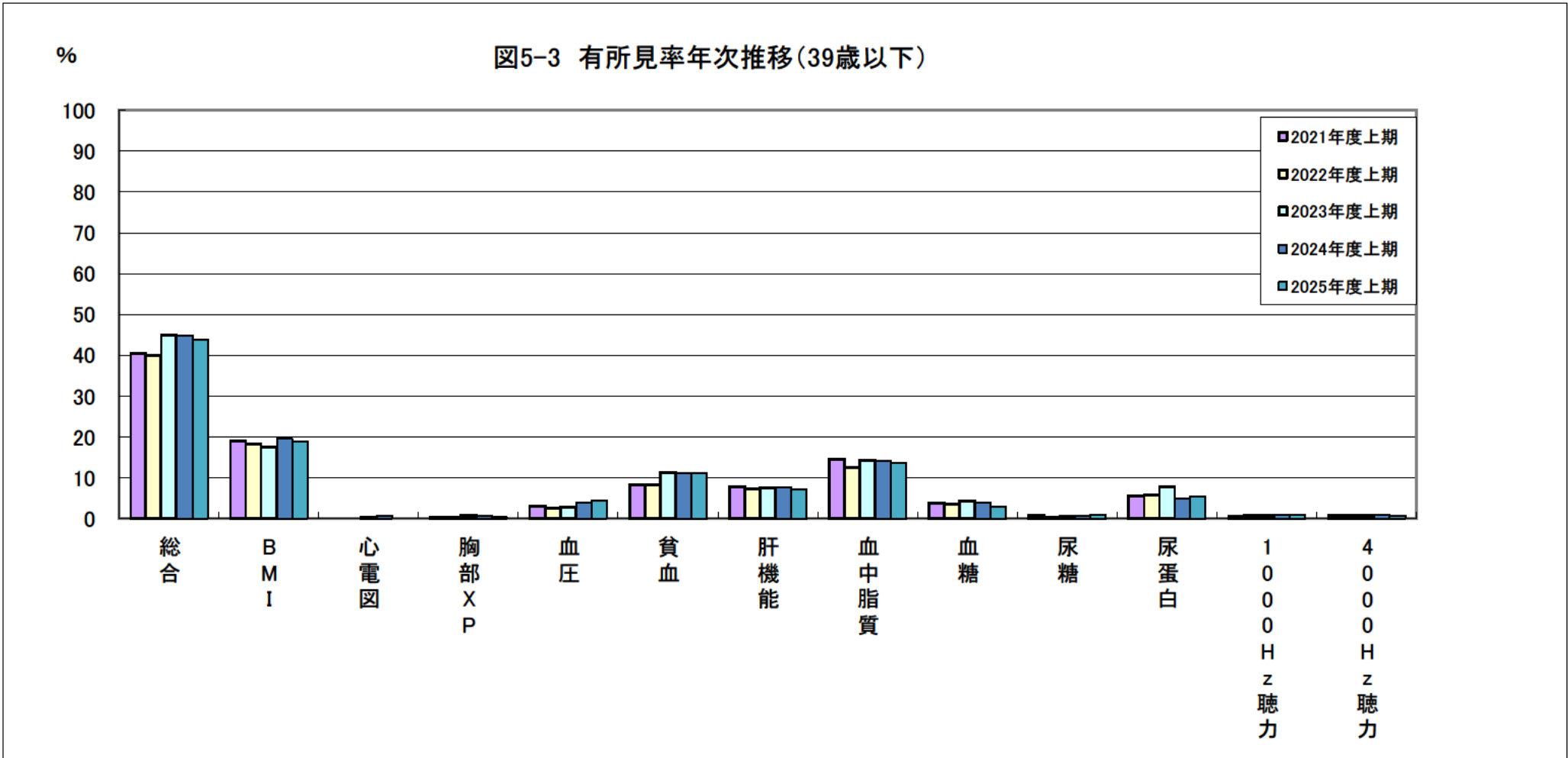
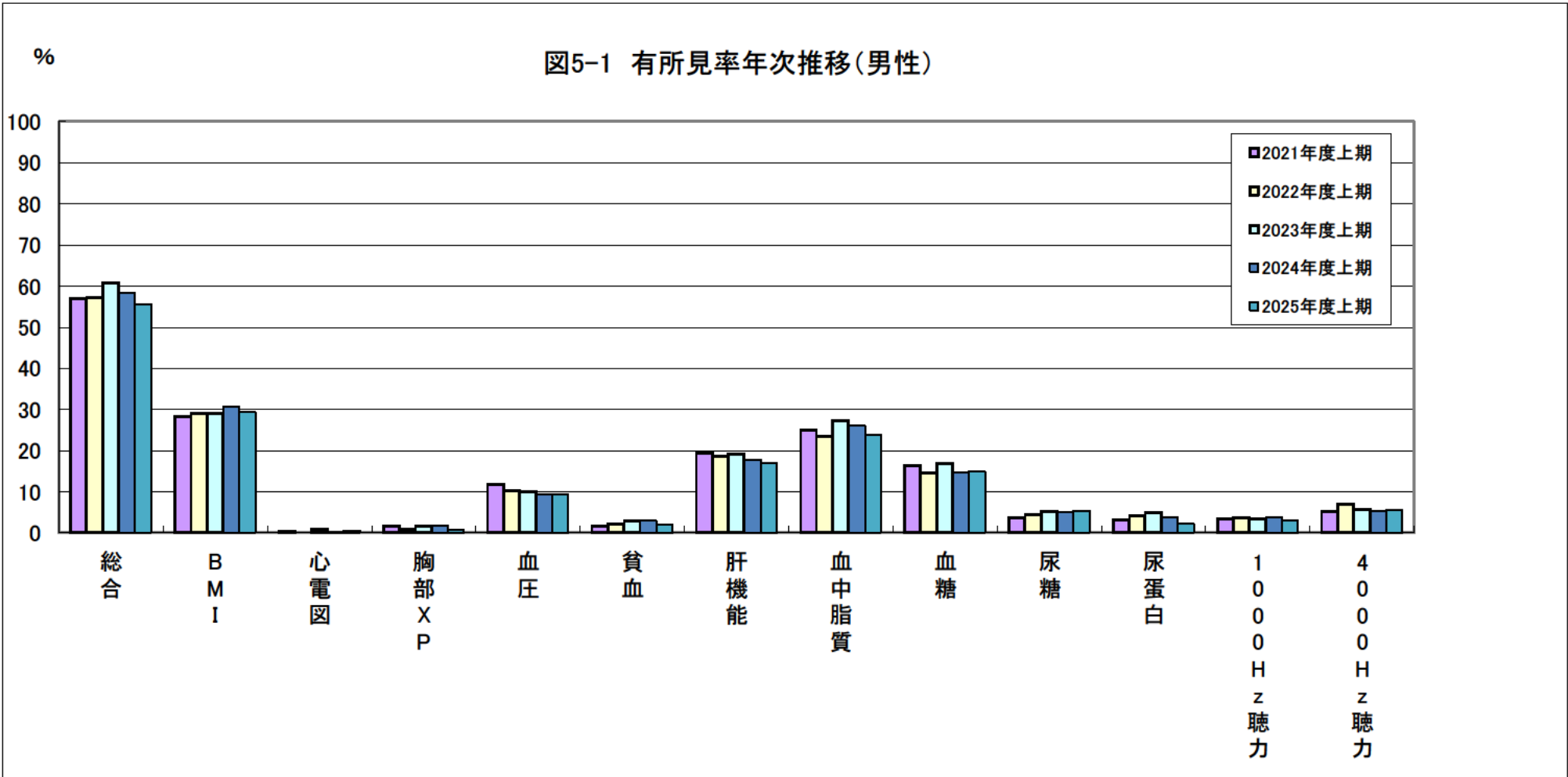
●項目別での有所見率

・例年同様にBMI、血中脂質、貧血、肝機能、血糖の有所見率が高い傾向にある。

・BMIが少しずつ上昇傾向

・2024年度と比較してほとんどの項目が横ばいで推移しているが、肝機能、血中脂質は低下傾向にある。

定期健康診断「性別・年代別比較」



※男女比＝約3:7、39歳以下と40歳以上の年齢比＝約5:5、平均年齢＝39.2歳

●総合での有所見率や各項目の傾向は、全体的に例年同様。

●各集団での傾向

【男性】:総合の有所見率が低下しており、過去5年で一番低い値となっている(57→57.3→60.9→58.3→55.3)。項目別で見ると、BMI、肝機能、血中脂質の有所見率が低下している。

【女性】:総合の有所見率が増加傾向(50.8→52.4→52.7)。項目別で見ると、BMIの増加傾向と貧血、血中脂質の高止まりが課題。

【39歳以下】:概ね例年同様の傾向。BMI、血中脂質に注意が必要。

【40歳以上】:総合の有所見率はわずかに低下傾向(65.7→65.4→64.7)。項目別で見ると、BMI、血糖の有所見率は高くなっているが、血圧、肝機能、血中脂質の有所見率は低下している。

●必要な対策事項

①女性の貧血対策 ②40歳以上(特に男性)を中心にした生活習慣の改善、肥満対策 ③早期(39歳以下)からの生活習慣病対策

「メタボリックシンドローム年次推移(40代以上)」

メタボリックシンドローム「予備軍」「有病者」の定義

※必須項目を満たし、選択項目を1つ満たしているものを「予備軍」、2～3つ満たしているものを「有病者」とする。

ウエスト周囲径 男性≧85cm
女性≧90cm

+

収縮期血圧≧130mg/dl
かつ、または
拡張期血圧≧85mg/dl

高トリグリセライド血症≧150mg/dl
かつ、または
低HDLコレステロール血症<40mg/dl

空腹時血糖値≧110mg/dl

図6-1 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上)

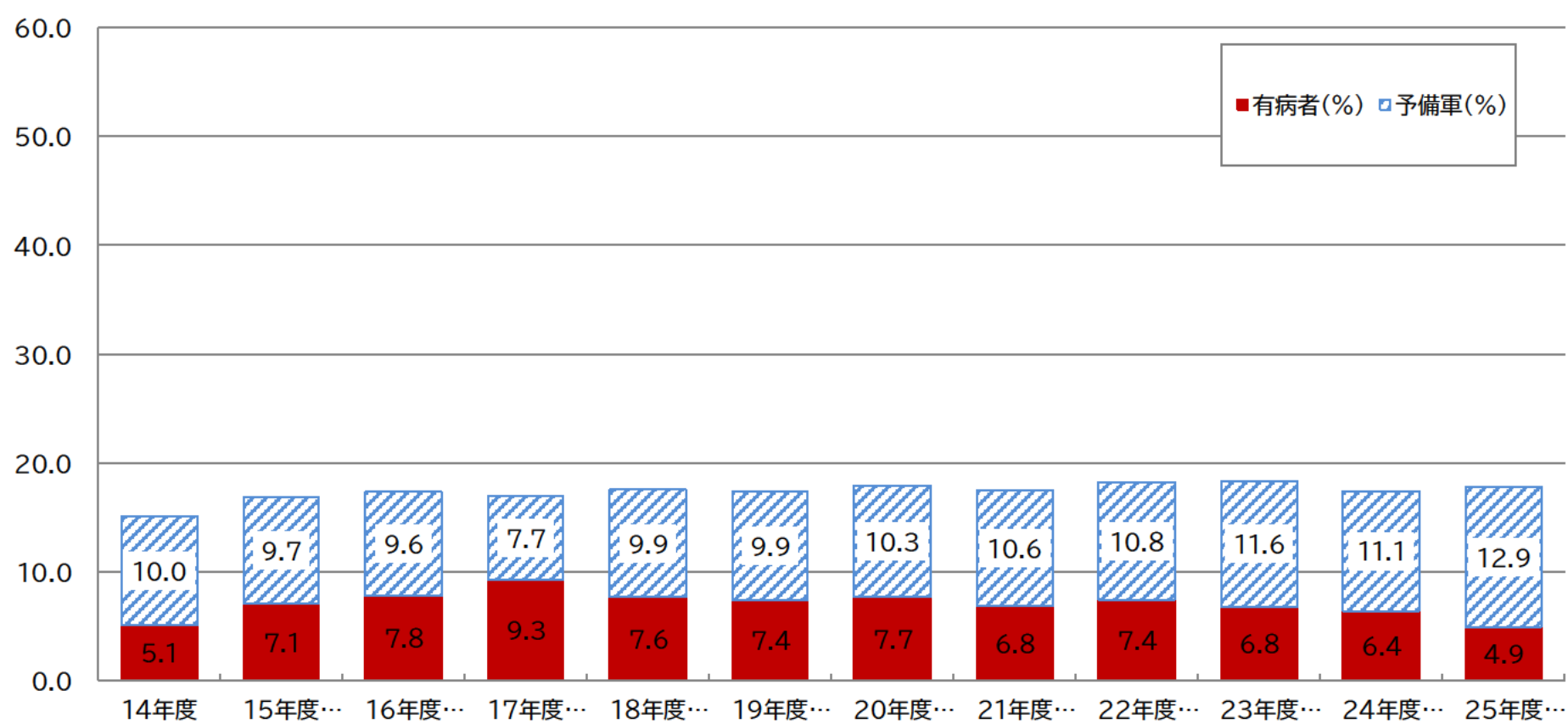


表5-1

40代以上	14年度	15年度 (上期)	16年度 (上期)	17年度 (上期)	18年度 (上期)	19年度 (上期)	20年度 (上期)	21年度 (上期)	22年度 (上期)	23年度 (上期)	24年度 (上期)	25年度 (上期)
有病者	47	46	52	64	53	53	59	54	60	56	53	43
予備軍	92	63	64	53	69	71	79	84	87	96	92	112
非該当者+腹囲正常者	785	539	553	572	572	590	632	652	662	676	687	716
計	924	648	669	689	694	714	770	790	809	828	832	871

図6-2 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上:女性)

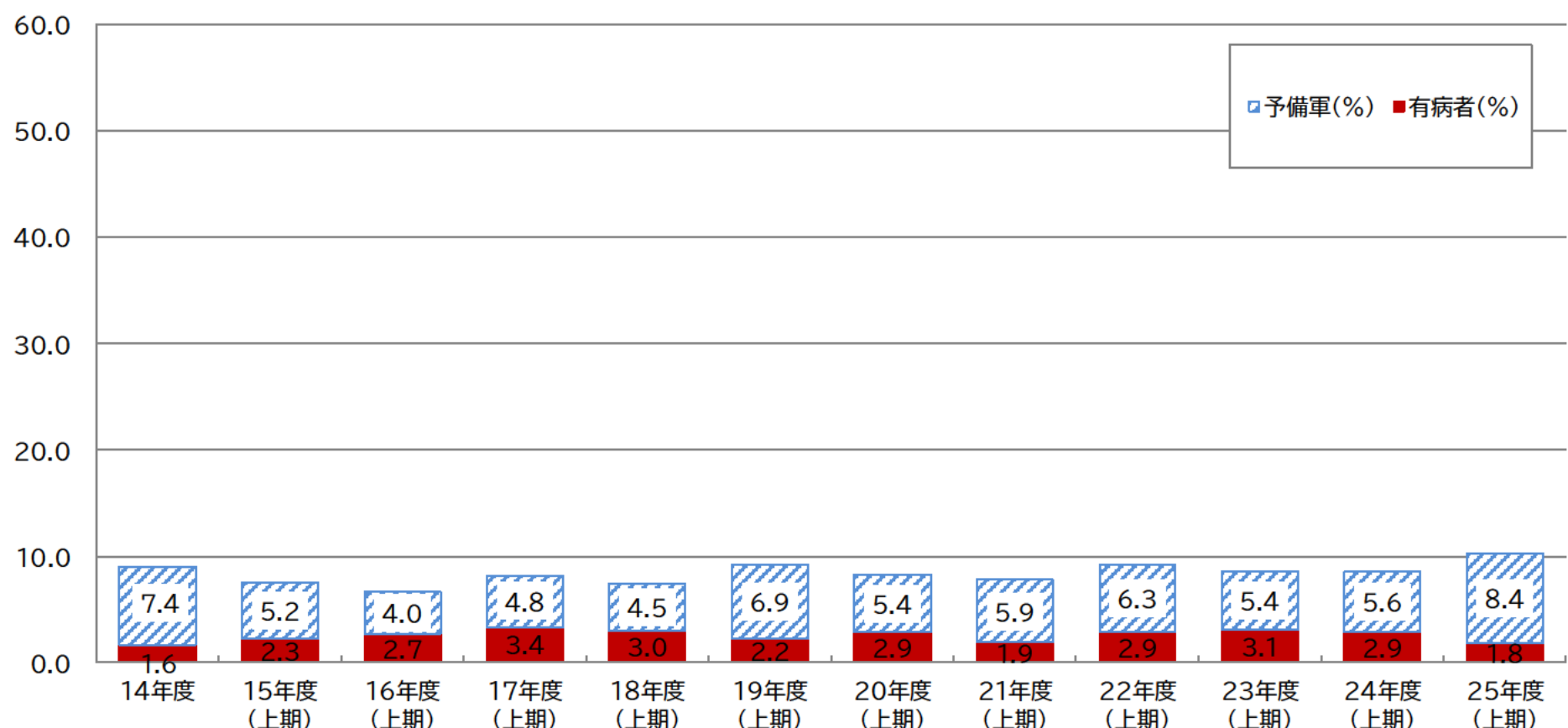


表5-2

40代以上女性	14年度	15年度 (上期)	16年度 (上期)	17年度 (上期)	18年度 (上期)	19年度 (上期)	20年度 (上期)	21年度 (上期)	22年度 (上期)	23年度 (上期)	24年度 (上期)	25年度 (上期)
有病者	12	10	12	16	14	11	15	10	16	18	17	11
予備軍	54	23	18	23	21	34	28	32	35	31	33	52
非該当者+腹囲正常者	665	406	422	437	435	447	479	497	507	525	539	553
計	731	439	452	476	470	492	522	539	558	574	589	616

図6-3 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上:男性)

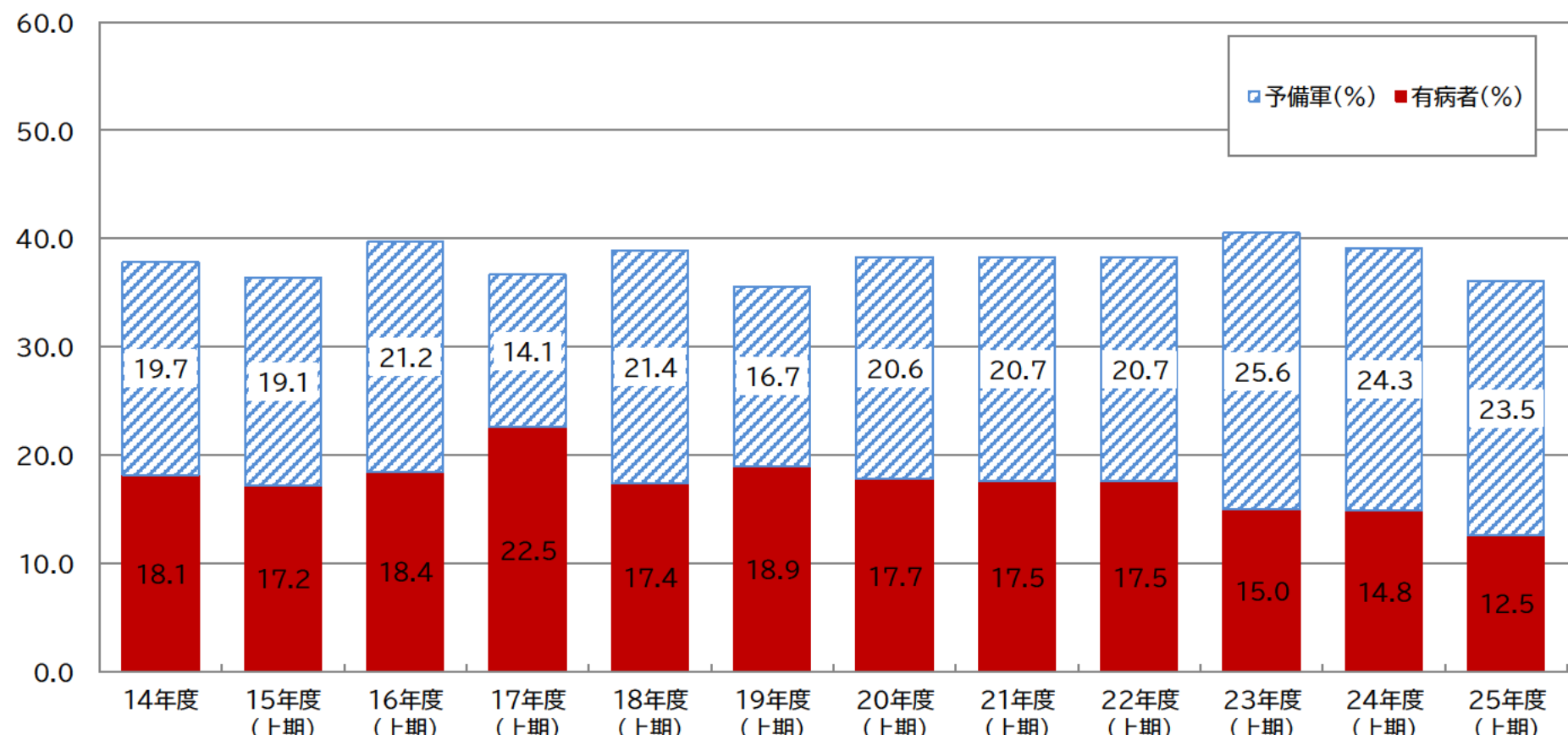


表5-3

40代以上男性	14年度	15年度 (上期)	16年度 (上期)	17年度 (上期)	18年度 (上期)	19年度 (上期)	20年度 (上期)	21年度 (上期)	22年度 (上期)	23年度 (上期)	24年度 (上期)	25年度 (上期)
有病者	35	36	40	48	39	42	44	44	44	38	36	32
予備軍	38	40	46	30	48	37	51	52	52	65	59	60
非該当者+腹囲正常者	120	133	131	135	137	143	153	155	155	151	148	163
計	193	209	217	213	224	222	248	251	251	254	243	255

- ・女性、男性ともに有病者の割合が減少傾向。
- ・有病者および予備軍に該当する者は、男性に多い。

【必要な対応策】

- ・ハイリスクアプローチ(保健指導、特定保健指導)の継続によって予備軍および有病者の減少させる
- ・ポピュレーションアプローチ(40歳未満からの早期介入含む)による腹囲正常者の増加

産業医面談・保健指導実施件数

図7-1 年間対応件数(項目別・のべ)

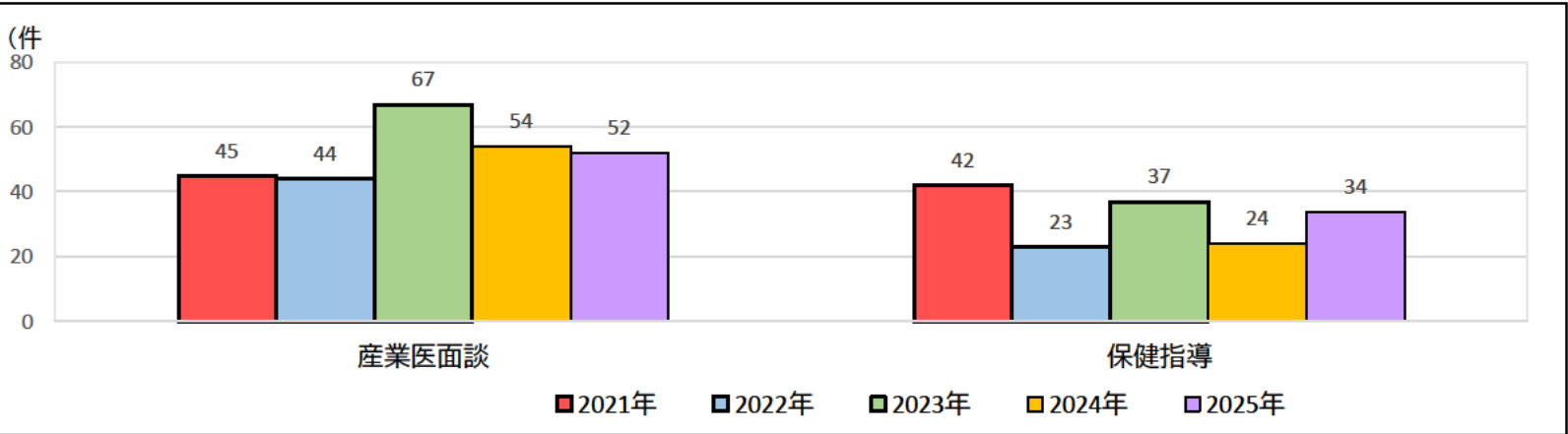


図7-2 保健指導項目の内訳(のべ)

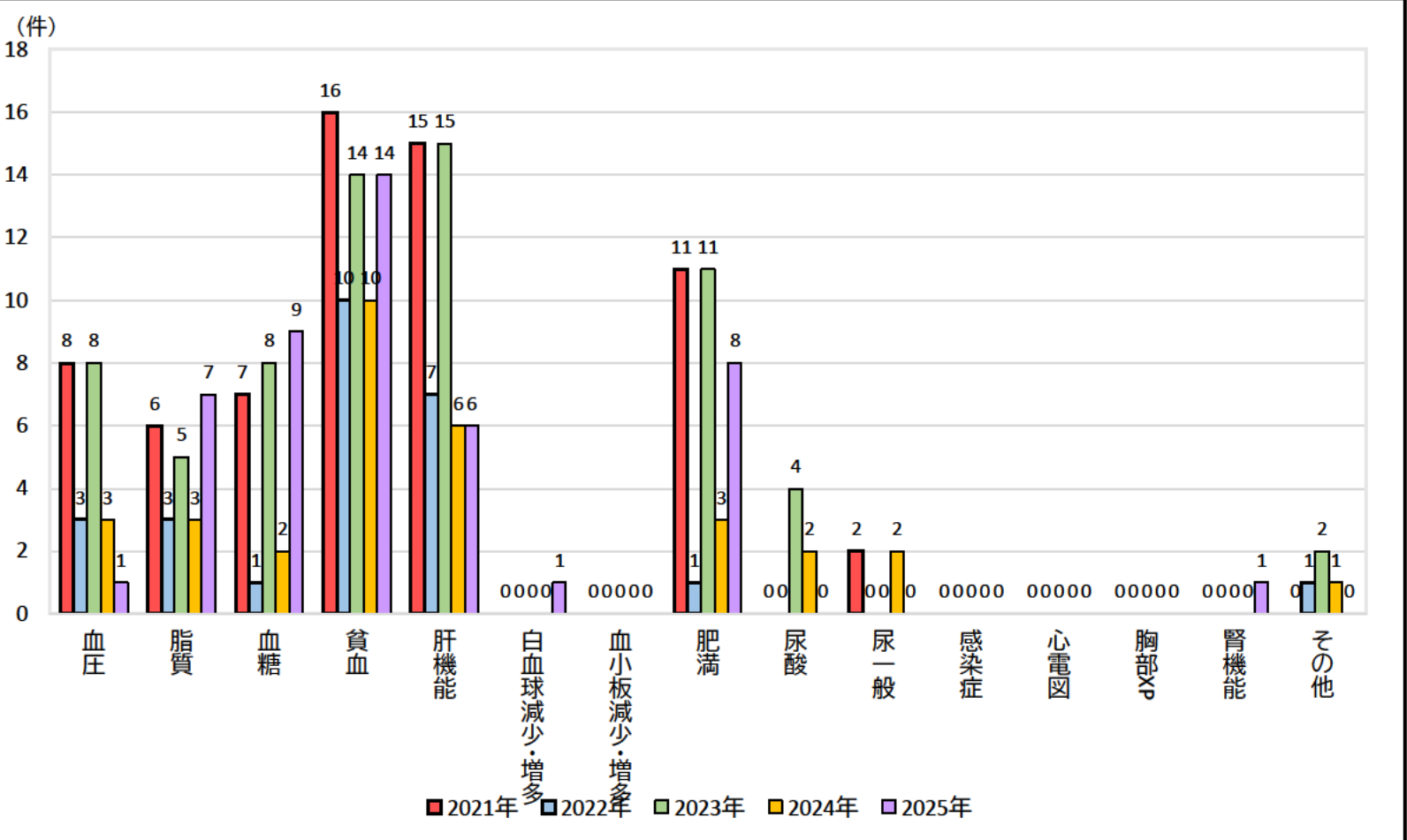


図7-3 面談項目の内訳(のべ)

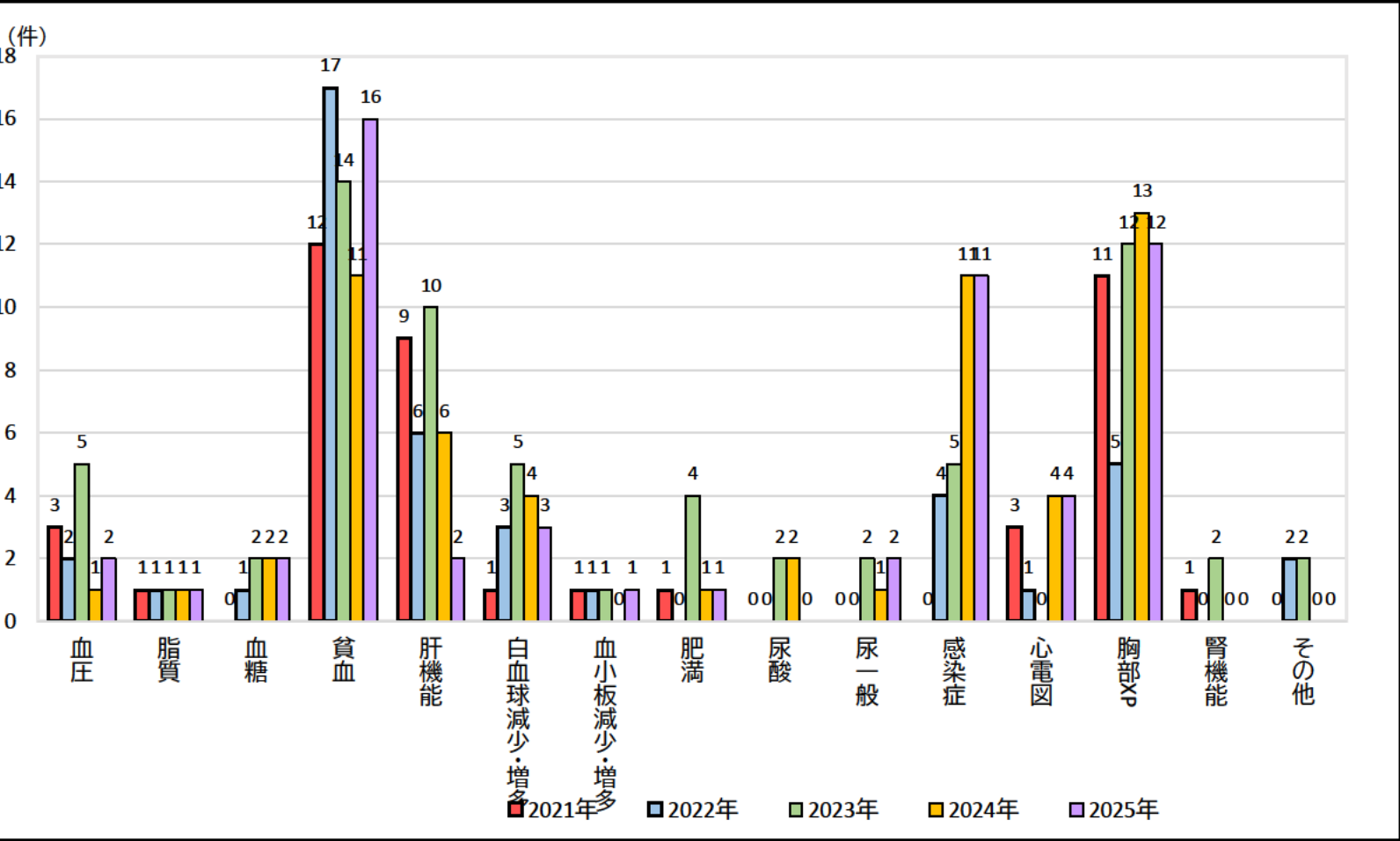


図7-4 専門医への紹介件数

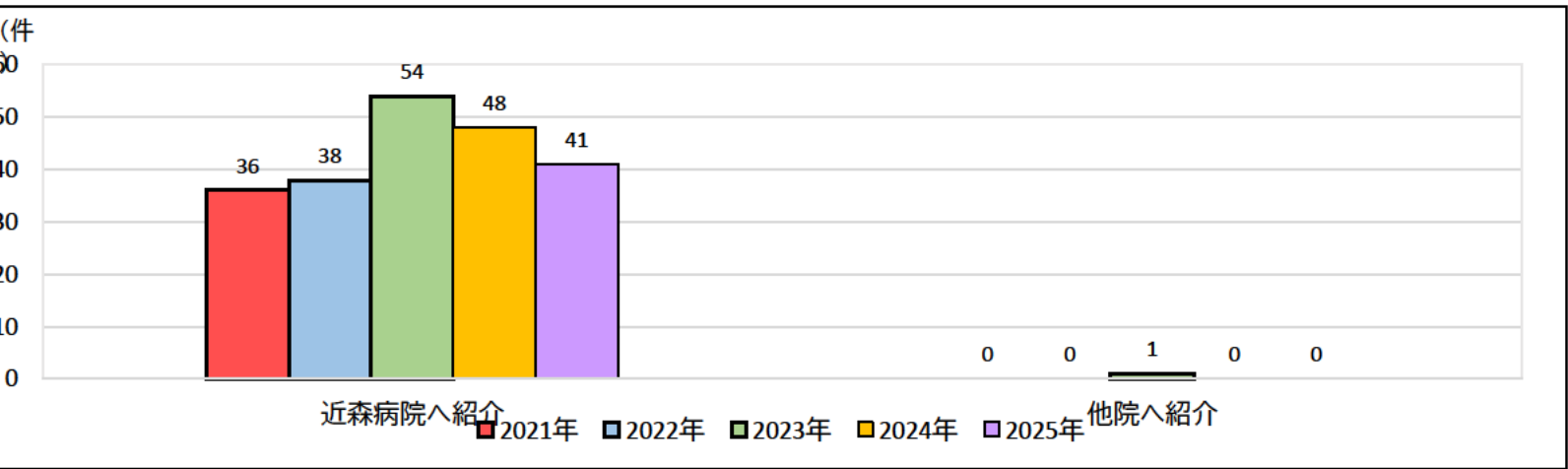


図7-5 専門医紹介となった面談項目の内訳(のべ)

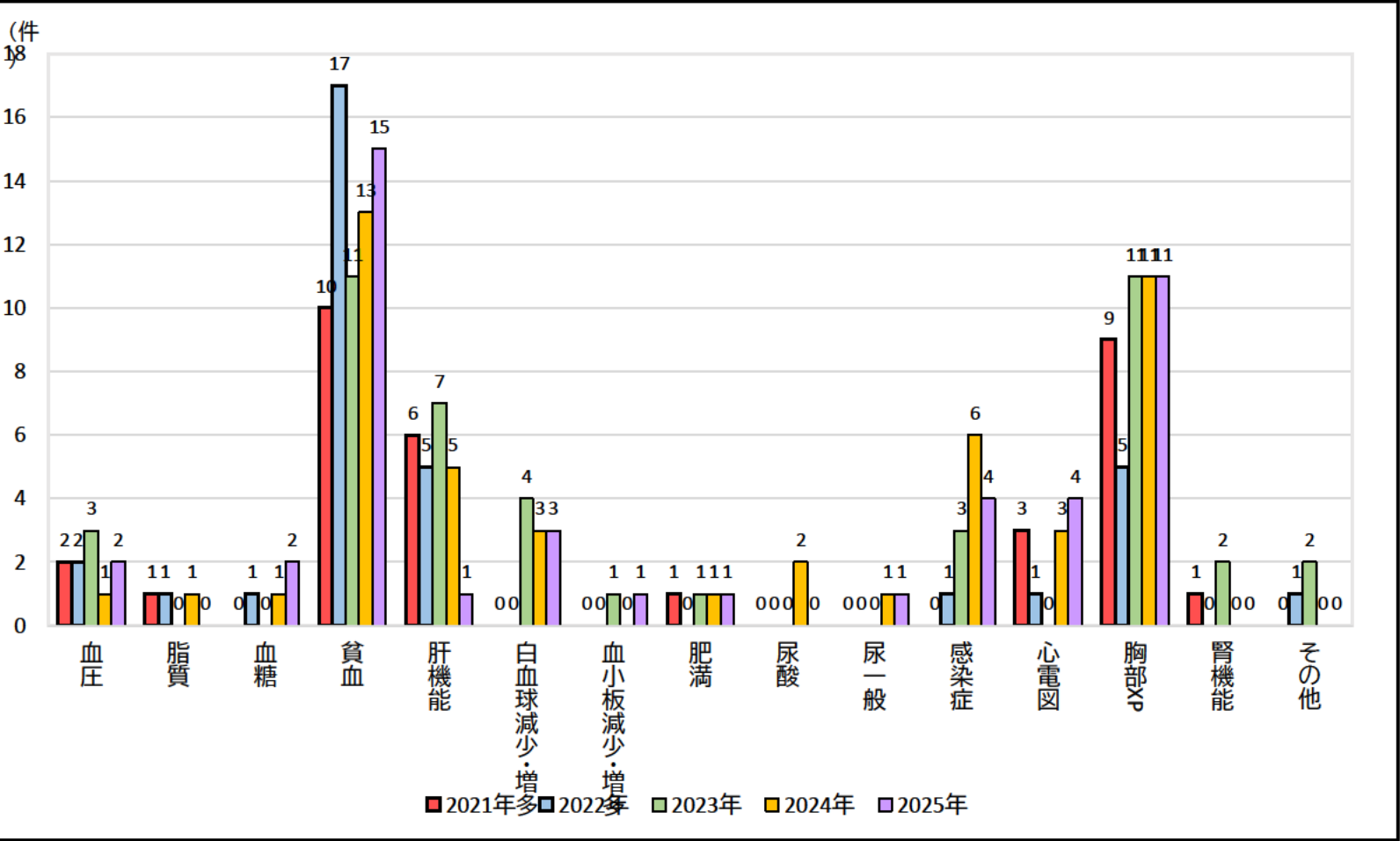


図7-6 特定保健指導の実施件数

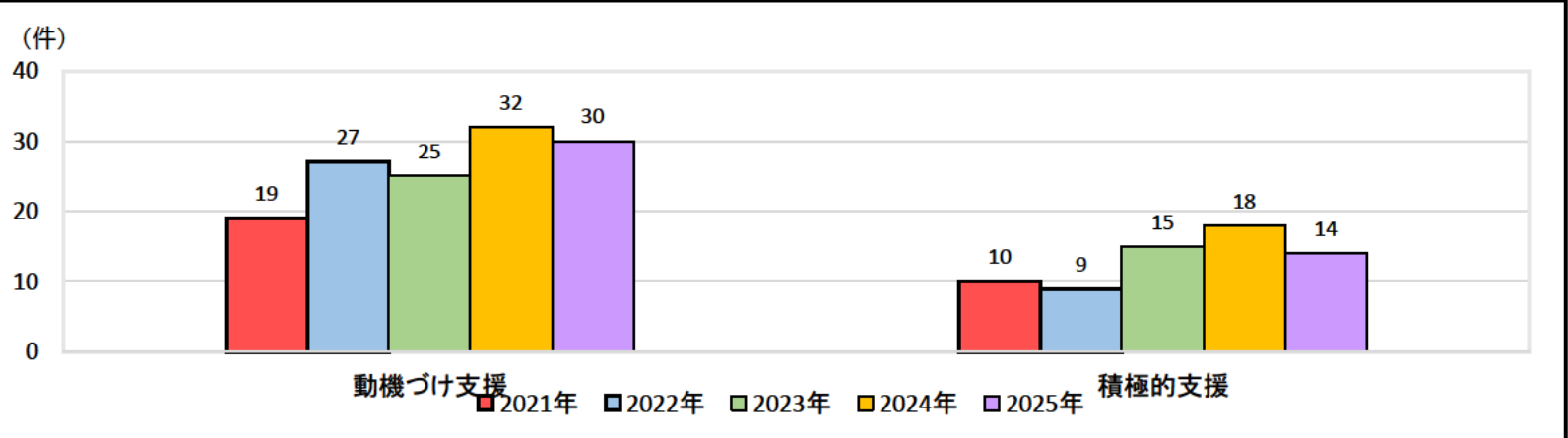


表6-1 年間対応件数 年次推移

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
産業医面談	45	44	67	54	52
保健指導	42	23	37	24	34

【コメント】
産業医面談件数は減少傾向、保健指導の件数は増加。

表6-2 保健指導項目の内訳

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
血圧	8	3	8	3	1
脂質	6	3	5	3	7
血糖	7	1	8	2	9
貧血	16	10	14	10	14
肝機能	15	7	15	6	6
白血球減少・増多	0	0	0	0	1
血小板減少・増多	0	0	0	0	0
肥満	11	1	11	3	8
尿酸	0	0	4	2	0
尿一般	2	0	0	2	0
感染症	0	0	0	0	0
心電図	0	0	0	0	0
胸部XP	0	0	0	0	0
腎機能	0	0	0	0	1
その他	0	1	2	1	0
計	65	26	67	32	47

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表6-3 面談項目の内訳

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
血圧	3	2	5	1	2
脂質	1	1	1	1	1
血糖	0	1	2	2	2
貧血	12	17	14	11	16
肝機能	9	6	10	6	2
白血球減少・増多	1	3	5	4	3
血小板減少・増多	1	1	1	0	1
肥満	1	0	4	1	1
尿酸	0	0	2	2	0
尿一般	0	0	2	1	2
感染症	0	4	5	11	11
心電図	3	1	0	4	4
胸部XP	11	5	12	13	12
腎機能	1	0	2	0	0
その他	0	2	2	0	0
計	43	43	67	63	57

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表6-4 専門医への紹介件数 年次推移

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
近森病院へ紹介	36	38	54	48	41
他院へ紹介	0	0	1	0	0
計	36	38	55	48	41

【コメント】
専門医紹介となる件数は減少傾向。

表6-5 専門医へ紹介となった面談項目の内訳

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
血圧	2	2	3	1	2
脂質	1	1	0	1	0
血糖	0	1	0	1	2
貧血	10	17	11	13	15
肝機能	6	5	7	5	1
白血球減少・増多	0	0	4	3	3
血小板減少・増多	0	0	1	0	1
肥満	1	0	1	1	1
尿酸	0	0	0	2	0
尿一般	0	0	0	1	1
感染症	0	1	3	6	4
心電図	3	1	0	3	4
胸部XP	9	5	11	11	11
腎機能	1	0	2	0	0
その他	0	1	2	0	0
計	33	34	45	54	45

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

表6-6 特定保健指導実施件数

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
動機づけ支援	19	27	25	32	30
積極的支援	10	9	15	18	14
計	29	36	40	50	44

※2026.3.1時点:実施中(最終評価未)含む

【コメント】
動機づけ支援・積極的支援ともに実施件数はやや減少。

■近森会 電離放射線健康診断結果年次推移(線量による区分)

図8-1 実効線量

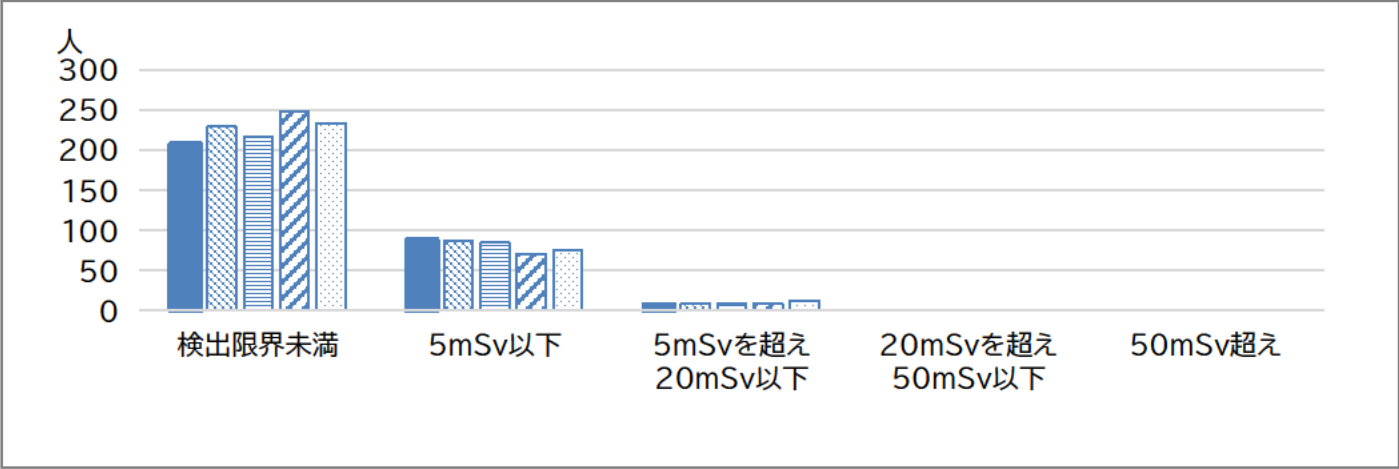


表7-1 実効線量

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
検出限界未満	207	229	217	248	233
5mSv以下	87	87	85	71	75
20mSv以下	7	8	8	8	12
50mSv以下	0	0	0	0	0
50mSvを超え	0	0	0	0	0
計	301	324	310	327	320

図8-2 眼の水晶体の等価線量

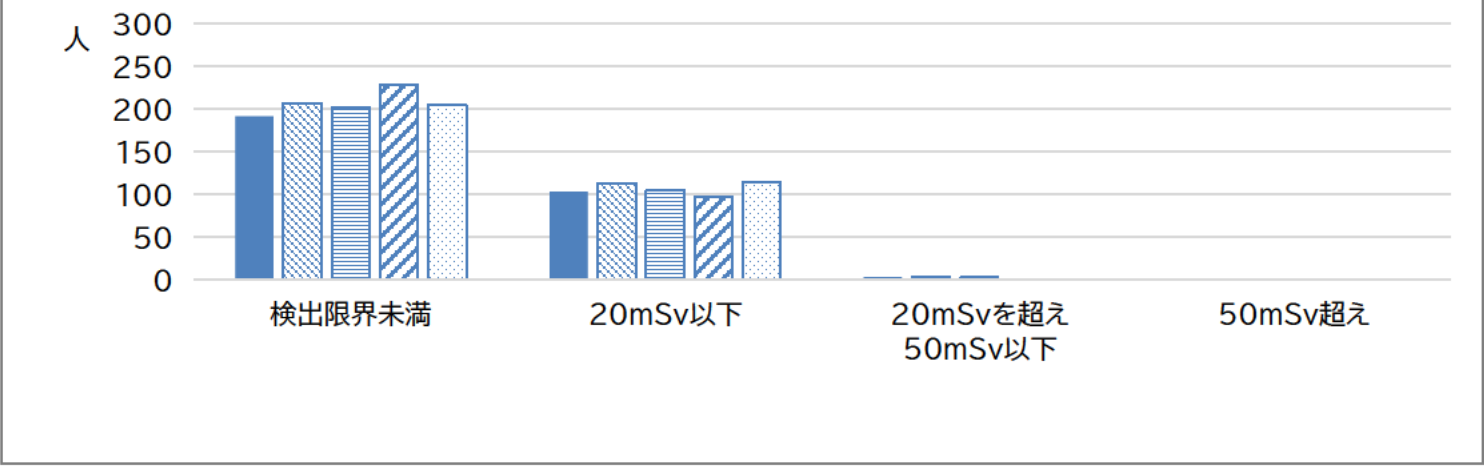


表7-2 眼の水晶体の等価線量

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
検出限界未満	192	207	202	229	205
20mSv以下	104	114	105	97	115
50mSv以下	4	3	3	1	0
50mSvを超え	1	0	0	0	0
計	301	324	310	327	320

図8-3 皮膚の等価線量

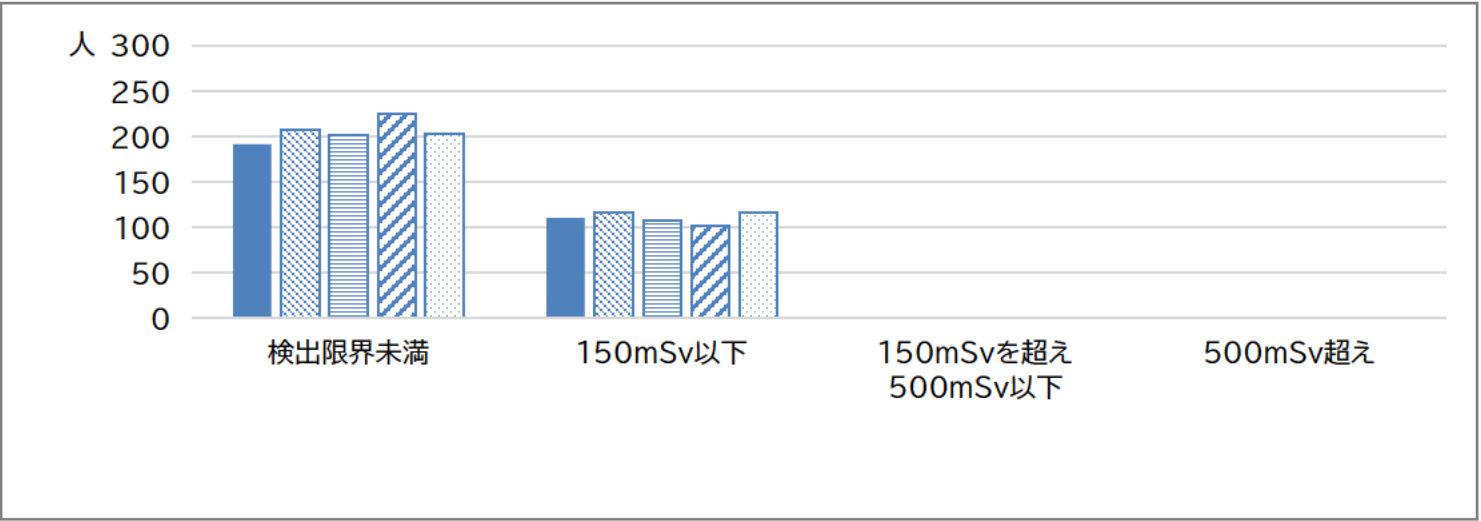


表7-3 皮膚の等価線量

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
検出限界未満	191	208	202	225	203
150mSv以下	110	116	108	102	117
150mSvを超え500mSv以下	0	0	0	0	0
500mSvを超え	0	0	0	0	0
計	301	324	310	327	320

*線量による区分は、今回の健康診断を行った日の属する年の前年一年間に受けた線量

放射線業務従事者の被ばく限度

実効線量限度

- ・100mSv/5年→平均20mSv/年
- ・50mSv/年
- ・5mSv/3月(女子)
- ・1mSv(妊娠中女子の内部被ばく)

等価線量限度

- ・眼の水晶体 50mSv/年、100mSv/5年→平均20mSv/年 *2021.4.1～改正
- ・皮膚 500mSv/年
- ・妊娠中の女子 2mSv(腹部表面)

1、被ばく線量について(図1.2.3)

1)実効線量、皮膚の等価線量

問題なし 2025年度(2024年度線量区分):実効線量において、5mSvを超えあるが20mSvを超えはなし

2)眼の水晶体の等価線量

問題なし 2025年度(2024年度線量区分):20mSvを超えなし

2、有所見者について(資料なし):該当者なく問題なし

●引き続き、被ばく線量が高い職員についてはモニタリングに加えて防護眼鏡の変更やドジリスの導入など低減対策の継続が必要。

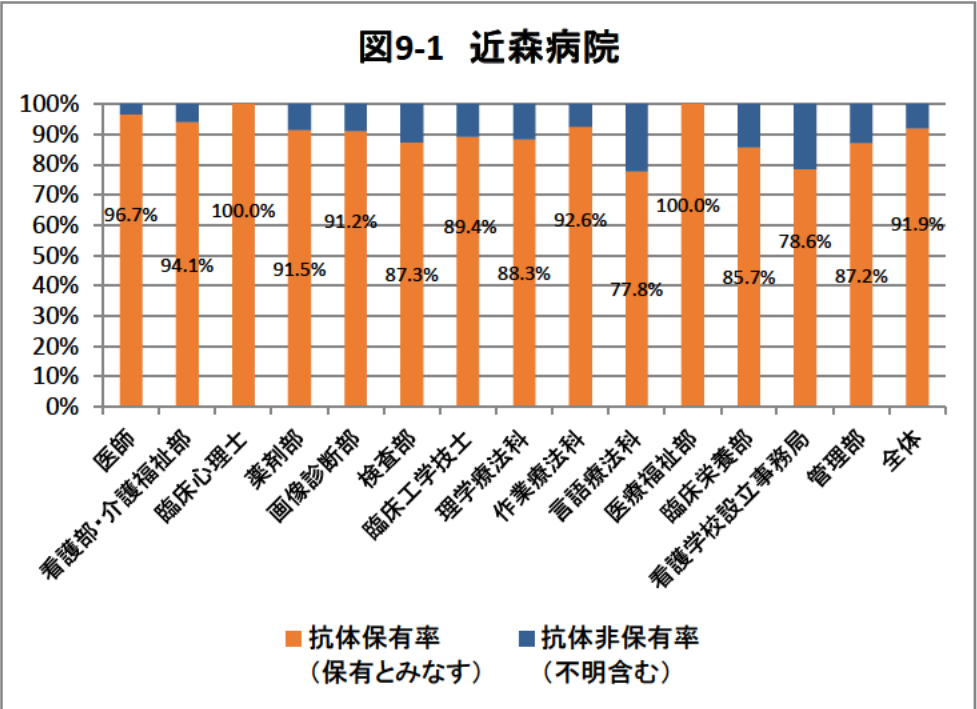
●現場では、画像診断部による放射線測定器および防護具の適正装着の声掛け、線量監視による低減対策に対する早期介入などが実施されている。

麻疹 抗体保有率

2026/02/20時点

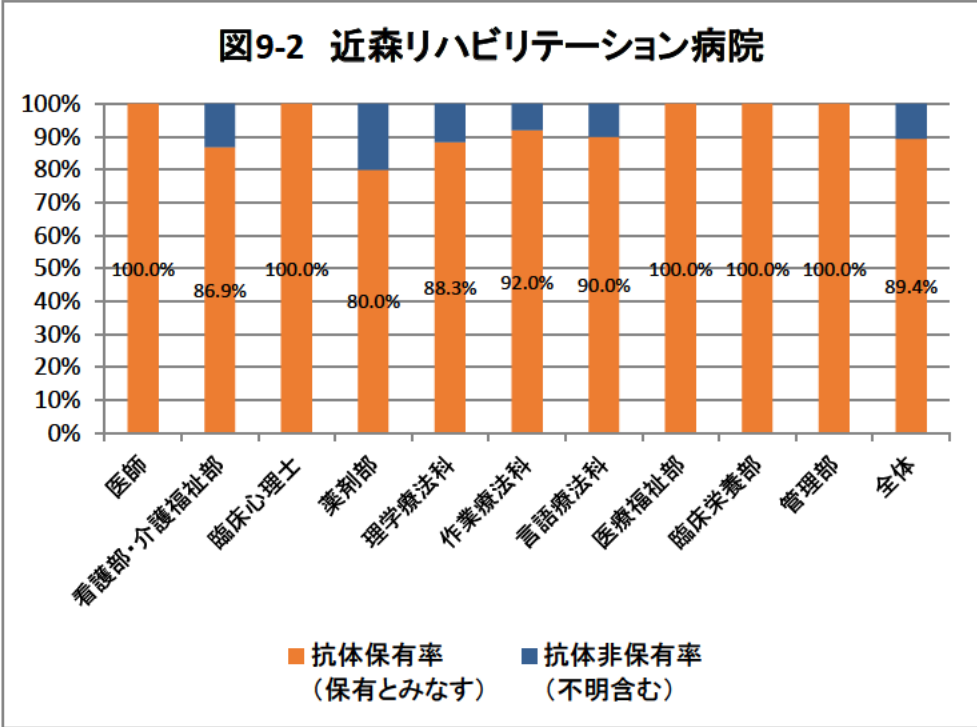
● 近森病院
表8-1

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	145	5	150	96.7%	3.3%
看護部・介護福祉部	575	36	611	94.1%	5.9%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	43	4	47	91.5%	8.5%
画像診断部	31	3	34	91.2%	8.8%
検査部	48	7	55	87.3%	12.7%
臨床工学技士	42	5	47	89.4%	10.6%
理学療法科	53	7	60	88.3%	11.7%
作業療法科	25	2	27	92.6%	7.4%
言語療法科	7	2	9	77.8%	22.2%
医療福祉部	17	0	17	100.0%	0.0%
臨床栄養部	24	4	28	85.7%	14.3%
看護学校設立事務局	11	3	14	78.6%	21.4%
管理部	204	30	234	87.2%	12.8%
全体	1228	108	1336	91.9%	8.1%



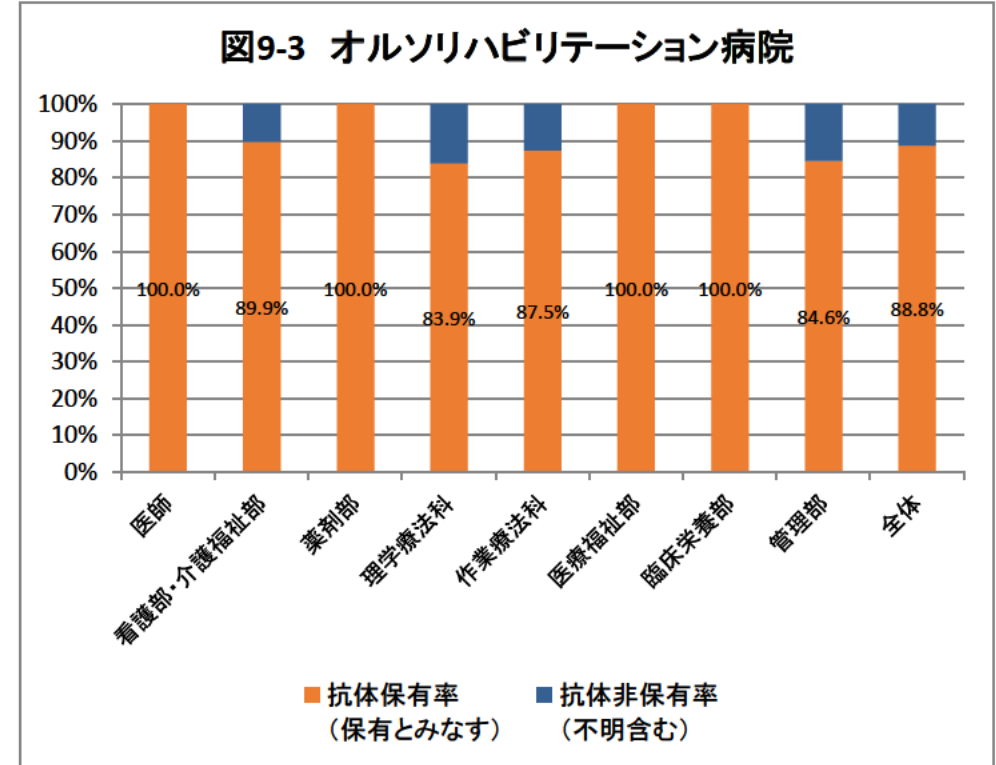
● 近森リハビリテーション病院
表8-2

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	119	18	137	86.9%	13.1%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	53	7	60	88.3%	11.7%
作業療法科	46	4	50	92.0%	8.0%
言語療法科	18	2	20	90.0%	10.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	11	0	11	100.0%	0.0%
全体	270	32	302	89.4%	10.6%



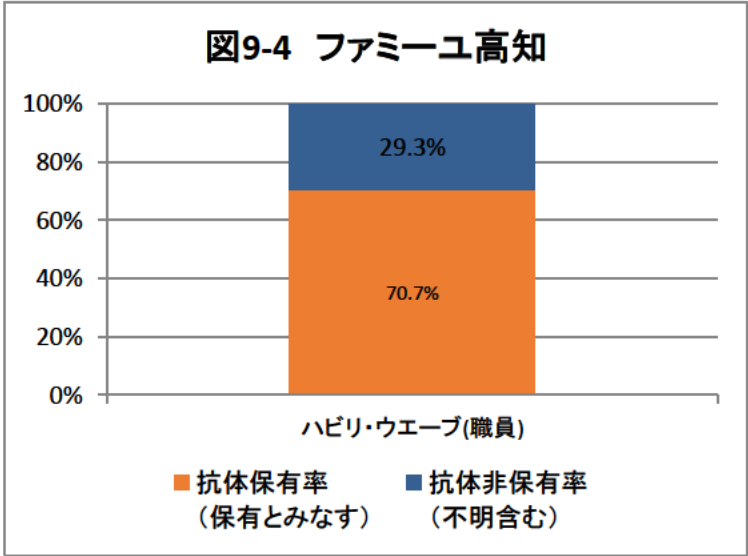
● オルソリハビリテーション病院
表8-3

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	71	8	79	89.9%	10.1%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	26	5	31	83.9%	16.1%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	11	2	13	84.6%	15.4%
全体	127	16	143	88.8%	11.2%



● ファミージュ高知
表8-4

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	58	24	82	70.7%	29.3%
全体	58	24	82	70.7%	29.3%



補足

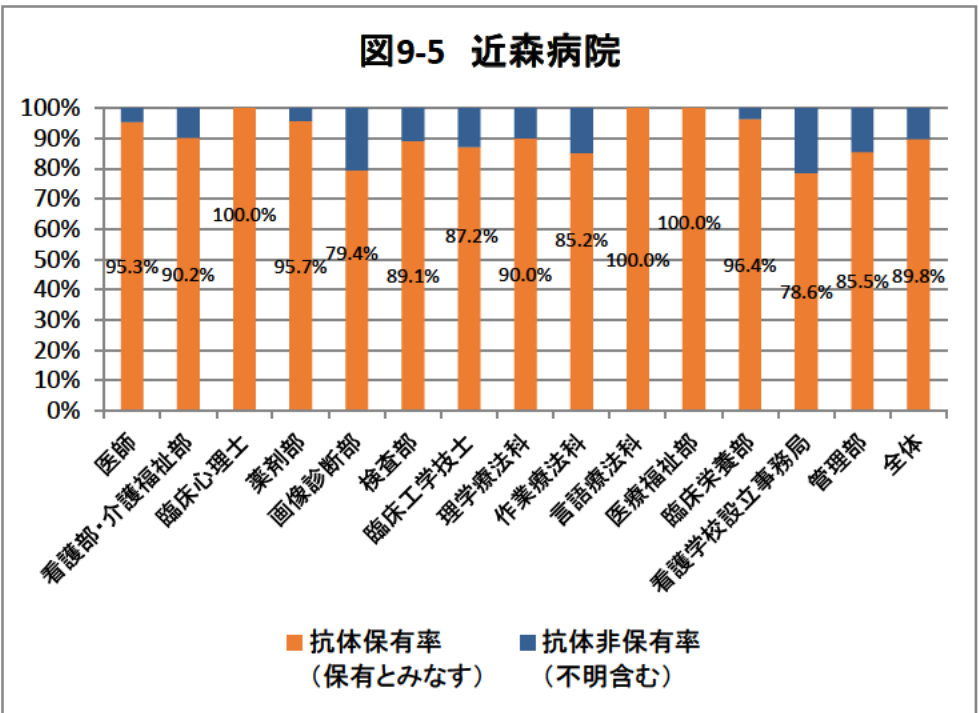
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている

風疹 抗体保有率

2026/02/20時点

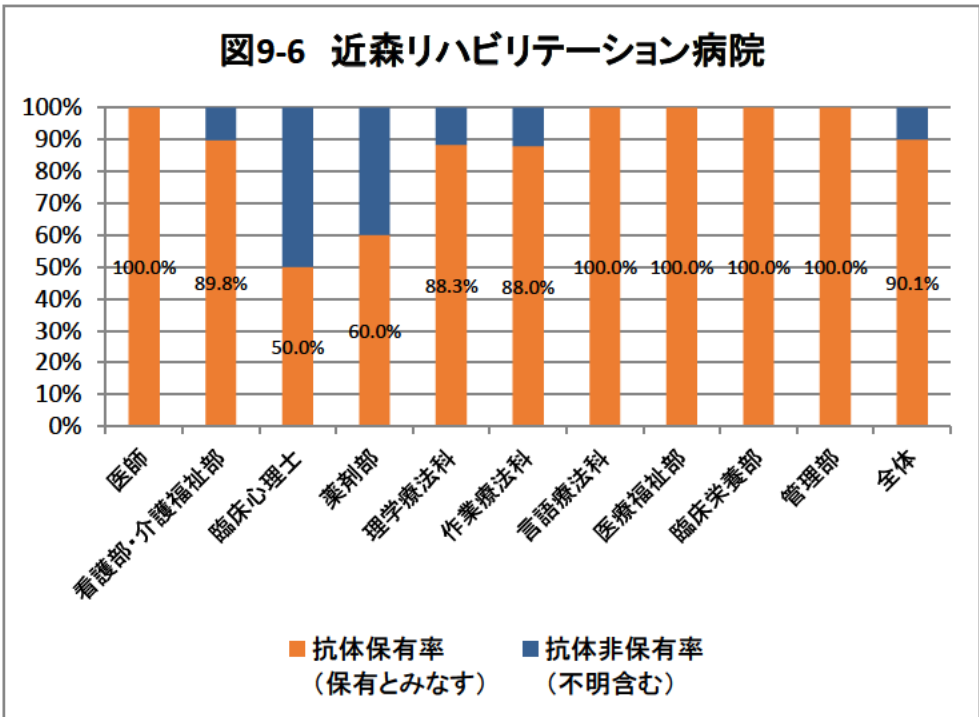
● 近森病院
表8-5

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	143	7	150	95.3%	4.7%
看護部・介護福祉部	551	60	611	90.2%	9.8%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	45	2	47	95.7%	4.3%
画像診断部	27	7	34	79.4%	20.6%
検査部	49	6	55	89.1%	10.9%
臨床工学技士	41	6	47	87.2%	12.8%
理学療法科	54	6	60	90.0%	10.0%
作業療法科	23	4	27	85.2%	14.8%
言語療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	17	0	17	100.0%	0.0%
臨床栄養部	27	1	28	96.4%	3.6%
看護学校設立事務局	11	3	14	78.6%	21.4%
管理部	200	34	234	85.5%	14.5%
全体	1200	136	1336	89.8%	10.2%



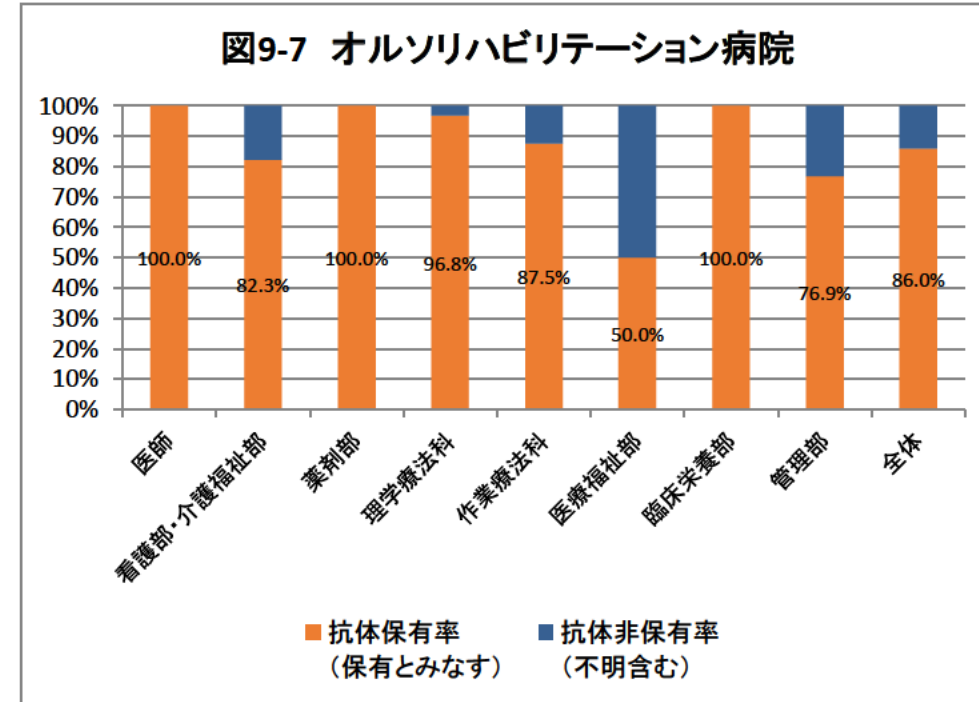
● 近森リハビリテーション病院
表8-6

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	123	14	137	89.8%	10.2%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	3	2	5	60.0%	40.0%
理学療法科	53	7	60	88.3%	11.7%
作業療法科	44	6	50	88.0%	12.0%
言語療法科	20	0	20	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	11	0	11	100.0%	0.0%
全体	272	30	302	90.1%	9.9%



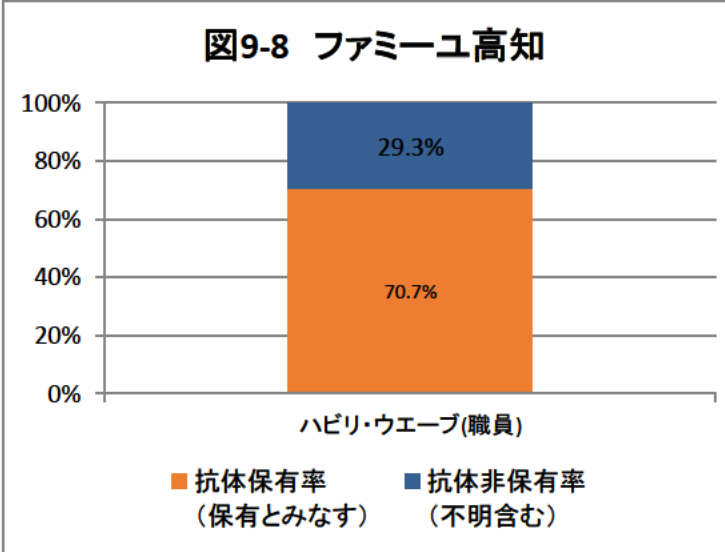
● オルソリハビリテーション病院
表8-7

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	65	14	79	82.3%	17.7%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	30	1	31	96.8%	3.2%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	1	1	2	50.0%	50.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	10	3	13	76.9%	23.1%
全体	123	20	143	86.0%	14.0%



● ファミージュ高知
表8-8

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	58	24	82	70.7%	29.3%
全体	58	24	82	70.7%	29.3%



補足

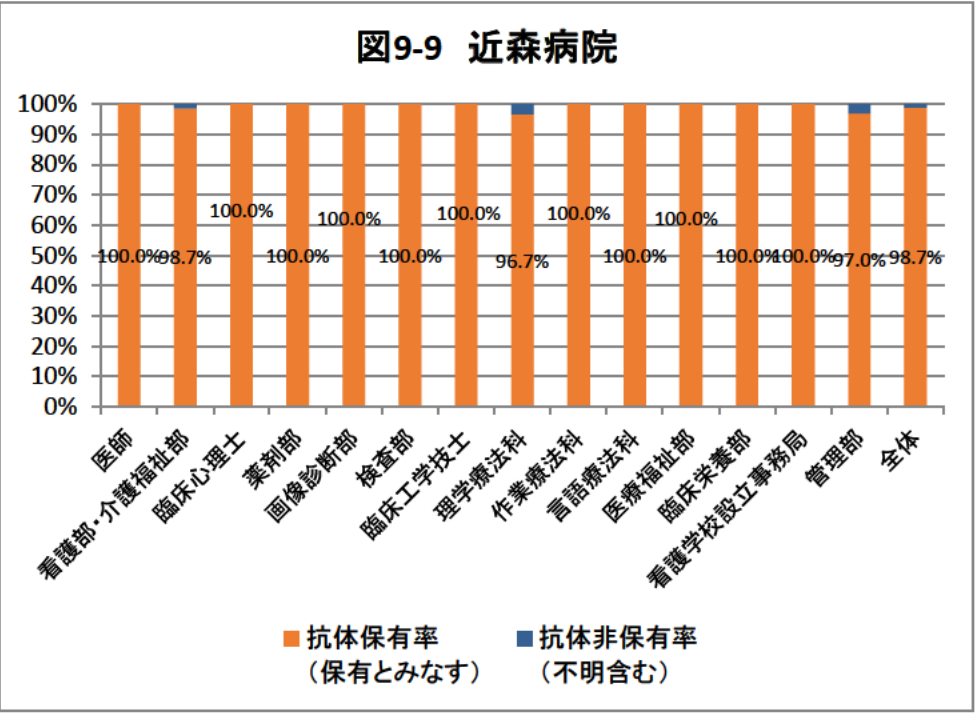
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている

水痘 抗体保有率

2026/02/20時点

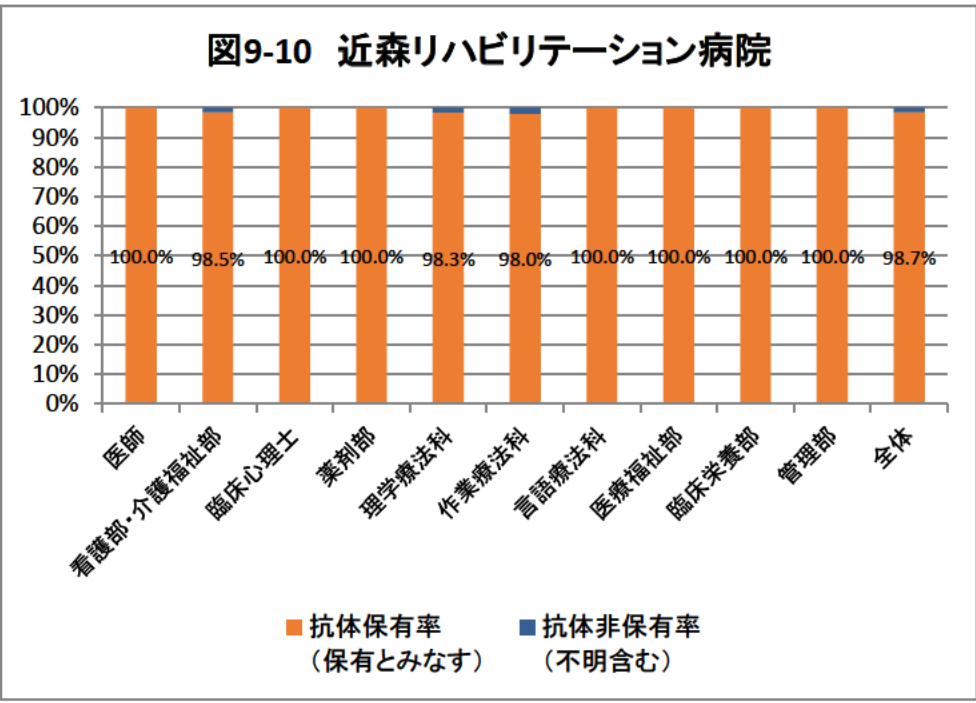
● 近森病院
表8-9

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	150	0	150	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	603	8	611	98.7%	1.3%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	47	0	47	100.0%	0.0%
画像診断部	34	0	34	100.0%	0.0%
検査部	55	0	55	100.0%	0.0%
臨床工学技士	47	0	47	100.0%	0.0%
理学療法科	58	2	60	96.7%	3.3%
作業療法科	27	0	27	100.0%	0.0%
言語療法科	9	0	9	100.0%	0.0%
医療福祉部	17	0	17	100.0%	0.0%
臨床栄養部	28	0	28	100.0%	0.0%
看護学校設立事務局	14	0	14	100.0%	0.0%
管理部	227	7	234	97.0%	3.0%
全体	1319	17	1336	98.7%	1.3%



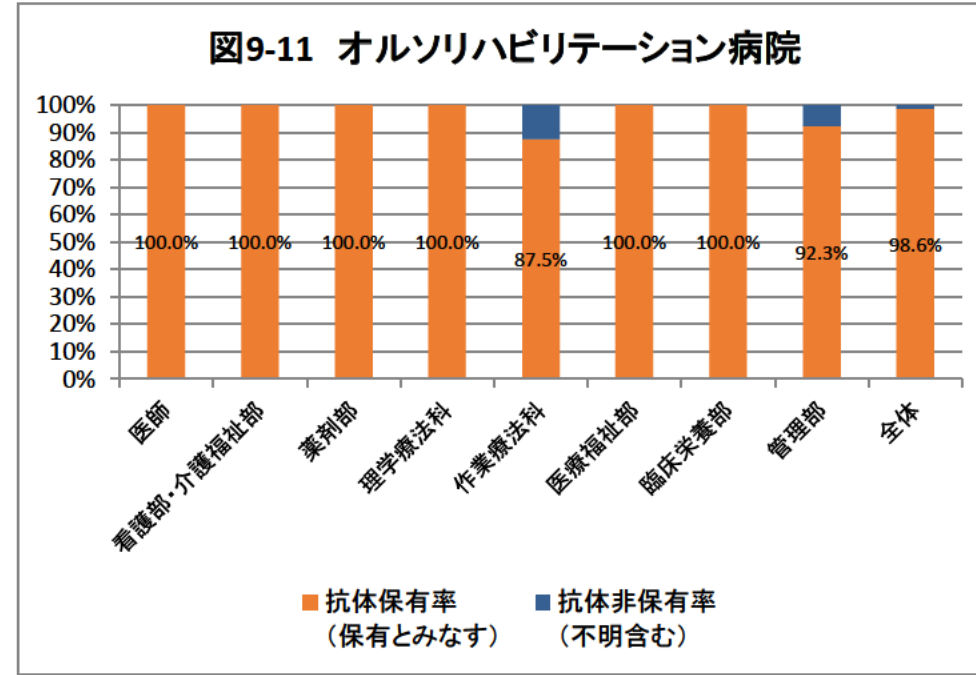
● 近森リハビリテーション病院
表8-10

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	135	2	137	98.5%	1.5%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	5	0	5	100.0%	0.0%
理学療法科	59	1	60	98.3%	1.7%
作業療法科	49	1	50	98.0%	2.0%
言語療法科	20	0	20	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	11	0	11	100.0%	0.0%
全体	298	4	302	98.7%	1.3%



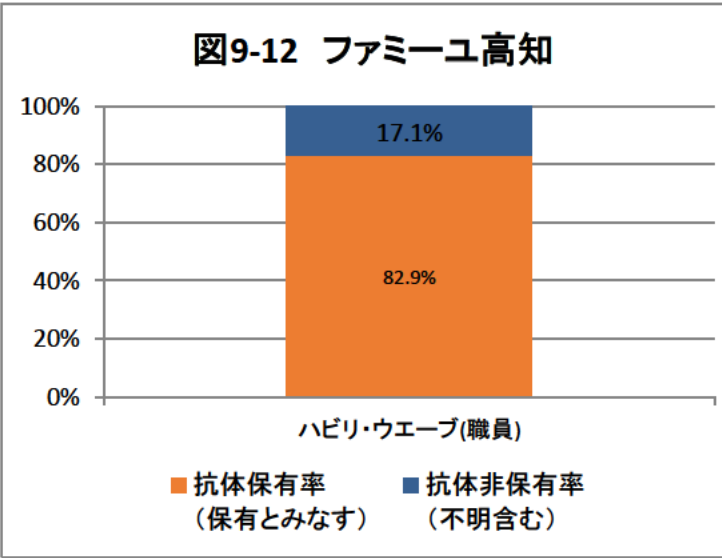
● オルソリハビリテーション病院
表8-11

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	79	0	79	100.0%	0.0%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	31	0	31	100.0%	0.0%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	12	1	13	92.3%	7.7%
全体	141	2	143	98.6%	1.4%



● ファミージュ高知
表8-12

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハピリ・ウエーブ(職員)	68	14	82	82.9%	17.1%
全体	68	14	82	82.9%	17.1%



補足

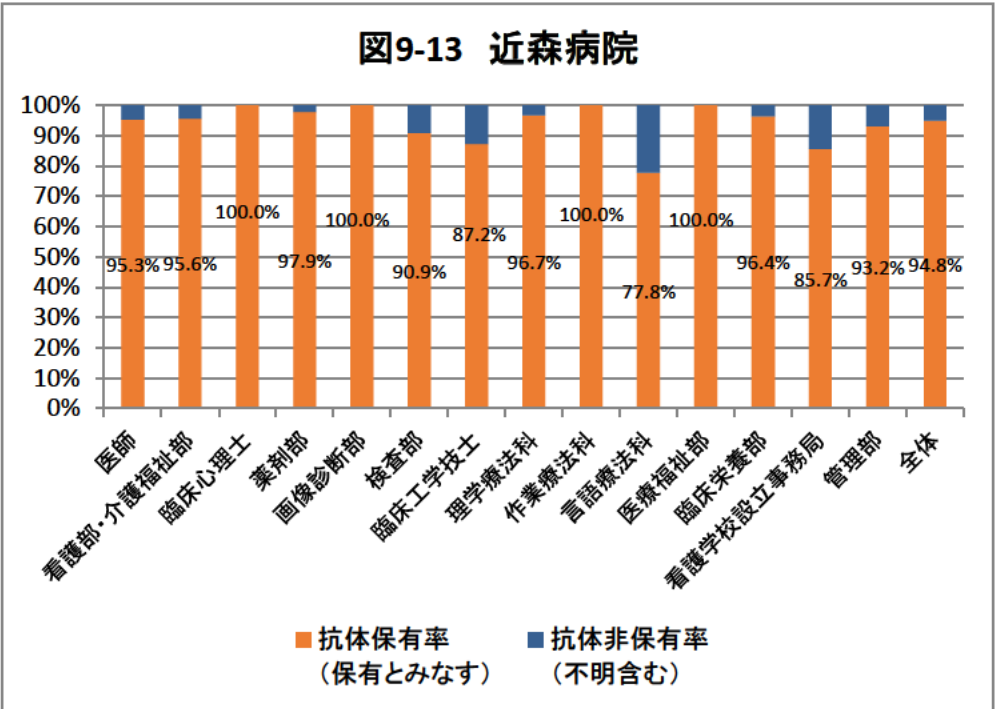
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている

ムンプス 抗体保有率

2026/02/20時点

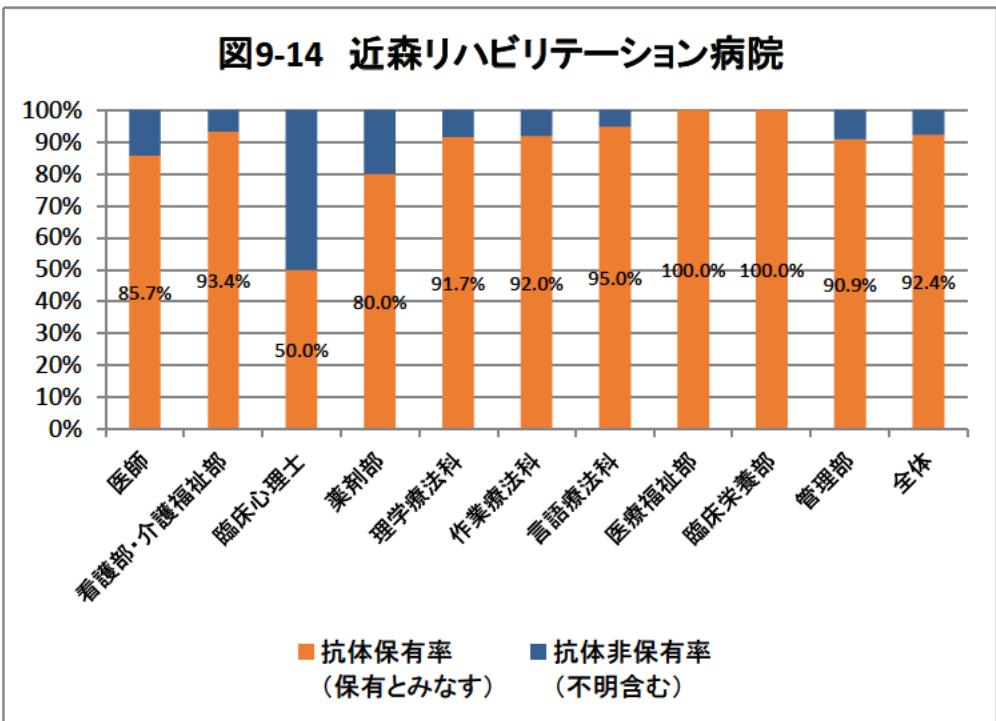
● 近森病院
表8-13

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	143	7	150	95.3%	4.7%
看護部・介護福祉部	584	27	611	95.6%	4.4%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	46	1	47	97.9%	2.1%
画像診断部	34	0	34	100.0%	0.0%
検査部	50	5	55	90.9%	9.1%
臨床工学技士	41	6	47	87.2%	12.8%
理学療法科	58	2	60	96.7%	3.3%
作業療法科	27	0	27	100.0%	0.0%
言語療法科	7	2	9	77.8%	22.2%
医療福祉部	17	0	17	100.0%	0.0%
臨床栄養部	27	1	28	96.4%	3.6%
看護学校設立事務局	12	2	14	85.7%	14.3%
管理部	218	16	234	93.2%	6.8%
全体	1267	69	1336	94.8%	5.2%



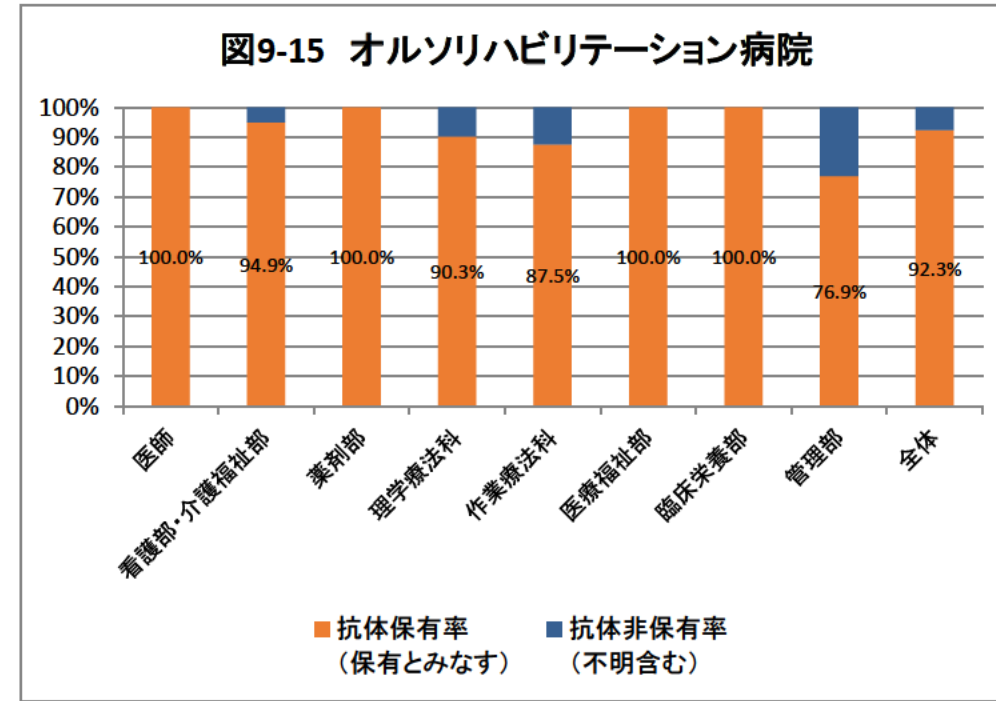
● 近森リハビリテーション病院
表8-14

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	1	7	85.7%	14.3%
看護部・介護福祉部	128	9	137	93.4%	6.6%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	55	5	60	91.7%	8.3%
作業療法科	46	4	50	92.0%	8.0%
言語療法科	19	1	20	95.0%	5.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	10	1	11	90.9%	9.1%
全体	279	23	302	92.4%	7.6%



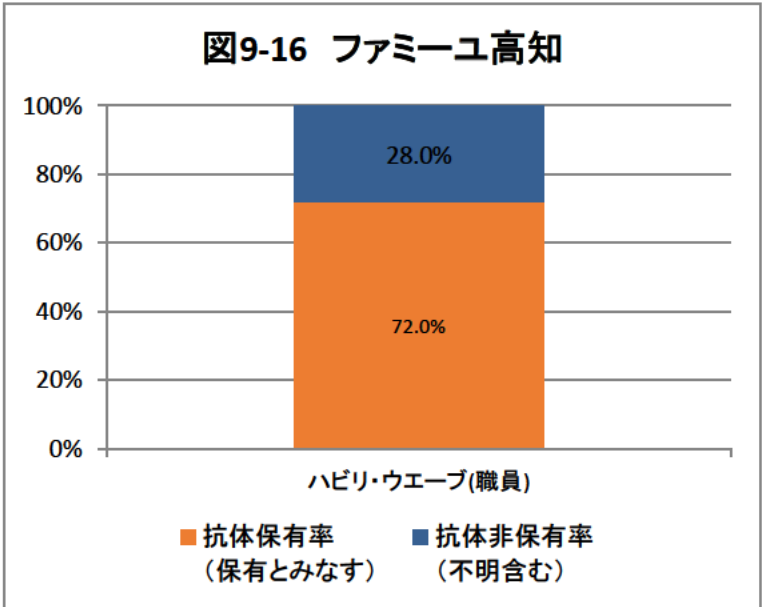
● オルソリハビリテーション病院
表8-15

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	75	4	79	94.9%	5.1%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	28	3	31	90.3%	9.7%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	10	3	13	76.9%	23.1%
全体	132	11	143	92.3%	7.7%



● ファミージュ高知
表8-16

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	59	23	82	72.0%	28.0%
全体	59	23	82	72.0%	28.0%



補足

抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている

HBs抗体陽性率

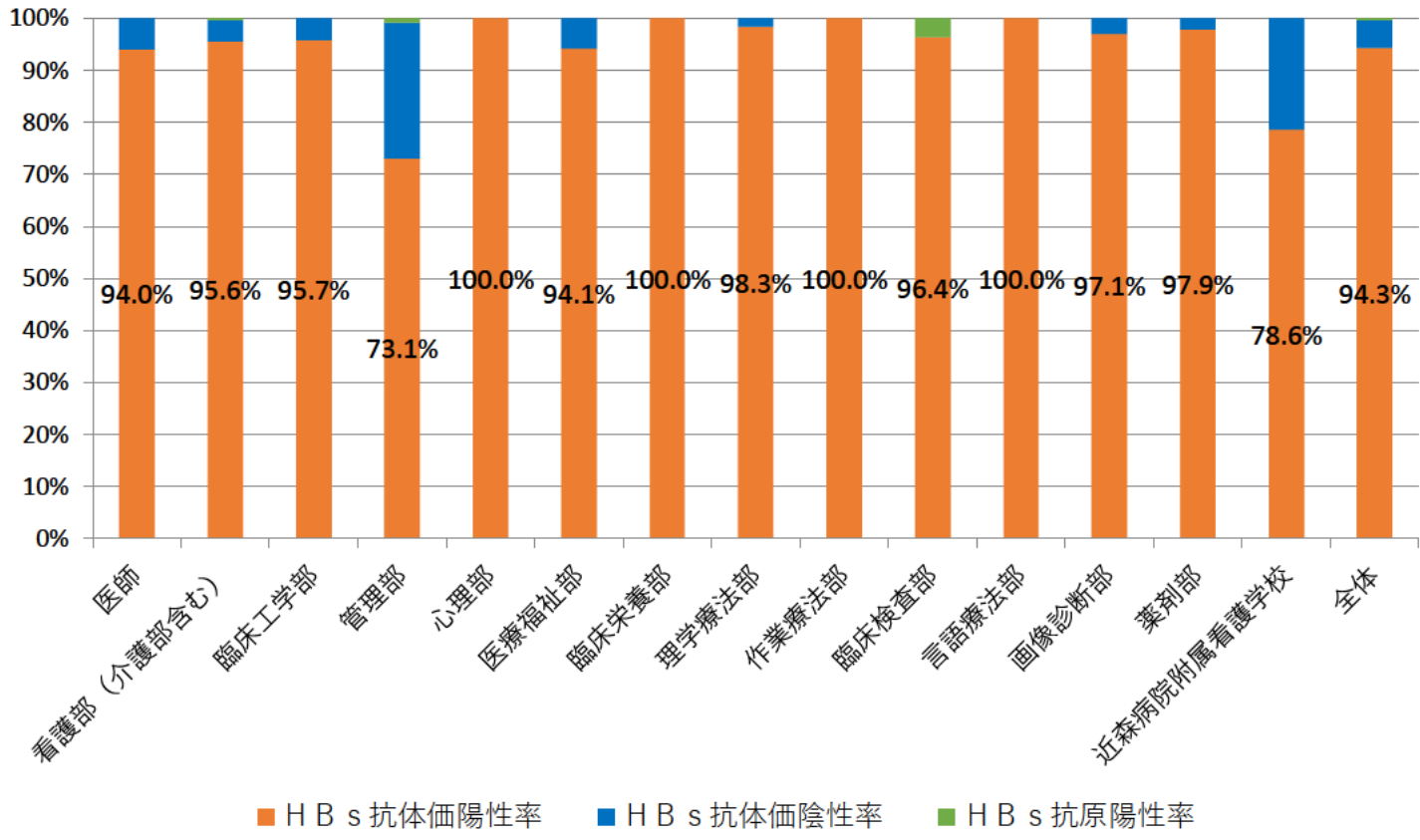
2026/2/20時点

●近森病院

表8-17

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	141	9	0	150	94.0%	6.0%	0.0%
看護部(介護部含む)	584	25	2	611	95.6%	4.1%	0.3%
臨床工学部	45	2	0	47	95.7%	4.3%	0.0%
管理部	171	61	2	234	73.1%	26.1%	0.9%
心理部	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	16	1	0	17	94.1%	5.9%	0.0%
臨床栄養部	28	0	0	28	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	59	1	0	60	98.3%	1.7%	0.0%
作業療法部	27	0	0	27	100.0%	0.0%	0.0%
臨床検査部	53	0	2	55	96.4%	0.0%	3.6%
言語療法部	9	0	0	9	100.0%	0.0%	0.0%
画像診断部	33	1	0	34	97.1%	2.9%	0.0%
薬剤部	46	1	0	47	97.9%	2.1%	0.0%
近森病院附属看護学校	11	3	0	14	78.6%	21.4%	0.0%
全体	1226	104	6	1336	94.3%	5.3%	0.3%

図9-17 近森病院

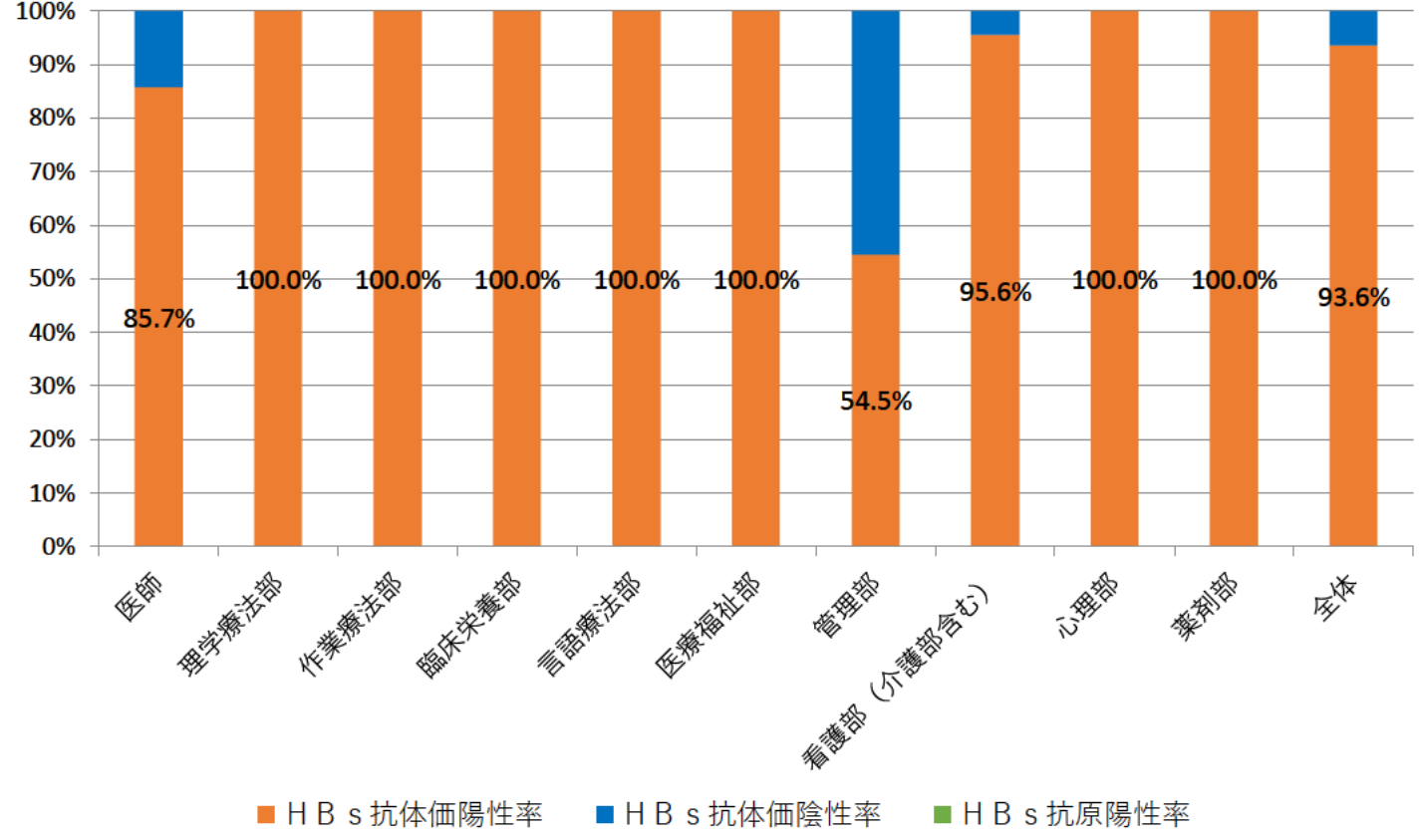


●近森リハビリテーション病院

表8-18

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	6	1	0	7	85.7%	14.3%	0.0%
理学療法部	60	0	0	60	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	50	0	0	50	100.0%	0.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%
言語療法部	20	0	0	20	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%
管理部	6	5	0	11	54.5%	45.5%	0.0%
看護部(介護部含む)	131	6	0	137	95.6%	4.4%	0.0%
心理部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
全体	290	12	0	302	93.6%	6.4%	0.0%

図9-18 近森リハビリテーション病院

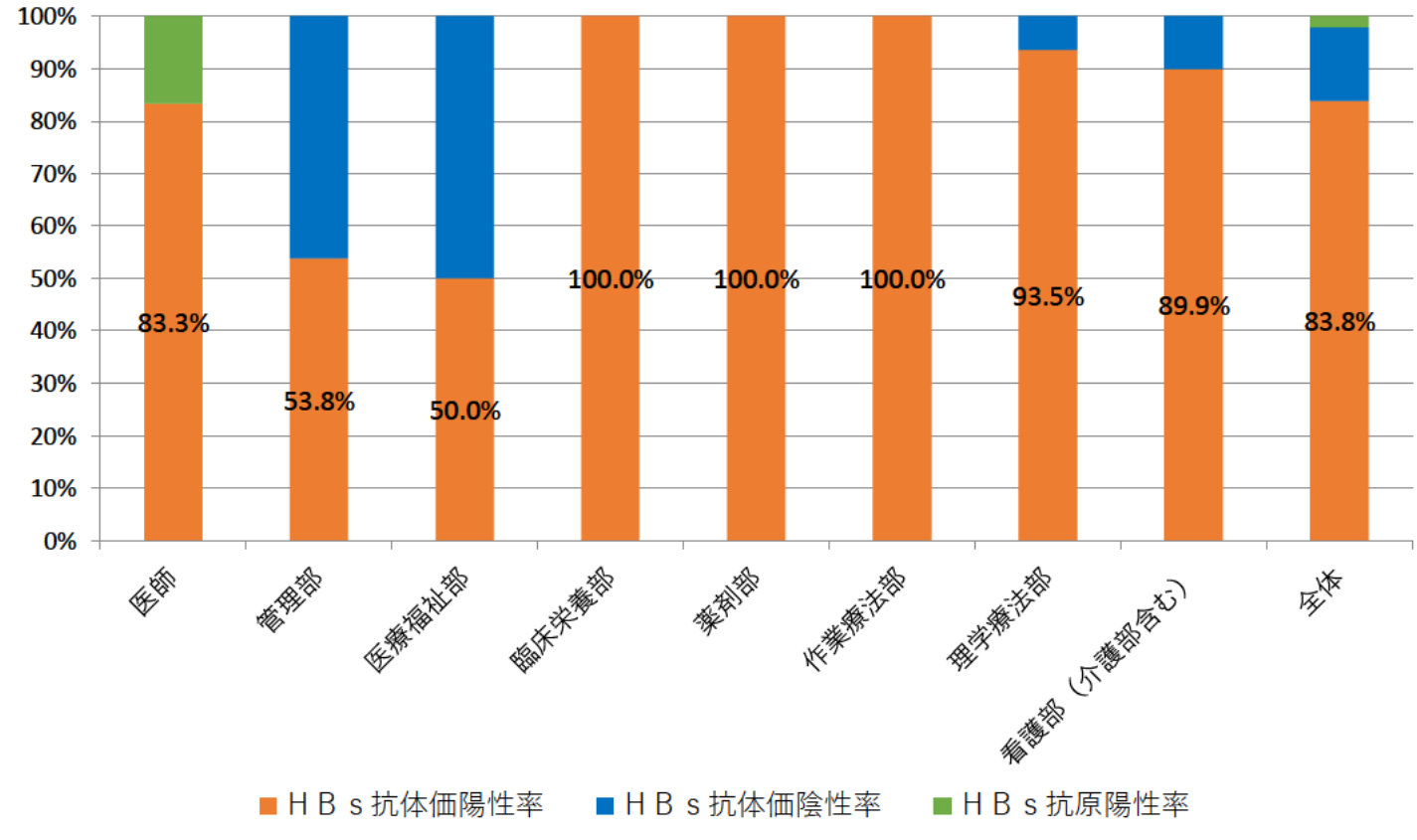


●オルソリハビリテーション病院

表8-19

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	5	0	1	6	83.3%	0.0%	16.7%
管理部	7	6	0	13	53.8%	46.2%	0.0%
医療福祉部	1	1	0	2	50.0%	50.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	29	2	0	31	93.5%	6.5%	0.0%
看護部(介護部含む)	71	8	0	79	89.9%	10.1%	0.0%
全体	125	17	1	143	83.8%	14.1%	2.1%

図9-19 オルソリハビリテーション病院

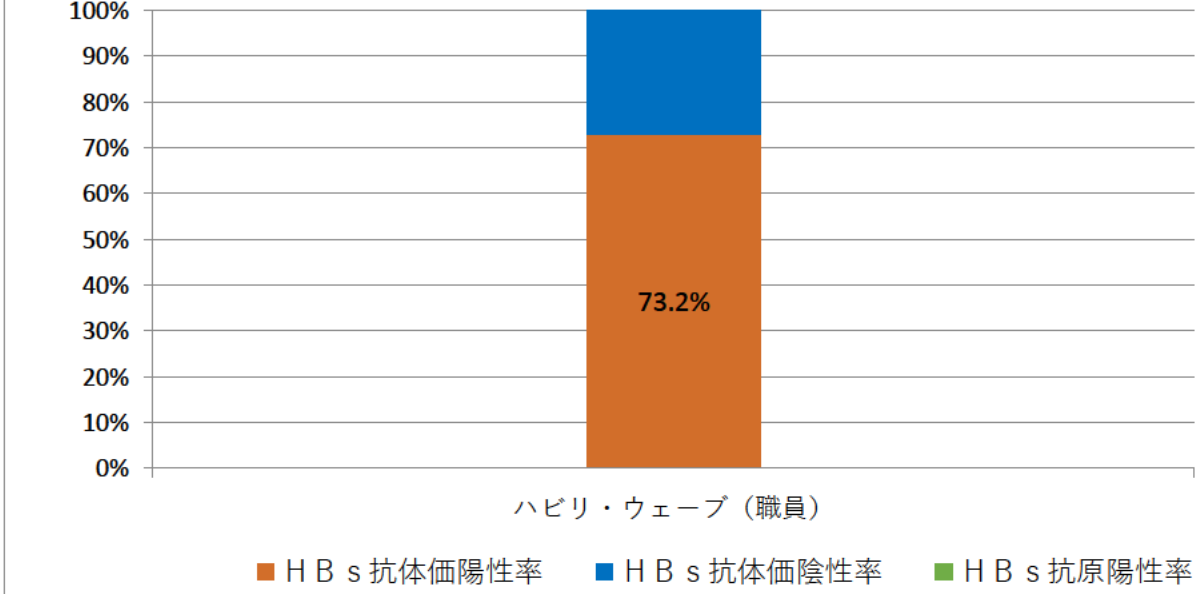


●ファミリー高知

表8-20

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
ハビリ・ウェーブ(職員)	60	22	0	82	73.2%	26.8%	0.0%
全体	60	22	0	82	73.2%	26.8%	0.0%

図9-20 ファミリー高知



■ T-SPOT.TB検査 (IGRA) ■

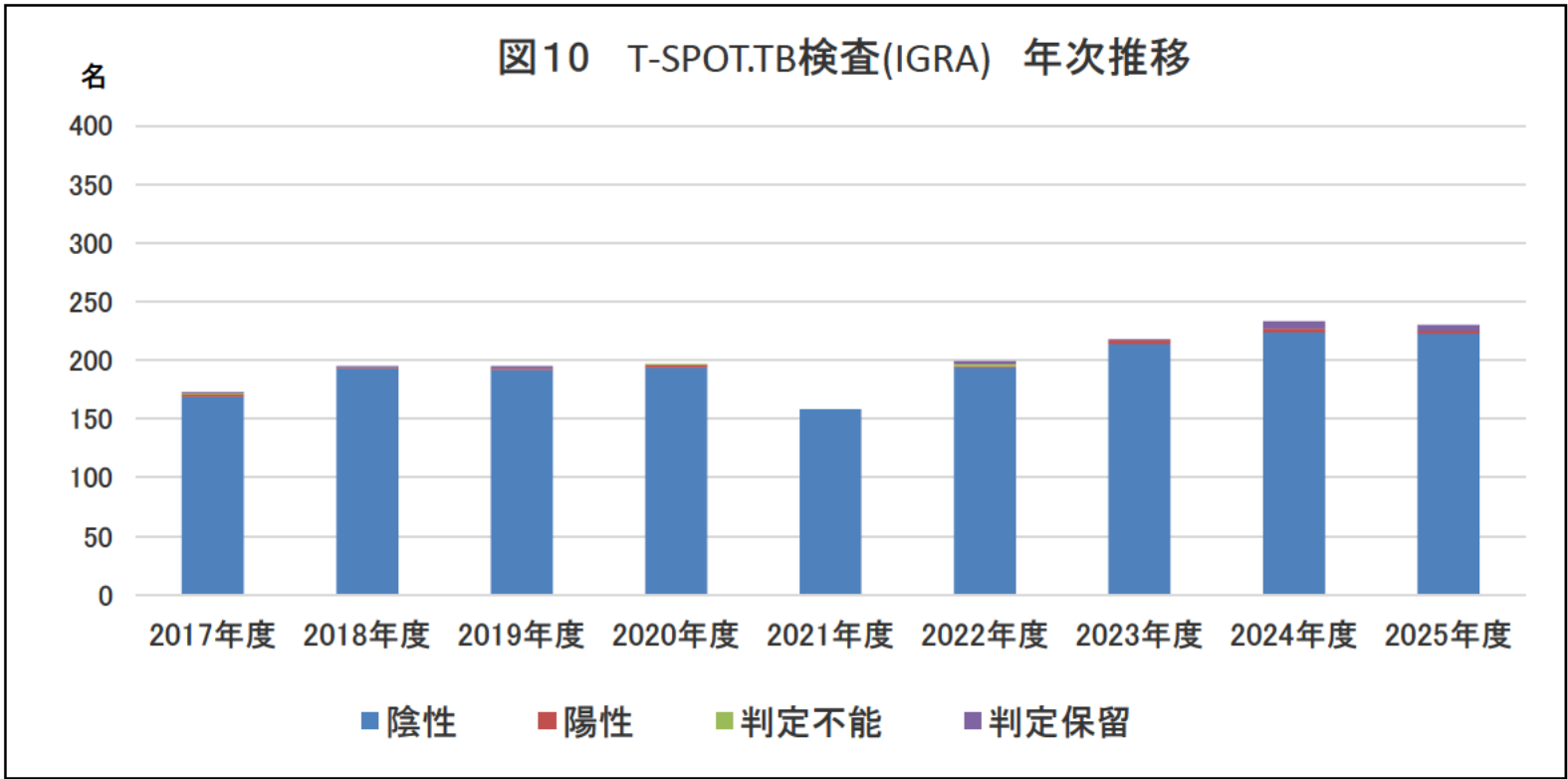


表9

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
陰性	169	193	192	194	158	194	214	224	223
陽性	2	1	1	2	0	1	3	3	2
判定不能	1	0	0	1	0	2	0	0	0
判定保留	1	1	2	0	0	2	1	6	5

■インフルエンザワクチン接種■

表10-1 接種者数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
近森会G 対象者数	1927	1926	1916	1875	1936
近森会G 接種者数	1684	1708	1667	1647	1655
近森会G 接種者率	87.4%	88.7%	87.0%	87.8%	85.5%
外部職員 接種者数	257	344	356	349	310
接種者数 合計	1941	2052	2023	1996	1965

表10-2 施設別接種率

	対象者数	接種者数	接種率
近森病院	1377	1164	84.5%
リハ病院	319	294	92.2%
オルソ病院	145	122	84.1%
ファミリー高知	93	73	78.5%

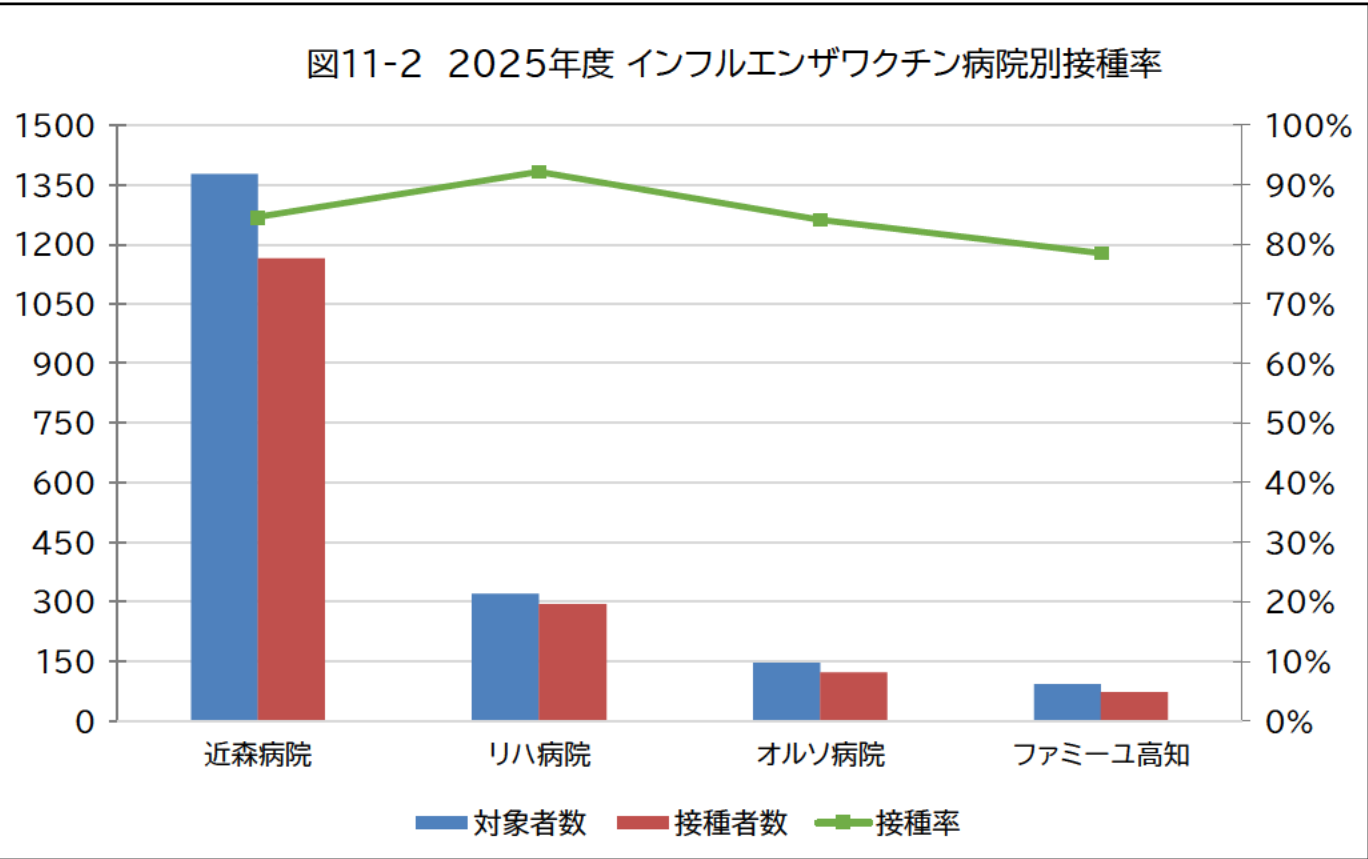
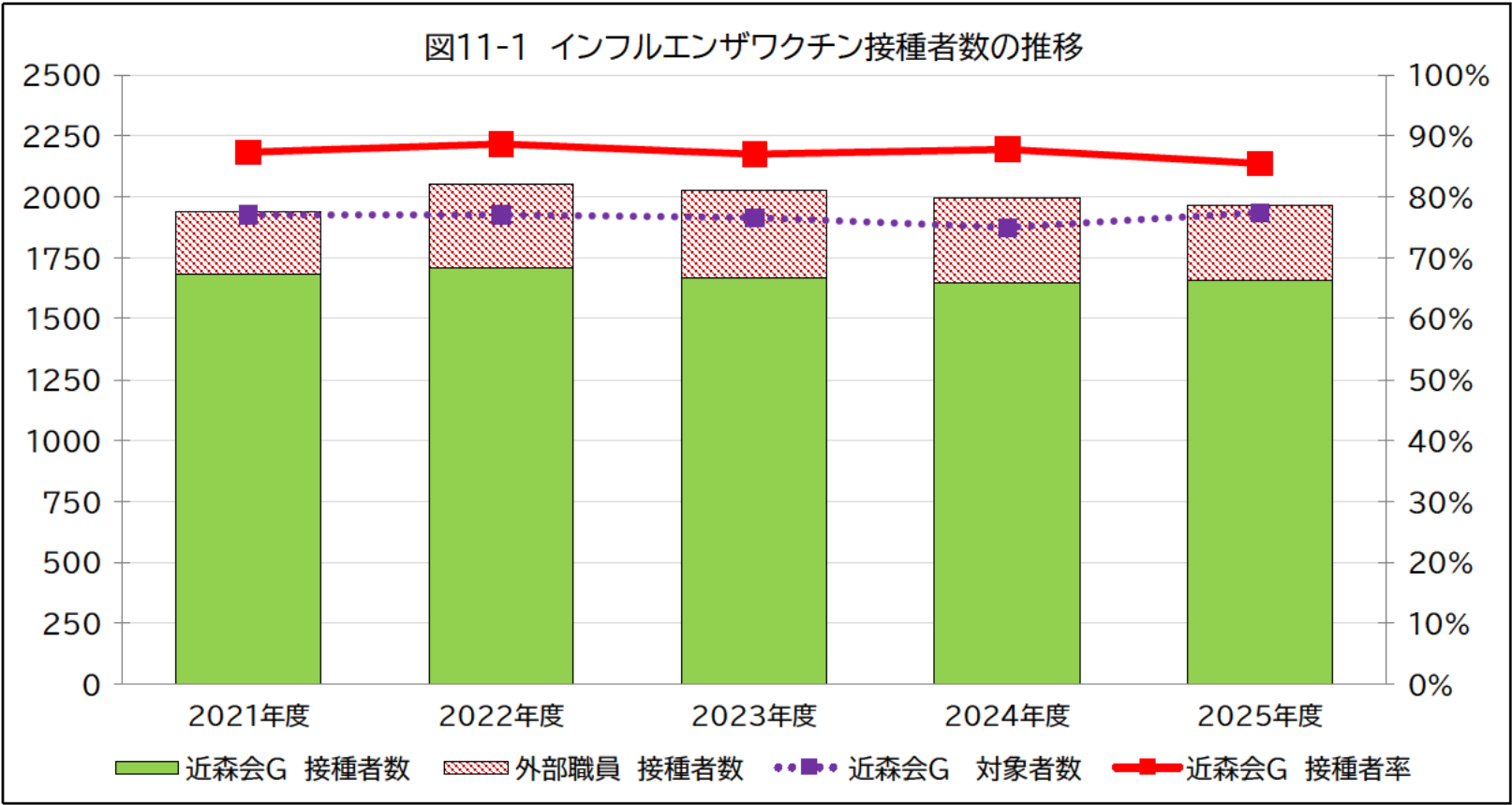


表10-3 所属別接種率（近森病院）

	対象者数	接種人数	接種率
医師	158	135	85%
看護部	640	558	87%
画像診断部	36	21	58%
臨床検査部	54	46	85%
臨床工学部	47	37	79%
薬剤部	48	43	90%
理学療法科	63	59	94%
作業療法科	27	26	96%
言語療法科	9	7	78%
医療福祉部	16	15	94%
栄養部	28	25	89%
臨床心理士	3	3	100%
管理部	248	189	76%
合計	1377	1164	84.5%

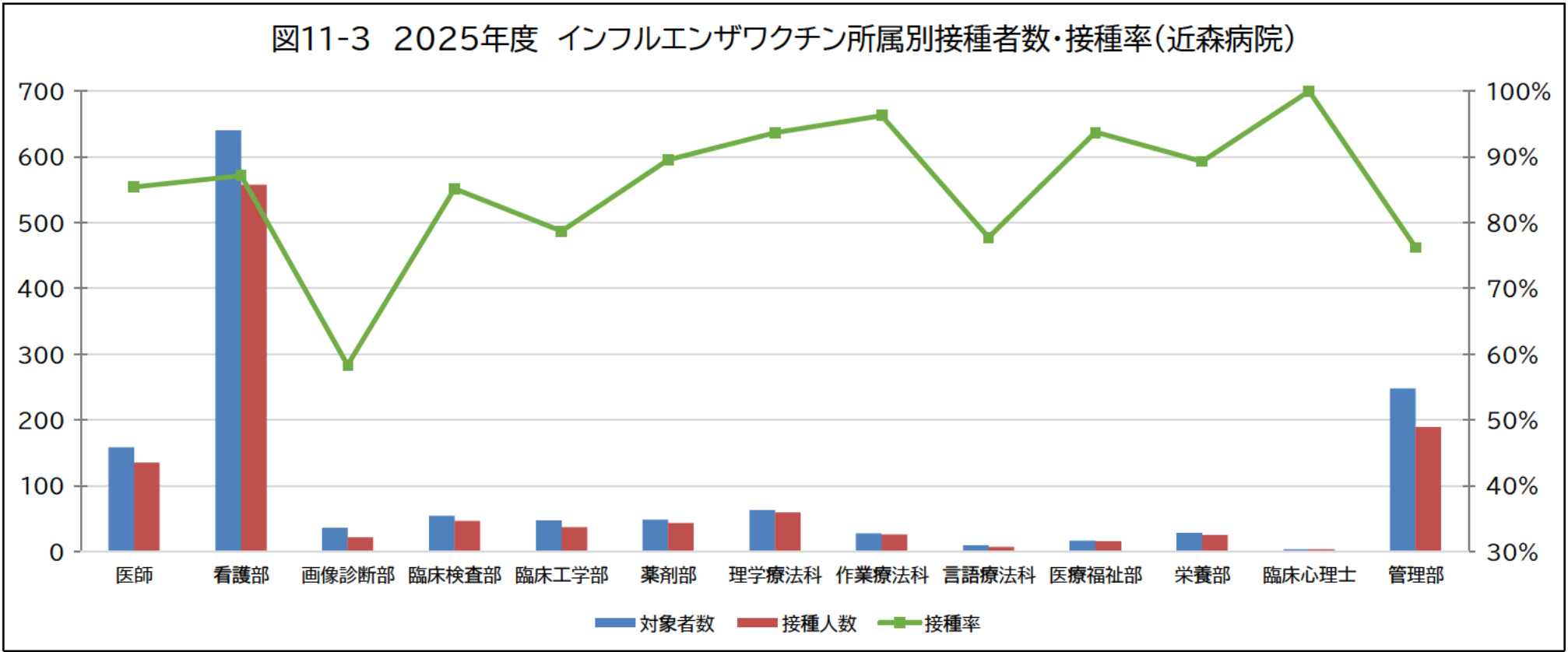


表10-4 所属別接種率（リハ病院）

	対象者数	接種人数	接種率
医師	7	6	86%
看護部	146	137	94%
画像診断部	1	1	100%
薬剤部	5	5	100%
理学療法科	60	54	90%
作業療法科	53	47	89%
言語療法科	20	19	95%
医療福祉部	6	6	100%
栄養部	4	4	100%
臨床心理士	2	2	100%
管理部	15	13	87%
合計	319	294	92.2%

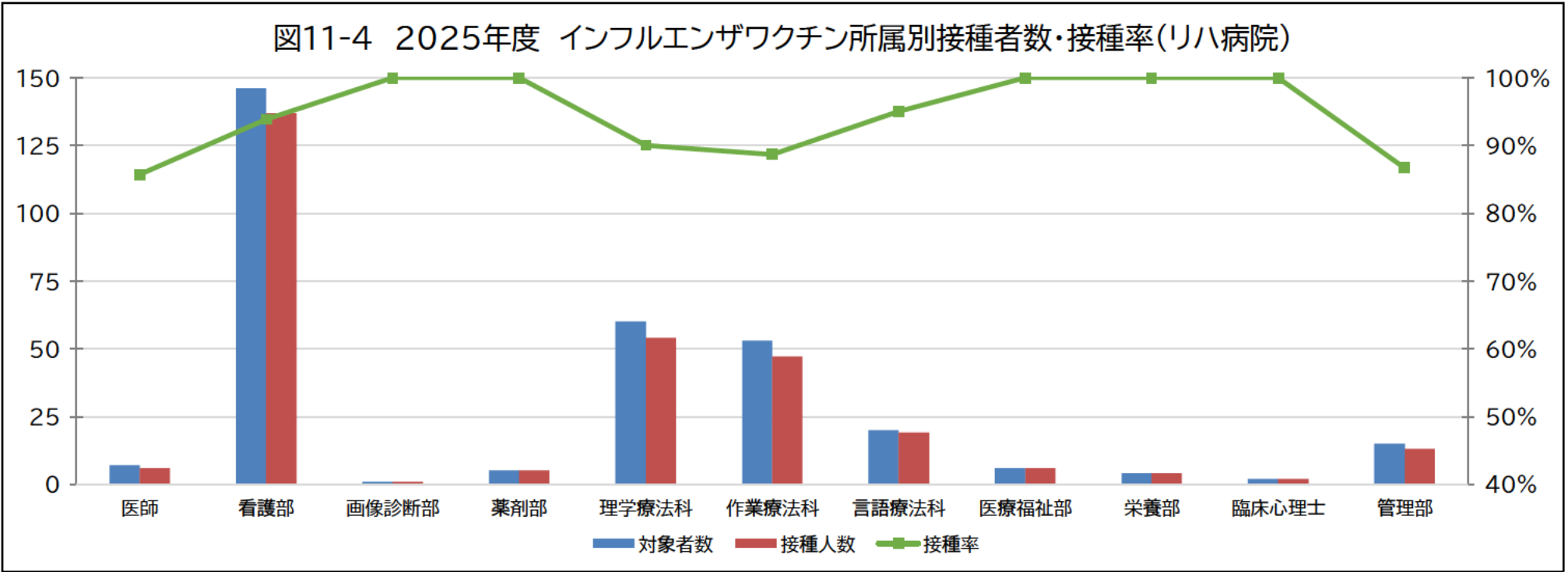


表10-5 所属別接種率（オルソ病院）

	対象者数	接種人数	接種率
医師	6	6	100%
看護部	79	67	85%
薬剤部	2	2	100%
理学療法科	33	23	70%
作業療法科	8	8	100%
医療福祉部	2	2	100%
栄養部	2	2	100%
管理部	13	12	92%
合計	145	122	84.1%

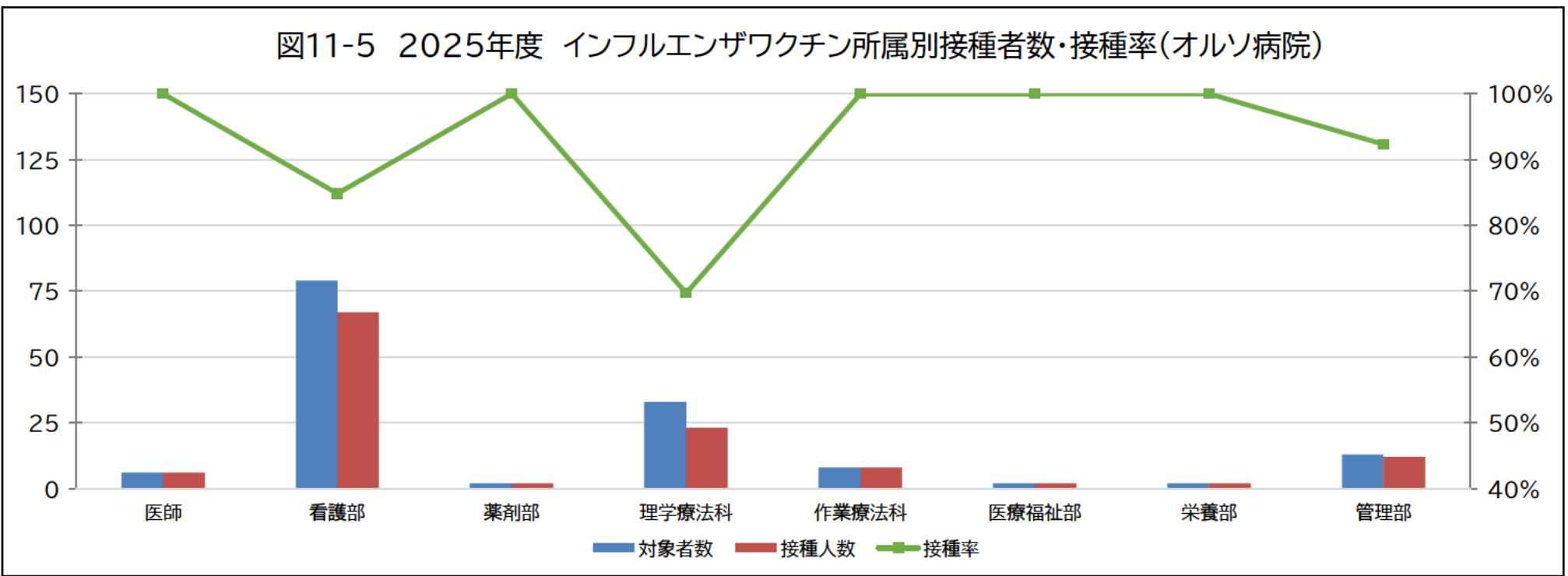
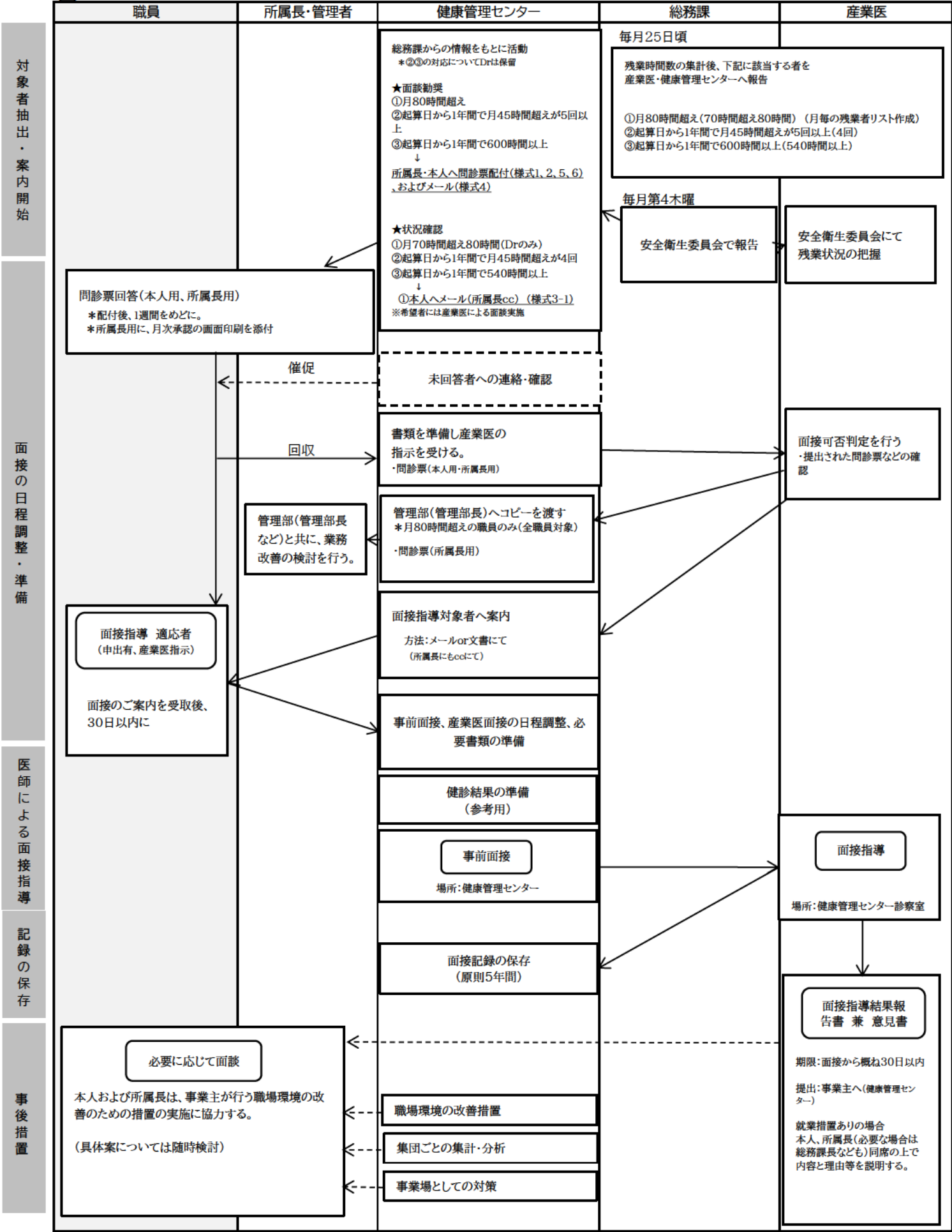


図12



■ 2025年度 近森会グループ 職員の喫煙率 ■

2026.3.1時点(2025年度上期健康測定より)

表11-1 全体喫煙者数(名)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2014年	89(623)	69(483)	42(262)	18(110)	7(62)	225(1540)
2015年	92(718)	78(574)	79(359)	22(150)	6(72)	277(1873)
2016年	85(692)	91(615)	75(366)	20(162)	7(80)	278(1915)
2017年	63(644)	84(594)	68(389)	25(173)	11(90)	251(1890)
2018年	48(607)	66(594)	64((399)	21(189)	9(87)	208(1876)
2019年	41(602)	60(600)	60(396)	19(187)	10(100)	190(1885)
2020年	38(577)	53(577)	51(406)	27(199)	7(99)	176(1859)
2021年	39(553)	40(546)	50(425)	26(203)	8(105)	163(1833)
2022年	38(533)	37(546)	56(444)	28(222)	9(114)	168(1860)
2023年	35(546)	32(506)	52(439)	32(230)	13(116)	164(1837)
2024年	48(517)	37(472)	50(447)	34(255)	15(130)	184(1821)
2025年	54(522)	36(466)	51(456)	41(275)	13(141)	195(1863)

表11-4 全体喫煙率 (%)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2014年	14.0%	13.9%	15.9%	15.5%	9.8%	14.6%
2015年	12.8%	13.2%	21.8%	13.6%	6.9%	14.8%
2016年	12.2%	14.7%	20.7%	12.3%	6.9%	14.5%
2017年	9.8%	14.1%	17.5%	14.5%	12.2%	13.3%
2018年	7.8%	10.8%	16.2%	11.0%	10.1%	11.1%
2019年	6.8%	10.0%	15.2%	10.2%	10.0%	10.1%
2020年	6.6%	9.2%	12.6%	13.6%	7.1%	9.5%
2021年	7.1%	7.3%	11.8%	12.8%	7.6%	8.9%
2022年	7.1%	6.8%	12.6%	12.6%	7.9%	9.0%
2023年	6.4%	6.3%	11.8%	13.9%	11.2%	8.9%
2024年	9.3%	7.8%	11.2%	13.3%	11.5%	10.1%
2025年	10.3%	7.7%	11.2%	14.9%	9.2%	10.5%
全国平均 (2023年)	13.2%	19.1%	20.8%	20.9%	11.9%	15.7%

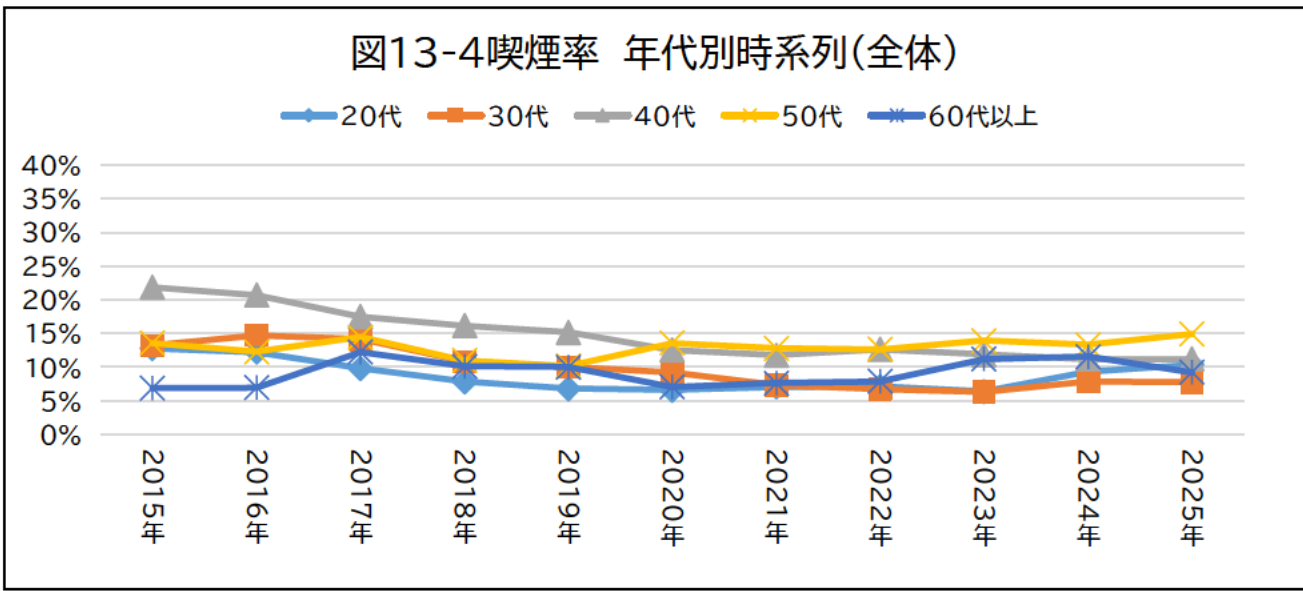
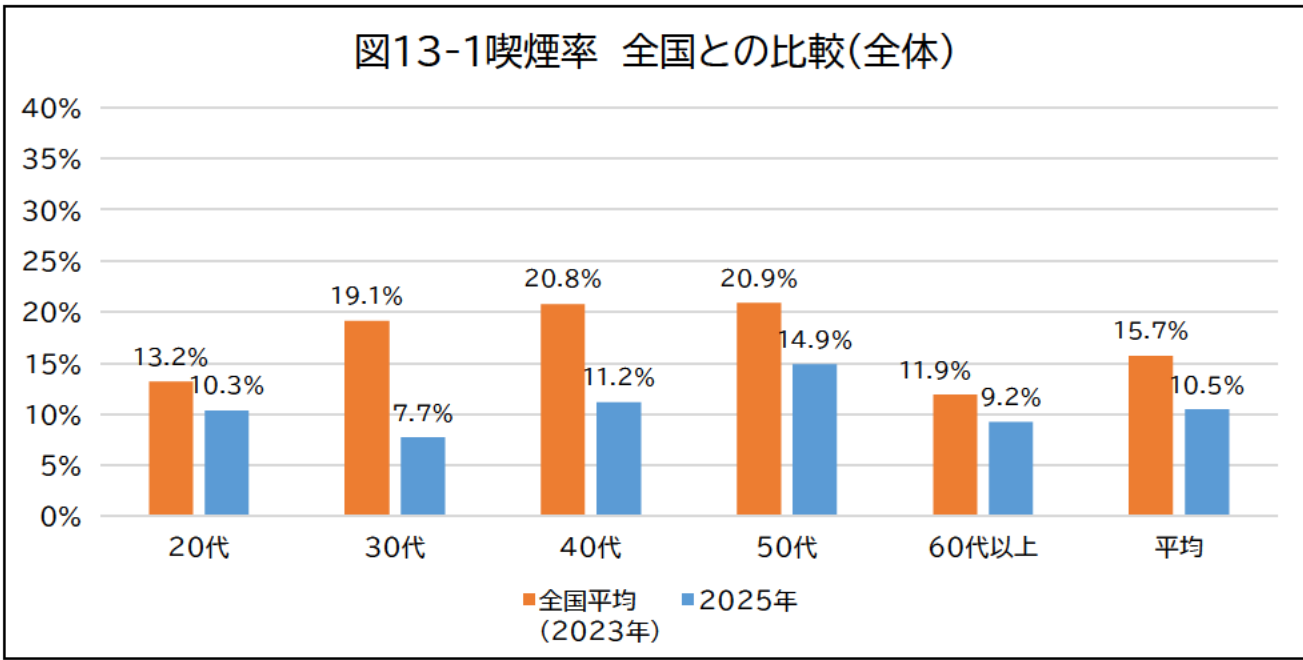


表11-2 男性喫煙者数(名) * ()内は問診回答者数:無回答者除く

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2014年	58(198)	32(117)	13(59)	9(29)	6(28)	118(431)
2015年	60(230)	39(161)	25(99)	9(43)	6(39)	139(572)
2016年	57(218)	51(190)	25(96)	8(49)	6(42)	147(595)
2017年	40(192)	54(182)	22(109)	9(49)	9(50)	134(582)
2018年	32(188)	44(190)	25(108)	6(45)	7(53)	114(584)
2019年	27(177)	40(195)	23(108)	4(43)	9(65)	103(588)
2020年	29(177)	32(181)	23(109)	6(44)	5(59)	95(570)
2021年	26(175)	26(174)	25(121)	5(46)	5(59)	87(575)
2022年	28(165)	28(180)	28(122)	11(62)	7(59)	103(588)
2023年	30(158)	24(168)	30(125)	12(63)	8(55)	99(569)
2024年	31(154)	28(174)	31(119)	13(70)	8(54)	114(571)
2025年	29(161)	23(162)	29(128)	16(74)	7(53)	113(578)

表11-5 男性喫煙率 (%) *問診回答者より集計

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2014年	29.3%	27.4%	22.0%	31.0%	21.4%	27.4%
2015年	26.1%	24.2%	25.3%	20.9%	15.4%	24.3%
2016年	26.1%	26.8%	26.0%	16.3%	14.3%	24.7%
2017年	20.8%	29.7%	20.2%	18.4%	18.0%	23.0%
2018年	17.0%	23.2%	23.1%	13.3%	13.2%	19.5%
2019年	15.3%	20.5%	21.3%	9.3%	13.8%	17.5%
2020年	16.4%	17.7%	21.1%	13.6%	8.5%	16.7%
2021年	14.9%	14.9%	20.7%	10.9%	8.5%	15.1%
2022年	17.6%	15.6%	23.0%	17.7%	11.9%	17.5%
2023年	15.8%	14.3%	24.0%	19.0%	14.5%	17.4%
2024年	22.1%	16.1%	26.1%	18.6%	14.8%	20.0%
2025年	23.6%	14.2%	22.7%	21.6%	13.2%	19.6%
全国平均 (2023年)	20.6%	29.9%	33.4%	31.5%	21.0%	25.6%

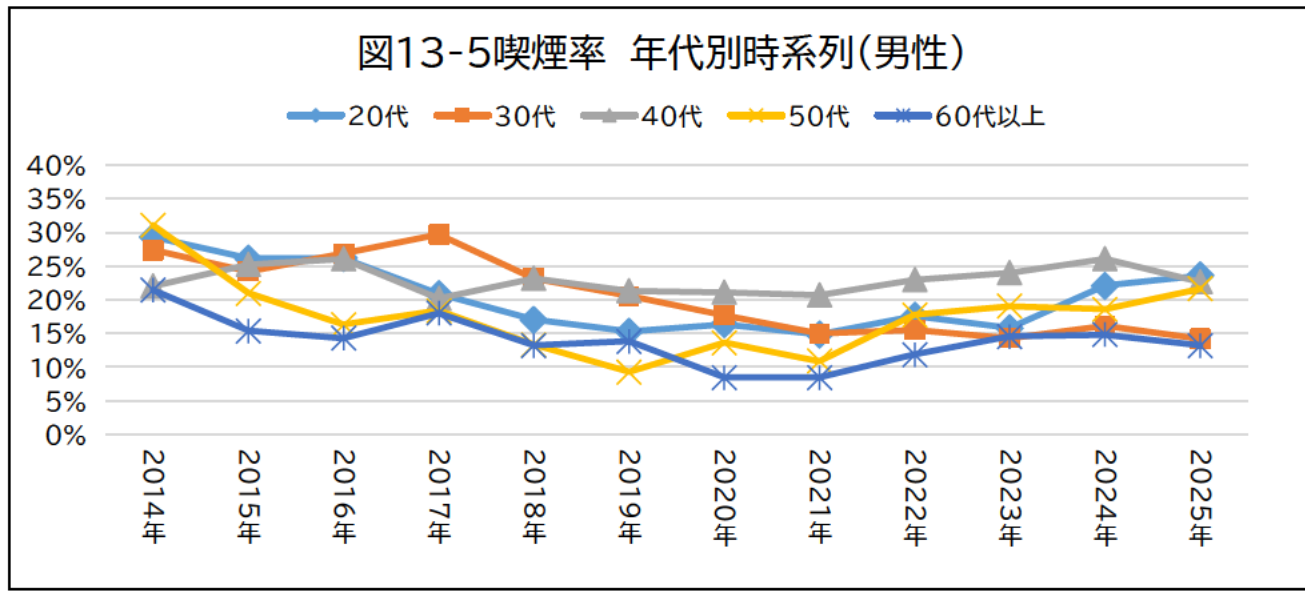
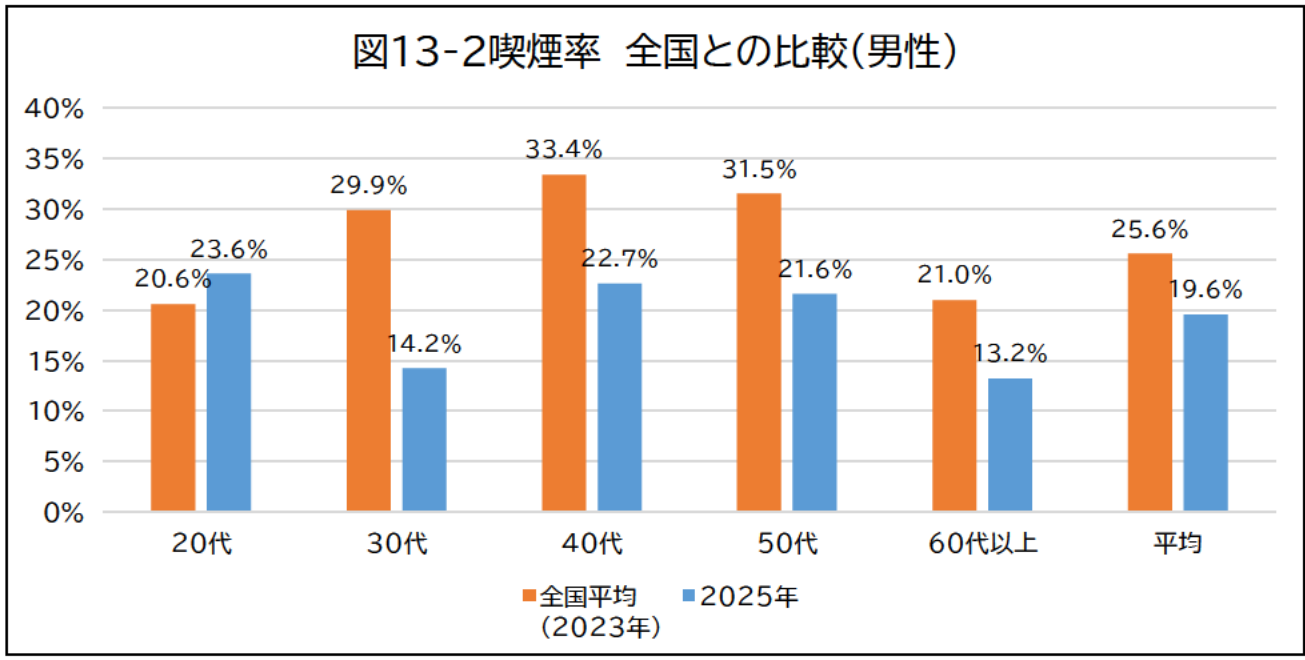
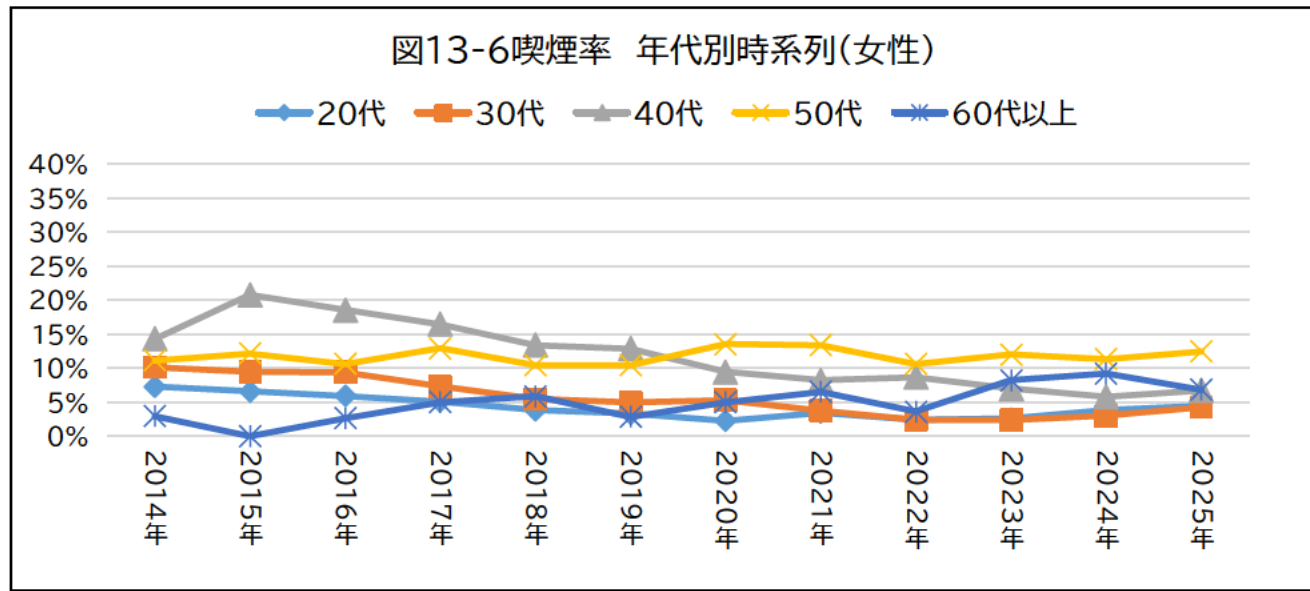
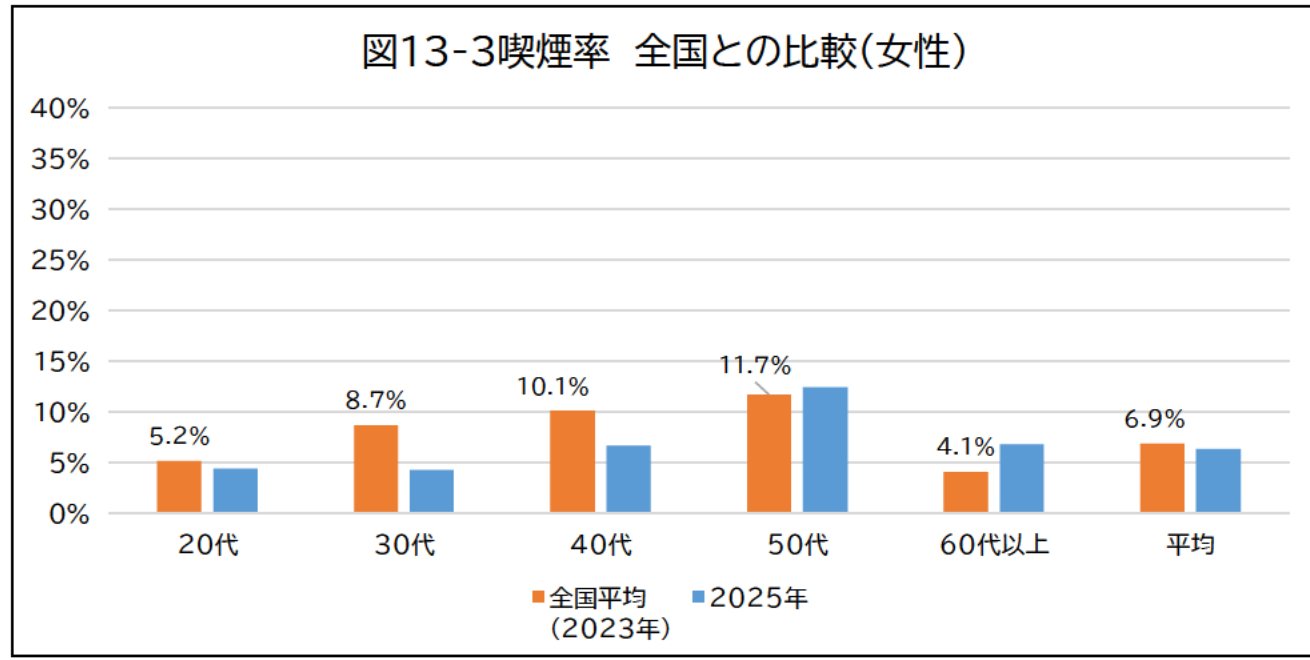


表11-3 女性喫煙者数(名)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2014年	31(425)	37(366)	29(203)	9(81)	1(34)	107(1109)
2015年	32(488)	39(413)	54(260)	13(107)	0(33)	138(1301)
2016年	28(474)	40(425)	50(270)	12(113)	1(38)	131(1320)
2017年	23(452)	30(412)	46(280)	16(124)	2(40)	117(1308)
2018年	16(419)	22(404)	39(291)	15(144)	2(34)	94(1292)
2019年	14(425)	20(405)	37(288)	15(144)	1(35)	87(1297)
2020年	9(400)	21(396)	28(297)	21(155)	2(40)	81(1289)
2021年	13(378)	14(372)	25(304)	21(157)	3(46)	76(1258)
2022年	9(368)	9(366)	28(322)	17(160)	2(55)	65(1272)
2023年	10(388)	8(338)	22(314)	20(167)	5(61)	65(1268)
2024年	14(363)	9(298)	19(328)	21(185)	7(76)	70(1250)
2025年	16(361)	13(304)	22(328)	25(201)	6(88)	82(1285)

表11-6 女性喫煙率 (%)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2014年	7.3%	10.1%	14.3%	11.1%	2.9%	9.6%
2015年	6.6%	9.4%	20.8%	12.1%	0.0%	10.6%
2016年	5.9%	9.4%	18.5%	10.6%	2.6%	9.9%
2017年	5.1%	7.3%	16.4%	12.9%	5.0%	8.9%
2018年	3.8%	5.4%	13.4%	10.4%	5.9%	7.3%
2019年	3.3%	4.9%	12.8%	10.4%	2.9%	6.7%
2020年	2.3%	5.3%	9.4%	13.5%	5.0%	6.3%
2021年	3.4%	3.8%	8.2%	13.4%	6.5%	6.0%
2022年	2.4%	2.5%	8.7%	10.6%	3.6%	5.1%
2023年	2.6%	2.4%	7.0%	12.0%	8.2%	5.1%
2024年	3.9%	3.0%	5.8%	11.4%	9.2%	5.6%
2025年	4.4%	4.3%	6.7%	12.4%	6.8%	6.4%
全国平均 (2023年)	5.2%	8.7%	10.1%	11.7%	4.1%	6.9%

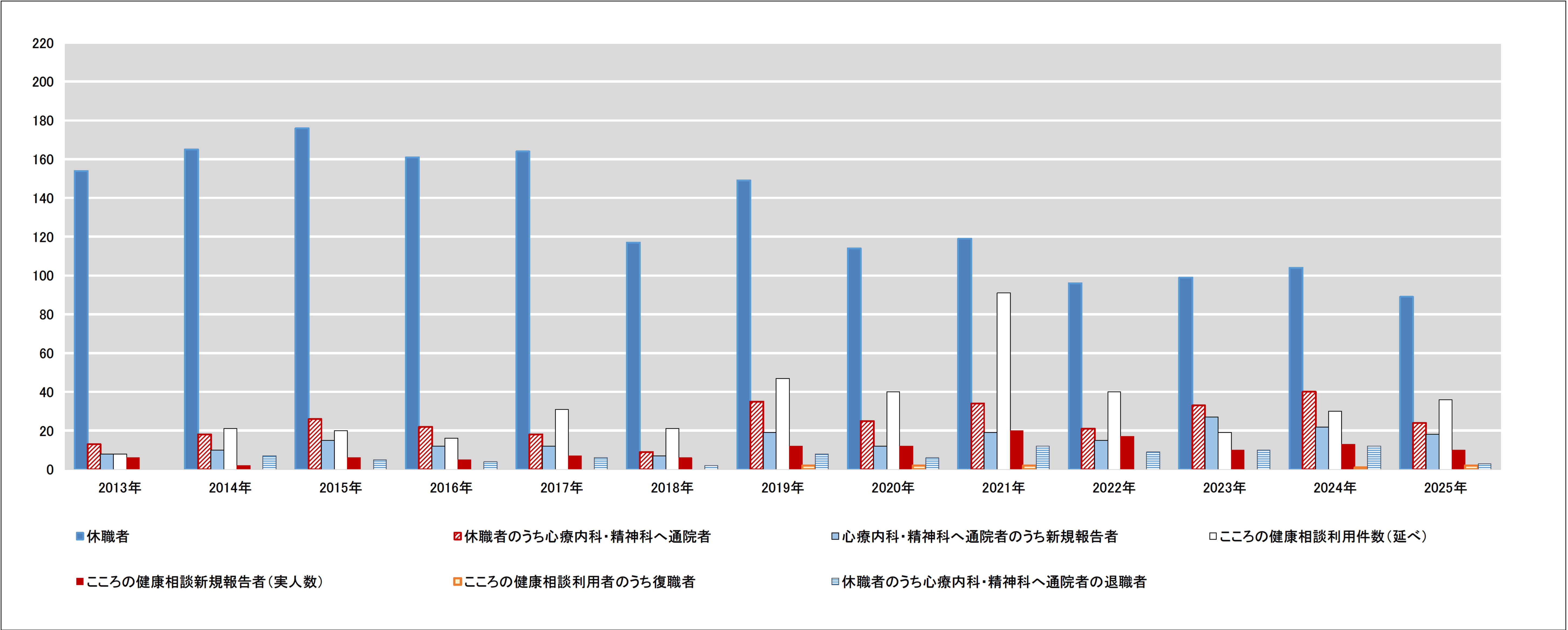


■休職者、こころの健康相談件数 年次推移（2026年3月1日時点）■

表12

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	合計
休職者	154	165	176	161	164	117	149	114	119	96	99	104	89	1707
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者	13	18	26	22	18	9	35	25	34	21	33	40	24	318
心療内科・精神科へ通院者のうち新規報告者	8	10	15	12	12	7	19	12	19	15	27	22	18	196
こころの健康相談利用件数（延べ）	8	21	20	16	31	21	47	40	91	40	19	30	36	420
こころの健康相談新規報告者（実人数）	6	2	6	5	7	6	12	12	20	17	10	13	10	126
こころの健康相談利用者のうち復職者	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	1	2	9
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者		7	5	4	6	2	8	6	12	9	10	12	3	84

図14 休職者、こころの健康相談件数 年次推移



* 休職者数に関しては月に出た診断書の合計で1ヶ月に2通以上出た人は重ならないようにしています。
* 休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者は2014年度より統計へ追加

ストレスチェック受検率 年次推移（全体・施設別）

*労基への報告数

表13-1 近森会G（全体）

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出者数	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2023	1785	1711	1552	159	95.9	9.3	4(0.2%)	4(0.2%)
2024	1813	1732	1565	167	95.5	9.6	7(0.4%)	2(0.1%)
2025	1846	1674	1505	169	90.6	10.0	7(0.4%)	4(0.2%)

図15-1 近森会G（全体） ストレスチェック受検率 年次推移

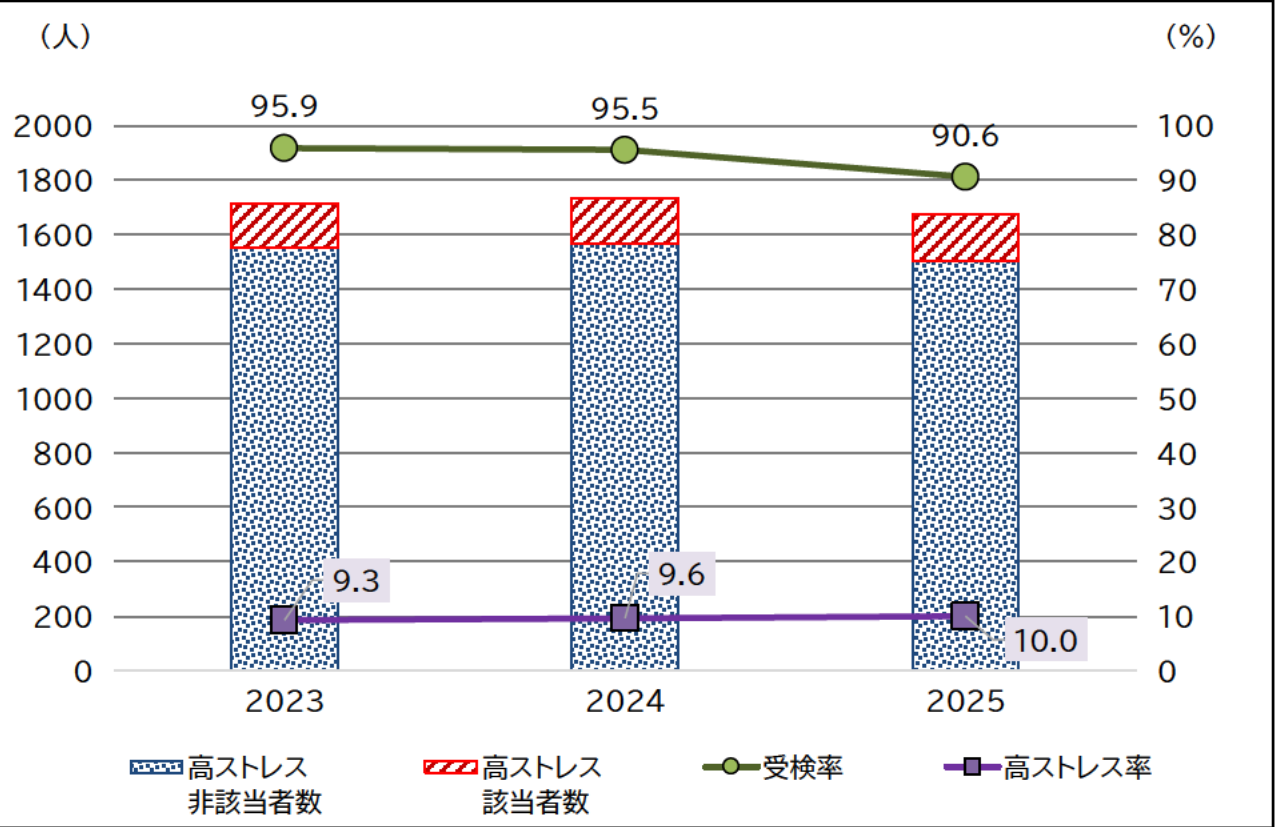


表13-2 近森病院

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出者数	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2023	1290	1234	1116	118	95.7	9.6	3(0.2%)	3(0.2%)
2024	1313	1252	1122	130	95.4	10.4	4(0.3%)	2(0.2%)
2025	1316	1191	1065	126	90.5	10.5	4(0.3%)	2(0.1%)

図15-2 近森病院 ストレスチェック受検率 年次推移

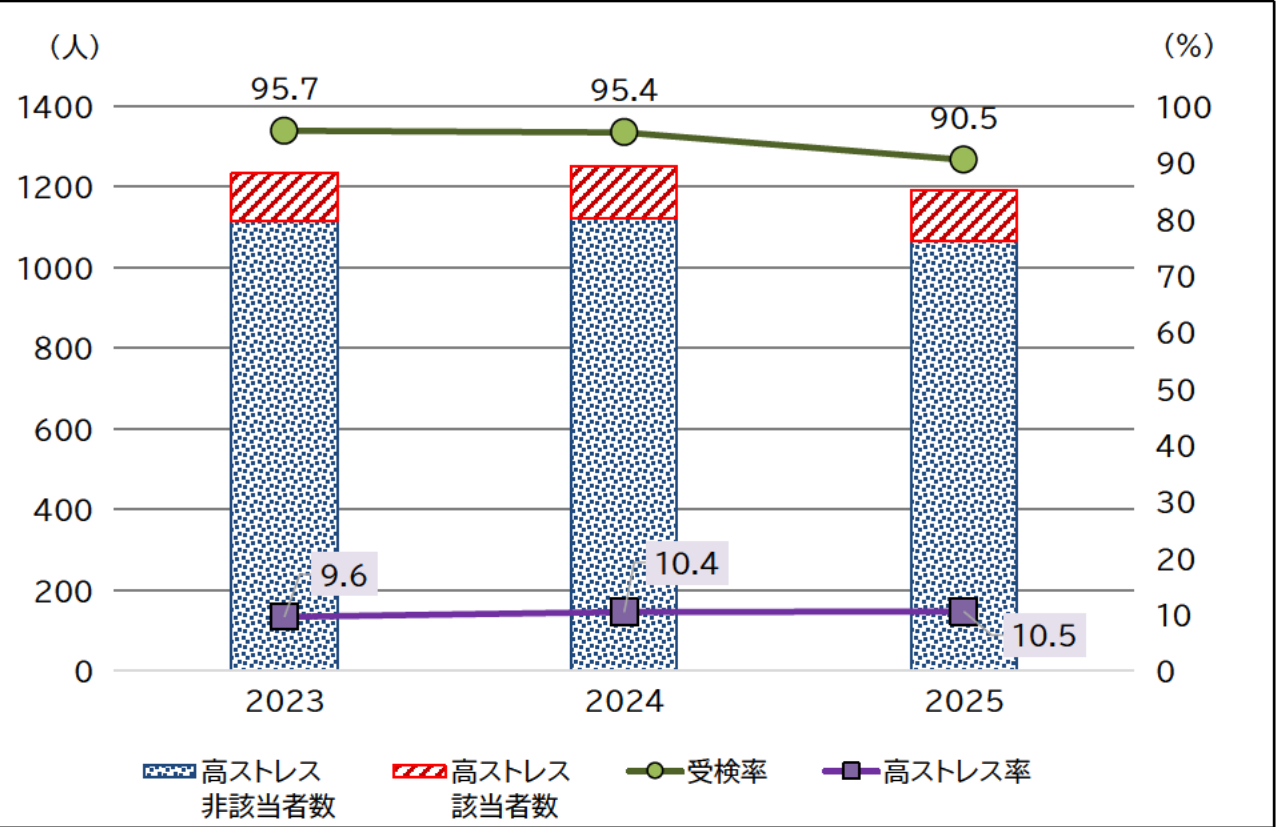


表13-3 リハ病院

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出者数	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2023	284	273	250	23	96.1	8.4	0	0
2024	294	281	264	17	95.6	6.0	2(0.7%)	0
2025	308	272	247	25	88.3	9.1	1(0.3%)	0

図15-3 リハ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

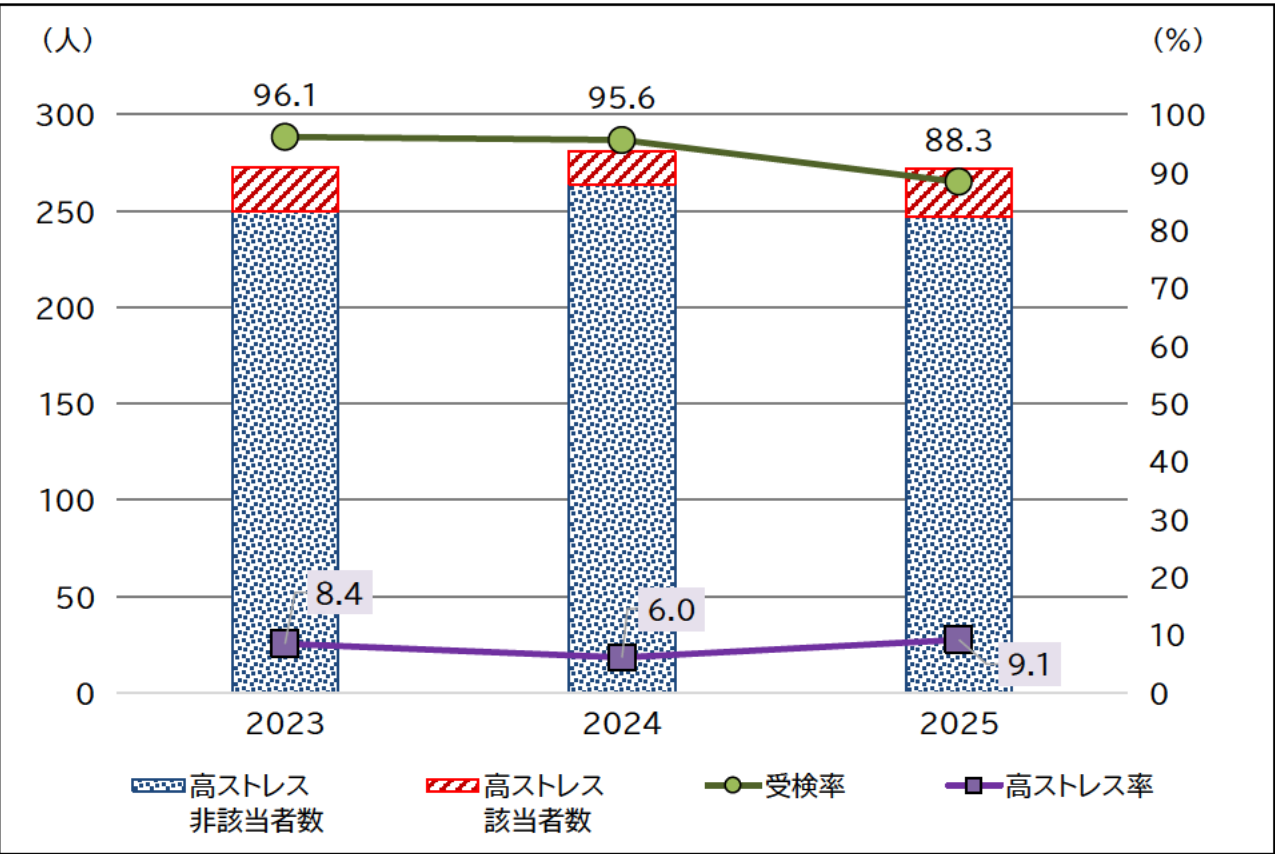


表13-4 オルソ病院

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出者数	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2023	136	130	116	14	95.6	10.8	1(0.8%)	1(0.8%)
2024	137	131	118	13	95.6	9.9	0	0
2025	143	132	119	13	92.3	9.8	0	0

図15-4 オルソ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

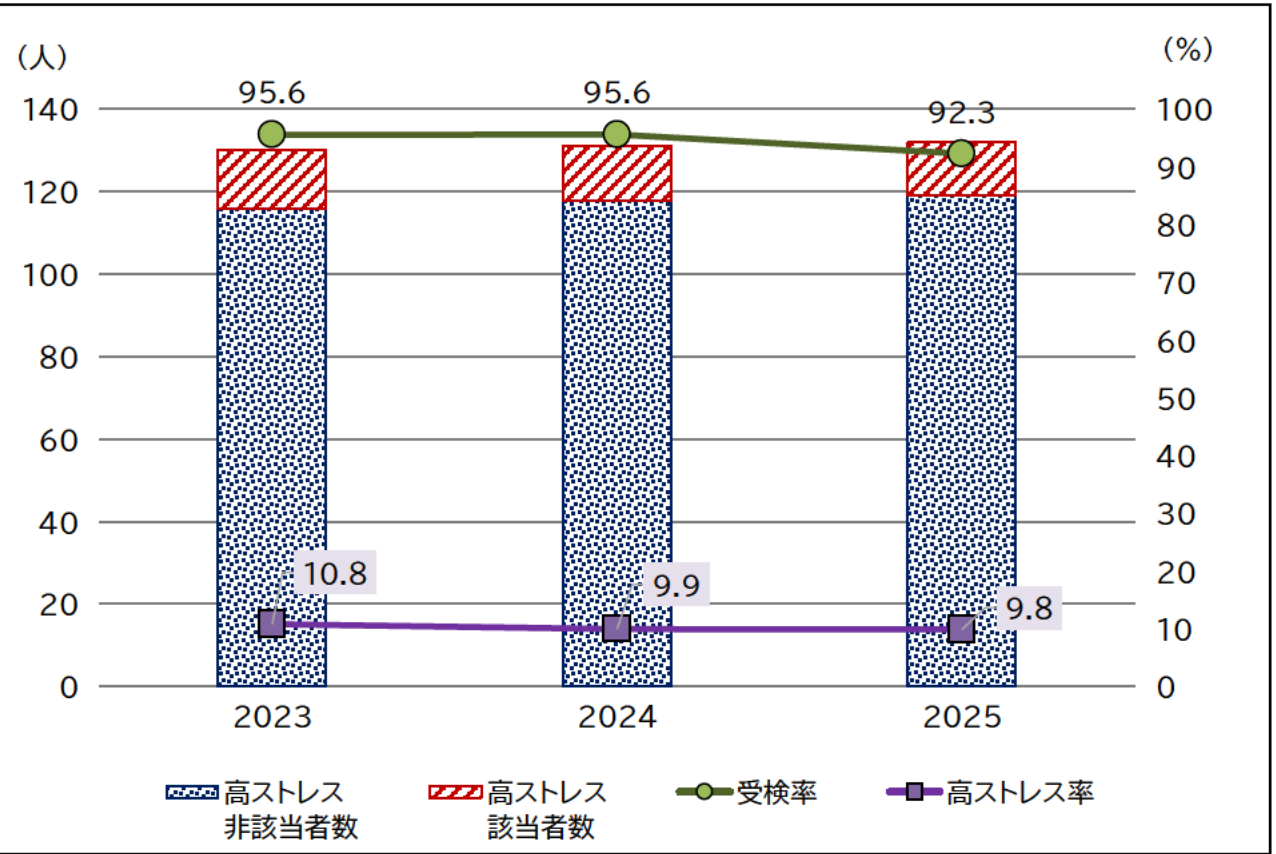
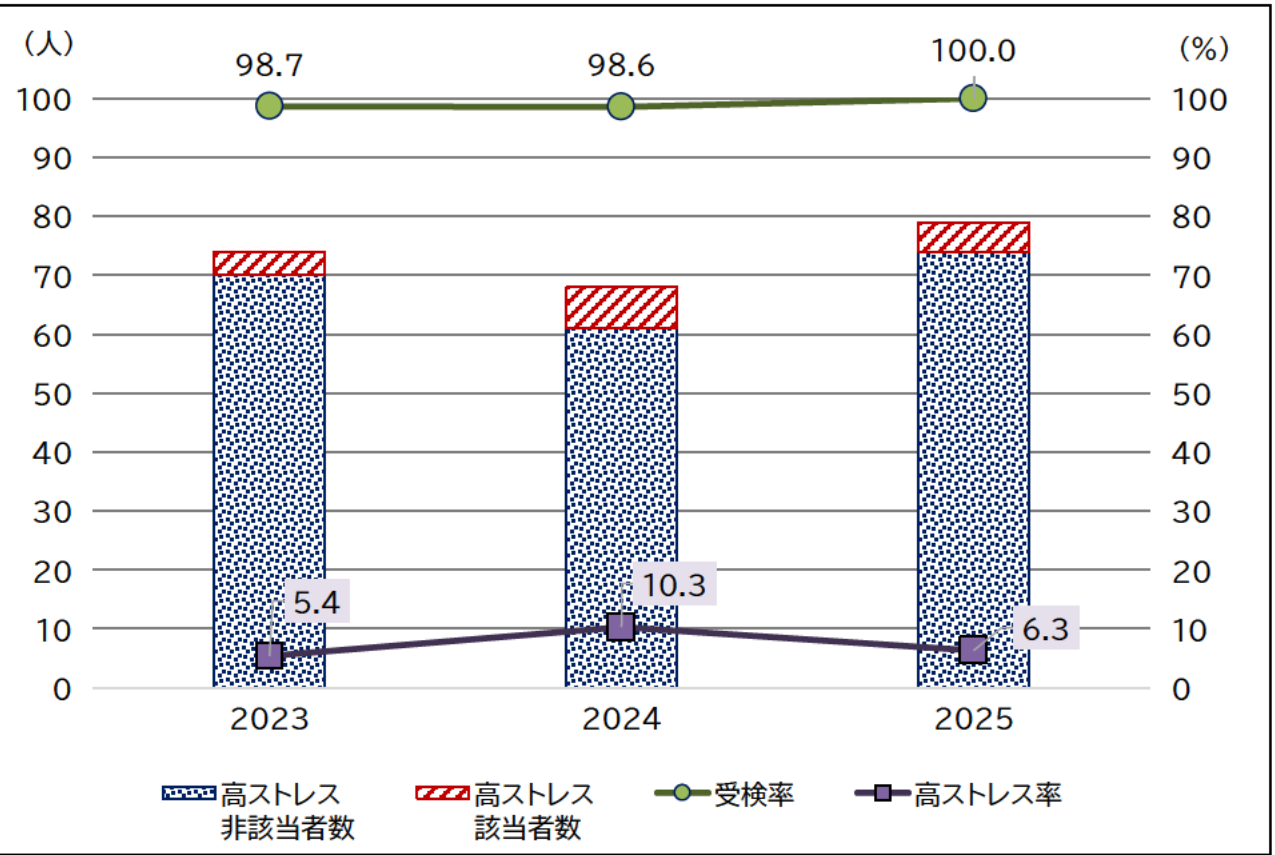


表13-5 ファミージュ高知

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出者数	受検者のうち 医師面接の 実施者数*
2023	75	74	70	4	98.7	5.4	0	0
2024	69	68	61	7	98.6	10.3	1(1.5%)	0
2025	79	79	74	5	100.0	6.3	2(2.5%)	2(2.5%)

図15-5 ファミージュ高知 ストレスチェック受検率 年次推移

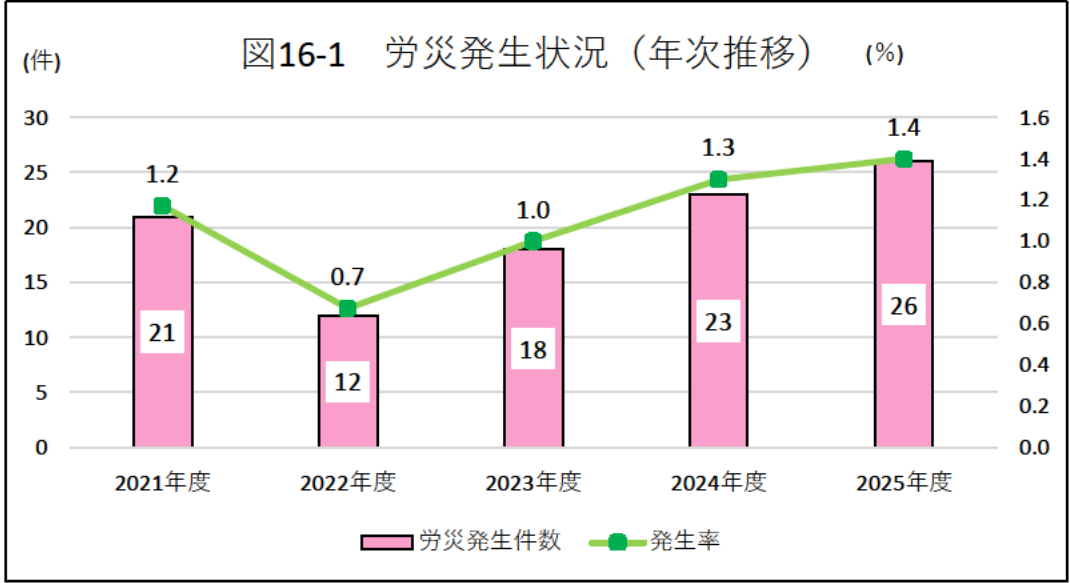


■2025年度 労災発生状況

●労災発生件数と介入件数

表14-1 近森会G（ファミーユ除く）労災発生割合

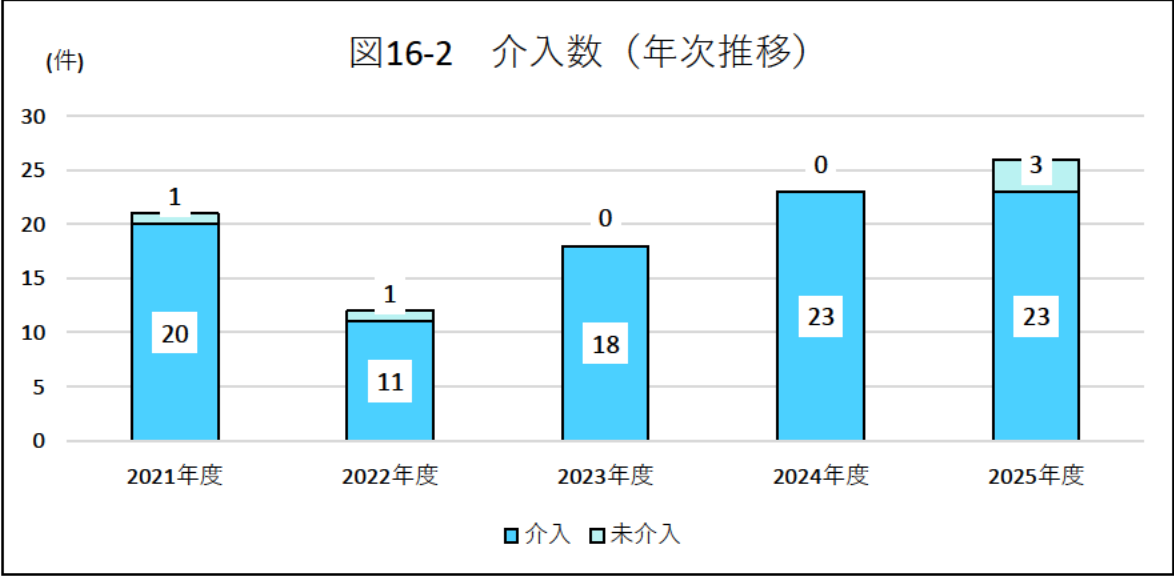
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
職員数	1794	1779	1802	1808	1802
労災発生件数	21	12	18	23	26
発生率	1.2	0.7	1.0	1.3	1.4



* 2026.3.9現在

表14-2 介入件数

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
介入	20	11	18	23	23
未介入	1	1	0	0	3
合計	21	12	18	23	26



●各項目別労災発生件数

表14-3 【年代別】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
20代以下	2	3	7	9	7
30代	7	3	5	2	6
40代	6	2	2	5	6
50代	3	2	3	5	6
60代以上	3	2	1	2	1
合計	21	12	18	23	26

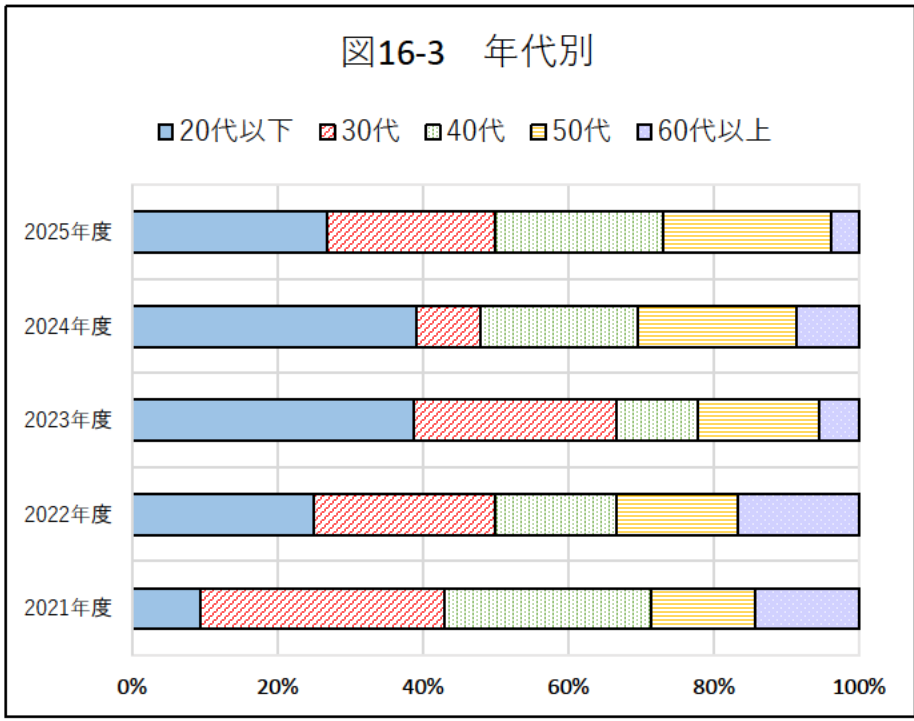


表14-4 【職種別】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
医師	1	1	0	2	2
看護師(補助・介護士含む)	9	4	8	11	12
PT・OT・ST	6	5	7	4	9
事務	3	2	3	5	2
臨床工学技師	0	0	0	0	0
臨床検査技師	1	0	0	0	0
診療放射線技師	1	0	0	1	0
薬剤師	0	0	0	0	1
栄養士	0	0	0	0	0
心理士・SW	0	0	0	0	0
合計	21	12	18	23	26

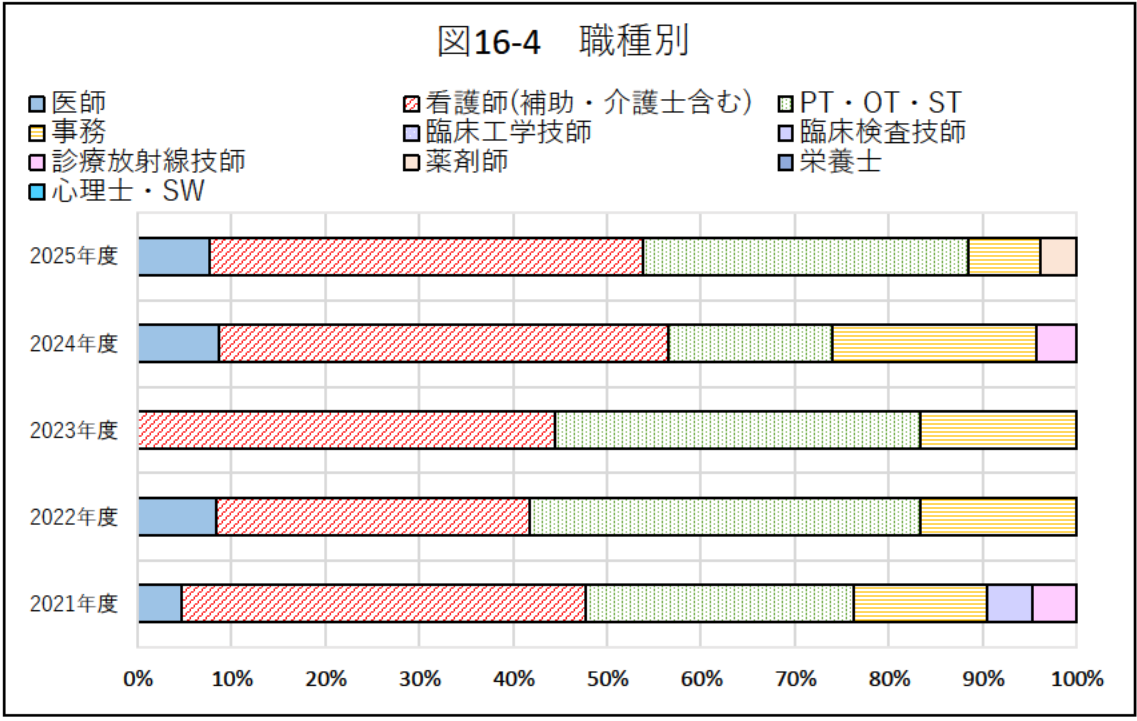
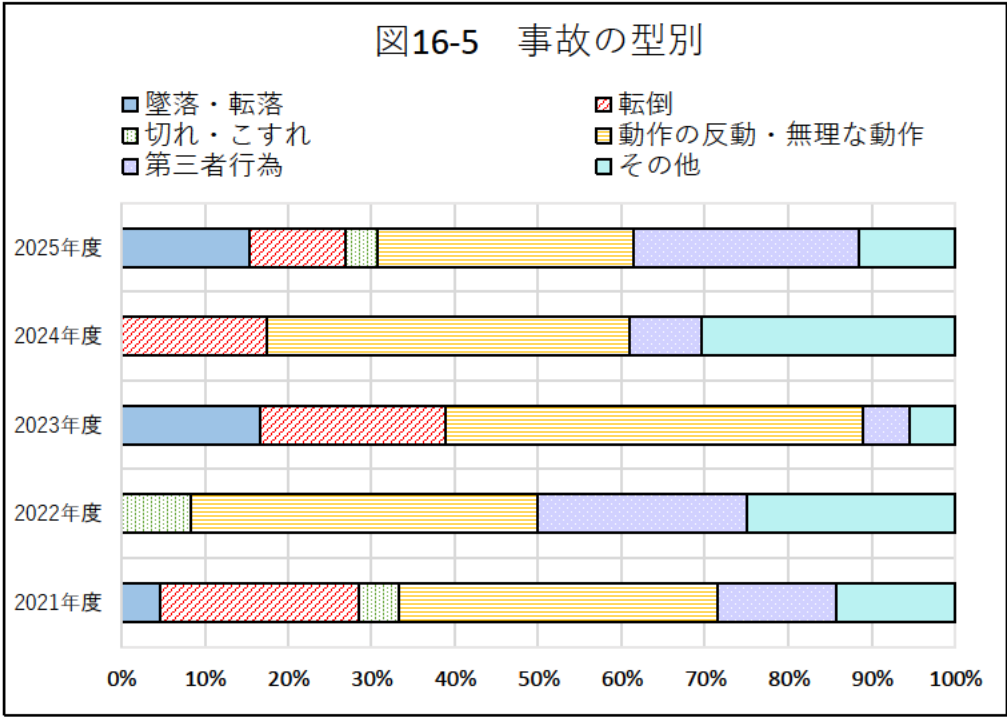


表14-5 【事故の型別】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
墜落・転落	1	0	3	0	4
転倒	5	0	4	4	3
切れ・こすれ	1	1	0	0	1
動作の反動・無理な動作	8	5	9	10	8
第三者行為	3	3	1	2	7
その他	3	3	1	7	3
合計	21	12	18	23	26



●動作の反動・無理な動作の内訳

表14-6 区分内訳

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
腰痛関連	7	3	6	7	7
関節障害	0	0	2	0	0
その他	1	2	1	3	1
合計	8	5	9	10	8

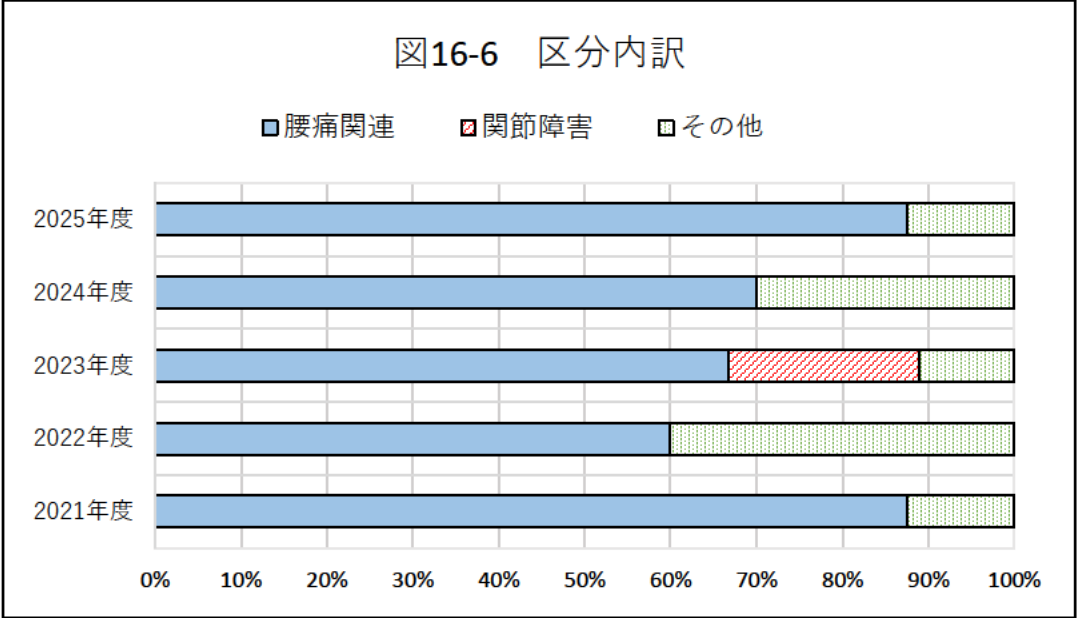


表14-7 原因内訳

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
患者移乗（体位変換含む）	4	3	5	4	5
重量物の持ち上げ・運搬	4	0	0	0	1
その他	0	2	4	6	2
合計	8	5	9	10	8

